

高知県立大学年報

平成30年度



高知県立大学

目 次

1 概 要	
1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの	1
2 名称及び所在地	1
2 沿 革	
1 概 要	2
2 沿革図	2
3 主要年表	3
4 名誉教授	7
3 組織及び教職員	
1 組 織	9
2 教 員	1 1
4 教育及び研究	
1 学部・大学院の概要	2 6
2 教育科目及び受講者の状況	2 9
3 教員免許及び国家資格取得の状況	4 6
4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況	4 7
5 S D ・ F D 活動実施状況	5 3
5 学 生	
1 行事実績	5 6
2 入学の状況	5 8
3 学生数	6 1
4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況	6 2
5 課外活動	6 4
6 授業料等の納入状況	6 5
7 日本学生支援機構奨学金受給状況	6 6
8 卒業（修了）者の状況	6 7
6 総合情報センター	6 9
7 地域教育研究センター	7 3
8 健康長寿センター	8 1
9 健康管理センター	8 3
10 国際交流	8 9
11 開かれた大学	
1 公開講座等実施状況	9 2
2 学会役員等の状況	9 5
3 学外提供用刊行物作成状況	1 0 6
12 財 務	
1 はじめに	1 0 8
2 貸借対照表	1 0 8
3 損益計算書	1 1 1
4 その他の主要諸表	1 1 3
5 外部資金導入の状況	1 1 4
6 学長特別枠助成事業等の状況	1 2 6
13 キャンパス	
1 土 地	1 2 8
2 建 物	1 2 8

1 概要

1 教育目標及び高知県立大学のめざすもの

教育目標

本学は、教育基本法に基づき、広く知識を授け、専門の学芸を教授研究し、もって人格の向上を図るとともに、平和と文化の発展及び福祉の増進に貢献しうる人材を育成し、併せて地域社会の向上に寄与することを目的とする。

高知県立大学のめざすもの

60年にわたり一貫して女子教育に貢献してきた伝統を尊重しながら、新しい時代の要請に応え得る質的な変革を行い、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して、次の教育を重視する。

21世紀における
新しい価値観の創造

地域文化の創造

豊かな
人間性の涵養

2 名称及び所在地

名 称	所 在 地	TEL・FAX
看護学部	<池キャンパス> 〒781-8515 高知市池 2751-1	Tel 088-847-8700 (代表) Fax 088-847-8670
社会福祉学部		
健康栄養学部		
大学院看護学研究科		
大学院人間生活学研究科 (栄養・生活学領域、社会福祉学領域)		
事務局 附属図書館		
文化学部（夜間主含む）	<永国寺キャンパス> 〒780-8515 高知市永国寺町 2-22	Tel 088-821-7104 (代表) Fax 088-821-7103
大学院人間生活学研究科 (文化領域)		
永国寺事務室		
附属図書館		

2 沿革

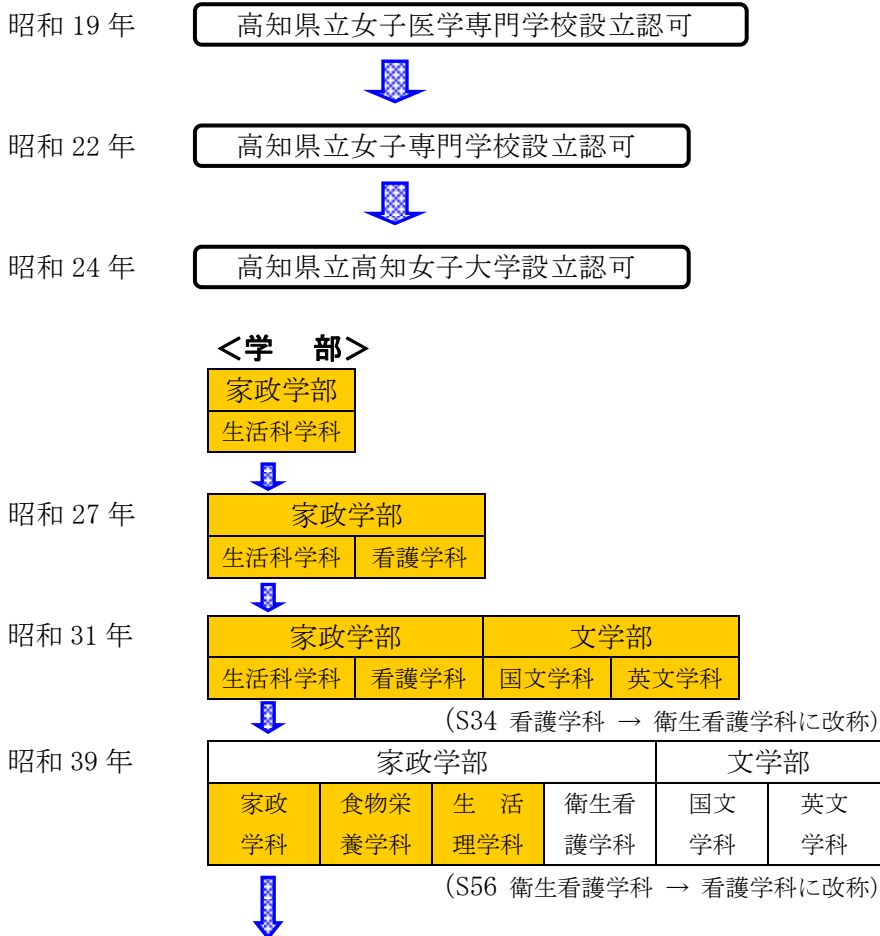
1 概要

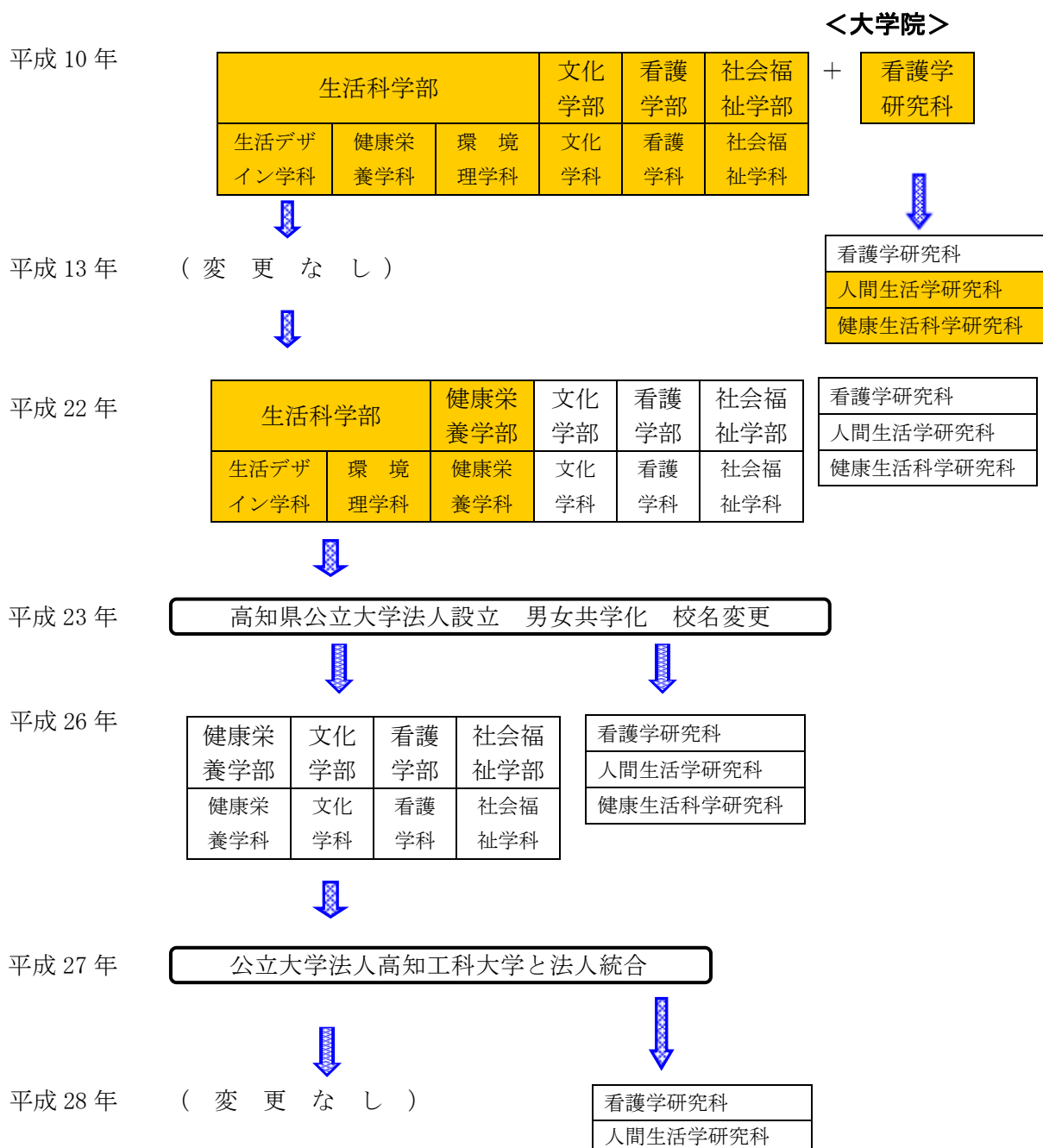
高知県立大学は、高知県立女子専門学校（昭和 22 年設立認可）を母体とする、家政学部生活科学科の単科大学である高知女子大学（昭和 24 年設立認可）を前身とする。その後、昭和 31 年に文学部を新設して 2 学部体制となった。

平成 10 年 4 月には、21 世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して大規模な改組を行い、生活科学部・文化学部・看護学部・社会福祉学部の 4 学部 6 学科体制となるとともに、大学院看護学研究科を新設した。平成 22 年には、生活科学部食物栄養学科が健康栄養学部健康栄養学科へと学部昇格した。平成 26 年 4 月には生活科学部を廃止し、平成 28 年 3 月には健康生活科学研究科を廃止し、看護学研究科及び人間生活学研究科をそれぞれ博士前期課程と博士後期課程からなる体制へと変更を行った。

平成 23 年には公立大学法人化を行い、男女共学化とともに、名称も高知女子大学から高知県立大学へと校名変更を行った。平成 27 年には公立大学法人高知工科大学と法人統合を行った。

2 沿革図





3 主要年表

昭和 19 年 12 月 29 日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和 20 年 8 月 8 日	高知県立女子医学専門学校開学式及び入学式
昭和 22 年 3 月 31 日	高知県立女子専門学校設立認可 (県議会で 2 月 25 日女子医学専門学校廃止、女子専門学校設置の決議)
昭和 24 年 2 月 21 日	昭和 22 年創立の県立女子専門学校を母体とし、県立高知女子大学(家政学部生活科学科)設立認可
昭和 24 年 4 月 1 日	初代学長岡本重雄就任
昭和 25 年 4 月 1 日	家政学部生活科学科を栄養士養成施設として指定

昭和26年	3月31日	教職課程を設置、中学校・高等学校教諭（家庭）免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和27年	2月20日	家政学部に看護学科増設認可
昭和27年	3月18日	学長岡本重雄退職、教授福田俊治学長事務取扱に就任
昭和27年	9月22日	看護婦学校として指定
昭和27年	10月1日	第二代学長志波清時就任
昭和29年	3月21日	学長病気のため教授中村慶三郎学長代理に就任
昭和29年	4月1日	正規の課程及び聴講生の課程を中学校・高等学校教諭（理科、保健、家庭、英語）・養護教諭の免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和30年	3月29日	保健婦学校として指定
昭和30年	9月10日	第三代学長中村慶三郎就任
昭和31年	3月1日	文学部（国文学科、英文学科）増設認可
昭和32年	4月1日	正規の課程を中学校・高等学校教諭（国語）免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和34年	4月1日	家政学部看護学科を衛生看護学科に改称
昭和34年	12月1日	第四代学長紫藤貞一郎就任
昭和38年	8月3日	学長紫藤貞一郎退職、教授田中亮学長事務取扱に就任
昭和39年	4月1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
昭和39年	4月10日	第五代学長徳田弥就任
昭和41年	3月31日	附属図書館新館落成
昭和42年	12月10日	家政学部実験棟新館落成
昭和43年	4月10日	第六代学長藤本薫喜就任
昭和43年	10月15日	管理棟及び講義棟新館落成
昭和44年	9月10日	講堂兼体育館落成
昭和45年	4月2日	第七代学長安中正哉就任
昭和46年	3月31日	学生寮落成
昭和46年	3月31日	集団給食実習室落成
昭和46年	4月1日	正規の課程及び聴講生の課程を高等学校教諭（看護）免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和47年	3月31日	作法室落成
昭和48年	11月7日	運動場完成
昭和50年	1月10日	高知女子大学保育短期大学部認可
昭和50年	4月1日	高知女子大学保育短期大学部開学
昭和55年	4月2日	第八代学長岡崎正一就任
昭和55年	10月7日	南学舎改築学生会館新築落成
昭和56年	4月1日	家政学部衛生看護学科を看護学科に改称
昭和59年	4月2日	第九代学長木原正雄就任
昭和62年	11月15日	情報処理施設設置
昭和63年	6月28日	附属図書館増改築落成
平成2年	3月26日	聴講生の課程を中学校・高等学校教諭（国語）免許状授与資格を取得させるための課程として認定
平成2年	3月27日	弓道場落成

平成 2年	4月	2日	第十代学長池川順子就任
平成 8年	4月	2日	第十一代学長成田十次郎就任
平成10年	3月31日		池校舎落成
平成10年	4月	1日	改組 生活科学部(生活デザイン学科・健康栄養学科・環境理学科) 文化学部(文化学科) 看護学部(看護学科) 社会福祉学部(社会福祉学科) 大学院看護学研究科
平成10年	4月	1日	高知女子大学保育短期大学部廃止
平成13年	4月	1日	大学院研究科の増設 人間生活学研究科(修士課程) 健康生活科学研究科(博士課程後期)
平成15年	1月22日		第十二代学長吉野公喜就任
平成15年	4月	1日	第十三代学長青山英康就任
平成15年	4月	1日	生活科学部健康栄養学科を管理栄養士養成施設として認定
平成16年	4月	1日	高等学校教諭(福祉)免許状授与の所要資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成17年	4月	1日	栄養教諭免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定
平成19年	4月	1日	第十四代学長山根洋右就任 看護学部看護学科を助産師学校として指定
平成21年	11月30日		看護福祉棟新築落成
平成22年	2月28日		本部・健康栄養学部棟新築落成
平成22年	4月	1日	学部改組 生活科学部(生活デザイン学科・環境理学科) 健康栄養学部(健康栄養学科) 文化学部(文化学科) 看護学部(看護学科) 社会福祉学部(社会福祉学科)
平成23年	4月	1日	男女共学化により高知県立大学に校名変更 大学の設置者を高知県公立大学法人に変更 初代学長南裕子就任
平成26年	4月	1日	看護学研究科共同災害看護学専攻(博士課程)を設置 看護学研究科看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)を設置 人間生活学研究課人間生活学専攻(博士前期課程・博士後期課程)を設置 生活科学部の廃止
平成27年	4月	1日	公立大学法人高知工科大学と法人統合 永国寺キャンパス教育研究棟落成 文化学部を拡充(夜間主の設置)
平成28年	3月31日		健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期課程)を廃止

平成29年 4月 1日 第二代学長野嶋佐由美就任
平成30年 3月23日 永国寺キャンパス整備完了（永国寺キャンパス西側敷地に
緑の広場とモニュメント、学生会館の改修完了）。お披露目
式を開催。モニュメント「詩の翼」は同窓会しらさぎ会か
らの寄贈

4 名 誉 教 授

現在までに名誉教授の称号を授与された教授は、66名である。

高知女子大学

(平成23年3月31日現在)

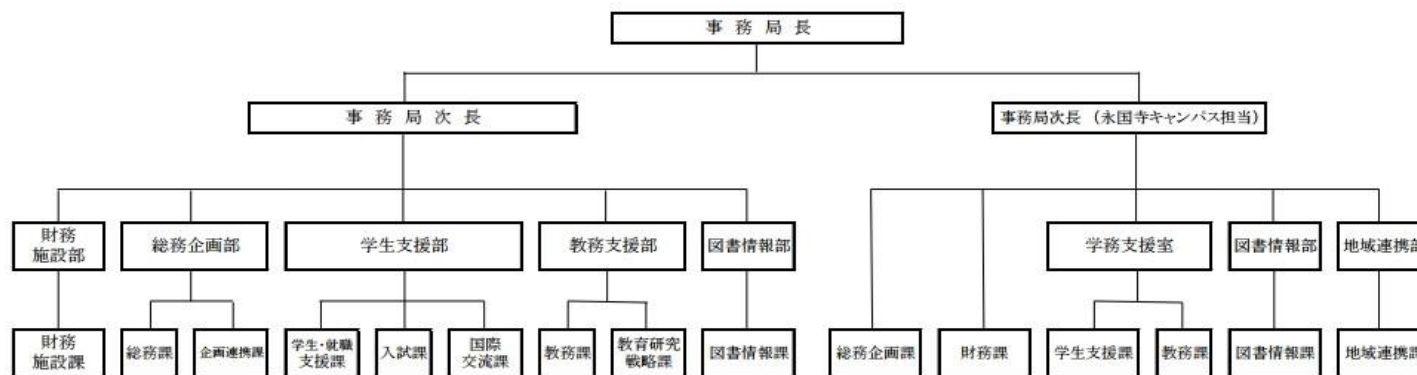
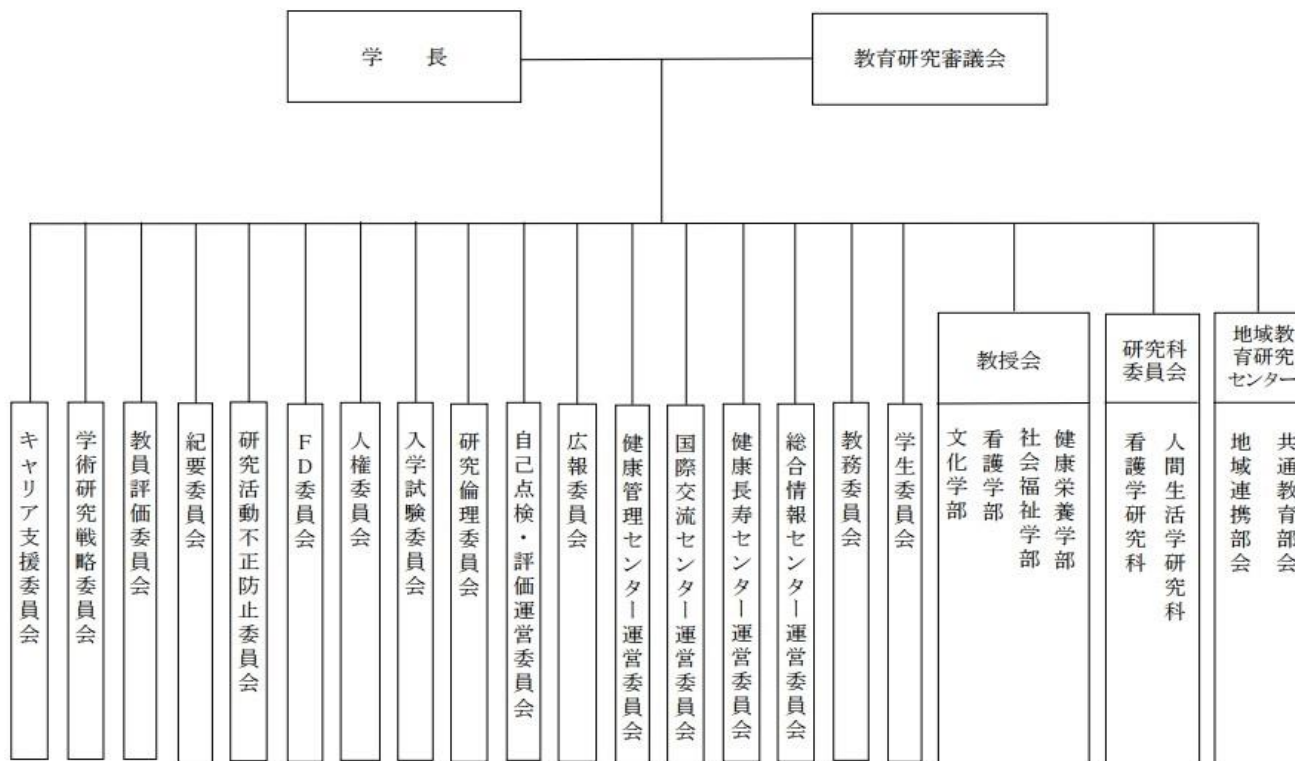
	氏 名	所属(退職時)	授与年月日		氏 名	所属(退職時)	授与年月日
1	正 木 喬	文学部	昭和46. 7.12	26	岡 崎 芳 子	家政学部	平成 9. 4. 1
2	田 中 亮	家政学部	昭和48. 5. 7	27	宇 久 真 雄	文学部	平成 9. 4. 1
3	市 川 一 夫	家政学部	昭和48. 5. 7	28	徳 満 澄 雄	文学部	平成 9. 4. 1
4	笹 原 邦 彦	家政学部	昭和50. 5.19	29	中 山 喜 代 子	家政学部	平成10. 4. 1
5	山 崎 良 幸	文学部	昭和50. 5.19	30	金 谷 嘉 郎	文化学部	平成11. 4. 1
6	丸 山 和 雄	文学部	昭和50. 5.19	31	岡 本 健 児	文学部	平成12. 4. 1
7	和 井 兼 尾	家政学部	昭和51.12.20	32	橋 本 名 正	文化学部	平成12. 4. 1
8	深 瀬 亀 美	家政学部	昭和52. 6.27	33	秋 田 利 彦	生活科学部	平成12. 7. 7
9	三 宮 慎 助	文学部	昭和54. 4.19	34	濱 田 美 智	社会福祉学部	平成13. 4. 1
10	安 中 正 哉	学 長	昭和55. 4.10	35	藤 田 加 代	文化学部	平成14. 4. 1
11	山 本 壽 春	家政学部	昭和55. 4.10	36	坂 本 肇	文化学部	平成14. 4. 1
12	岩 貞 好	家政学部	昭和55. 4.10	37	寺 内 アヤ子	生活科学部	平成14. 4. 1
13	赤 沢 時 之	家政学部	昭和56. 4.10	38	山 崎 美 惠 子	看護学部	平成14. 4. 1
14	芝 田 不 二 男	家政学部	昭和59. 4.10	39	津 曲 裕 次	社会福祉学部	平成14. 4. 1
15	畠 中 幸	文学部	昭和60. 4.10	40	今 西 一 實	社会福祉学部	平成14. 4. 1
16	作 田 芳 次	家政学部	昭和62. 4.10	41	松 本 女 里	看護学部	平成15. 4. 1
17	平 見 嘉 彦	家政学部	平成 3. 5.10	42	生 田 勝 彦	文化学部	平成15. 4. 1
18	児 平 文 雄	家政学部	平成 4. 4. 1	43	阿 部 捷 男	生活科学部	平成16. 4. 1
19	松 崎 淳 子	家政学部	平成 4. 4. 1	44	山 口 俊 治	文化学部	平成18. 4. 1
20	山 崎 智 子	家政学部	平成 6. 4. 1	45	原 絢 子	生活科学部	平成18. 4. 1
21	市 村 金 次 郎	文学部	平成 7. 4. 1	46	松 田 眞 一	社会福祉学部	平成18. 4. 1
22	矢 野 昭 典	文学部	平成 8. 4. 1	47	住 友 弘 一	文化学部	平成19. 4. 1
23	藤 村 千 賀	家政学部	平成 8. 4. 1	48	山 根 久 之 助	文化学部	平成20. 4. 1
24	池 川 順 子	学 長	平成 8. 4. 1	49	川 崎 育 郎	社会福祉学部	平成21. 4. 1
25	松 崎 沙 和 子	家政学部	平成 9. 4. 1				

	氏名	所属(退職時)	授与年月日		氏名	所属(退職時)	授与年月日
1	青山英康	学長	平成23.5.19	10	前山智	社会福祉学部	平成26.5.1
2	成田十次郎	学長	平成23.5.19	11	井本正人	文化学部	平成27.4.1
3	山根洋右	学長	平成23.5.19	12	逸見幾代	健康栄養学部	平成27.4.1
4	北川明	文化学部	平成23.5.19	13	荻沼一男	健康栄養学部	平成28.4.1
5	大久保茂男	生活科学部	平成24.5.31	14	森下利子	看護学部	平成28.4.1
6	青木晴男	文化学部	平成26.4.1	15	南裕子	看護学部	平成29.4.20
7	佐藤恵里	文化学部	平成26.4.1	16	芋生裕信	文化学部	平成30.4.1
8	宮武陽子	看護学部	平成26.4.1	17	宇野浩三	地域教育研究センター	平成30.4.1
9	川村美笑子	健康生活科学	平成26.4.1				

3 組織及び教職員

1 組織(平成30年度)

(1) 組織図



(2)教職員構成

(平成30年5月1日現在)

区分	教 員								事 務 局 職 員				合 計		
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計			
現 員	1	1	43	27	16	33	2	123	1	63	1	65	188		
内 訳	学 長	1							1						
	副学長		1							1					
	文化学部			10	11	4			25						
	看護学部			15	5	6	21		47						
	社会福祉学部			7	4	3	7		21						
	健康栄養学部			4	3	3	2	2	14						
	大学院			3			1		4						
	地域教育研究センター			3	2				5						
	総合情報センター				1		1		2						
	健康長寿センター			1	1		1		3						

(3)平成30年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学長	0						0
文化学部		0	0	1	0	0	1
看護学部		1	0	0	2	0	3
社会福祉学部		0	0	0	1	0	1
健康栄養学部		0	0	0	0	0	0
看護学研究科		0	0	0	0	0	0
人間生活学研究科		0	0	0	0	0	0
地域教育研究センター		0	0	0	0	0	0
総合情報センター		0	0	0	0	0	0
健康長寿センター		1	0	0	1	0	2
合 計		2	0	1	4	0	7

2 教 員(平成30年度末)

○文化学部文化学科

職 名	氏 名	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	五百蔵 高浩	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	博士(学校教育学)(兵庫教育大学)	英語音声学、英語科教育法	英語の子音結合の分布 コーパス言語学的アプローチによる語法
教授	井上 次夫	大阪外国語大学大学院外国語学専攻博士課程修了	修士(言語・文化)(大阪外国語大学)	国語科教育法、日本語学専門演習	日本語における様式的位相の研究 国語科教育における教材開発
教授	岩倉 秀樹	広島大学大学院社会科学研究所法律学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士(広島大学)	日本国憲法、文化と人権、文化と統治システム	表現の自由、選挙法
教授	大井 方子	東京大学大学院経済学研究科第2種博士課程単位取得退学	修士(経済学)(東京大学)	経済学、社会調査論、地域産業論、地域づくりフィールドスタディ I	技術革新、教育と労働に関する実証研究
教授	大村 誠	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学)(京都大学)	地域防災論、地域文化論、観光と自然環境(共通)自然災害と防災の科学	防災全般(防災教育、地域防災、災害看護支援) 人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 理科・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	小長谷 悠紀	立教大学大学院観光学研究科博士課程後期課程単位取得退学	博士(観光学)(立教大学)、 修士(工学)(東京大学)	観光学総論、観光まちづくり論、観光産業論など	観光都市、観光まちづくりの計画・デザイン 観光文化研究(観光地形成過程、他者寛容性の高い風土・都市空間)
教授	高西 成介	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	修士(文学)(広島大学)	中国文学講読	六朝志怪小説、唐代伝奇小説、六朝詩、唐詩の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
教授	橋尾 直和	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士(鳴門教育大学)	日本語学専門演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文化環境言語学的研究
教授	東原 伸明	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学)(名古屋大学)	平安朝文学演習、古典文学講読、基礎古典	土左日記、竹取物語、伊勢物語、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
教授	三浦 要一	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了	博士(学術)(大阪市立大学)	住文化論、景観文化論	伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 歴史的建造物の復元に関する調査研究 大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
教授	ヨース・ジョエル	ルーヴェンカトリック大学日本学科博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴェン大学[ベルギー])	日本思想史、国際日本学	自由民権運動、明治時代の思想と文化、日本の歴史と社会を英語で表現する
准教授	飯高 伸五	東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程単位取得退学	博士(社会人類学)(東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	ミクロネシア地域における日本統治経験 アジア・太平洋戦争の記憶と戦跡観光 同郷者集団のネットワーク
准教授	宇都宮 千穂	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了	博士(経済学)(京都大学)	文化政策学、地域づくり論、地域学概論	近現代における企業城下町形成 都市的生活様式とコミュニティ形成に関する研究 地方移住政策と移住者
准教授	オバーク・アンドリュウ	ウェールズ大学文学研究科哲学博士課程修了、レーディング大学文学研究科言語学教育課程修士修了	博士(哲学)、修士(Mphil 哲学)、修士(MA 応用哲学)(ウェールズ大学)、修士(MA 英語教育)(レーディング大学)	英語ライティング、スピーキング、教育法、異文化理解	自己学、現象学と宗教学と美術学の共通点
准教授	金澤 俊吾	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了	博士(情報科学)(東北大学)	英語学概論、英語文法論、英語学専門演習	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞に関わる構文の意味的ネットワークに関する研究
准教授	菊池 直人	京都産業大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(法学)(京都産業大学)	文化と権利、生活と法文化	生命保険契約における被保険者の法的地位、消費者教育
准教授	清水 直樹	立命館大学大学院政策科学研究科政策学専攻博士課程後期課程修了	博士(政策科学)(立命館大学)	政治学、地域分析論、地方自治論、地域づくりフィールドスタディなど	政治制度が公共政策や社会経済に与える影響
准教授	鳥飼 真人	関西大学大学院文学研究科英文学専攻後期博士課程修了	博士(文学)(関西大学)	英文化・文学史、英文化・文学論、国際文化専門演習	近現代英文学、現代文学理論、比較文化、East-West Studies
准教授	根岸 忠	上智大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学	修士(法学)(法政大学)	労働契約と法文化、社会保障と法文化	企業年金の減額・廃止、障害者雇用、訪問介護労働者の労働条件保護
准教授	向井 真樹子	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics 修了	博士(言語学)(ニューカッスル大学)	対照言語学、比較言語学、言語教育実践論研究、英語学専門演習、英語コミュニケーション I、日本語 II	生成文法における英語、スカンディナヴィア諸言語族、ロマンス諸語、日本語の複合語の普遍的特徴 外国語学習者の言語特徴と習得理論(特に生成文法)
准教授	吉川 孝	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学)(慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派的倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
講師	梶原 太一	同志社大学大学院商学研究科商学専攻博士課程後期課程修了	博士(商学)(同志社大学)	NPO論、キャリアデザイン論、キャリア形成論、ビジネスリテラシー	投資の見返り(ROI)の多様な計算方法 複式簿記情報と資本コスト情報の固有価値 人間の計数能力形成と発達に関する歴史・制度的研究
講師	田中 康代	関西学院大学院法学研究科後期課程単位取得中退	修士(法学)(甲南大学)	社会秩序と法、文化と裁判	国際人権法から見た精神障害者の処遇
講師	田中 裕也	同志社大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程後期課程修了	博士(国文学)(同志社大学)	近代文学講読、日本文学史(近代)	三島由紀夫文学における思想系テキスト受容の研究、戦後文学における(人間)と(美)の表象研究、文学の検閲、解釈学と生成論
講師	溜 和敏	中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期課程修了	博士(政治学)(中央大学)	国際関係論、国際開発論、グローバルスタディー	現代の大国間国際政治におけるインド

○看護学部看護学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	精神看護論、精神看護対象論、精神看護展開論Ⅲ、精神看護ケア研究	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	養護概説、学校保健、臨床看護論Ⅱ、家族関係論、教職実践演習、小児看護学の動向と課題、養護実習	さまざまな健康レベルにある子どもと家族の生きる力を支えるケアについての研究、家族の生活の再構築に関する研究
教授	池田 光徳	岡山大学大学院医学研究科博士課程修了	博士(医学) (岡山大学)	医学の世界、診断学、治療学総論、人体のしくみの乱れⅠ・Ⅱ、臨床看護論、医学と看護の統合	代謝異常症、角化細胞の生物学、皮膚アレルギー、転写因子、褥瘡、皮膚機能検査
教授	内田 雅子	日本赤十字看護大学大学院博士課程修了	博士(看護学) (日本赤十字看護大学)	看護学総論、健康と看護、援助関係論、慢性期看護論、慢性期看護援助論、治療援助論Ⅰ・Ⅱ、症状と看護、治療と看護、臨床看護論Ⅳ(慢性の病と生活)、総合看護実習(慢性期)、看護と政策、慢性期看護実践論、看護実践能力開発実習、看護研究、慢性期看護学の動向と課題	高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進・看看連携モデルの開発 慢性看護実践における事例研究法の再構築 慢性透析者における生活の再編成 チーム・プロセスに焦点化した継続教育プログラム
教授	瓜生 浩子	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	生活援助論Ⅰ、フィジカルアセスメントⅠ、人間と看護、看護過程論、看護援助の動向と課題、看護研究	高次脳機能障害者とともに生きる家族の体験や力、家族への看護支援、災害後における家族レジリエンスを促す看護、家族看護実践における倫理調整力強化のための教育方法とツールの開発に関する研究
教授	大川 宣容	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	フィジカルアセスメントⅡ・治療援助論Ⅰ・急性期看護論・回復期看護援助論・急性期看護援助論・総合看護実習、急性期看護の動向と課題、バイオロジカルナーシング	悲嘆ケアに関する研究 治療期にある患者・家族の体験に関する研究
教授	田井 雅子	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	精神看護学総論、精神の健康と看護、精神看護援助論、精神看護の動向と課題、精神看護実践論、精神看護実習、総合看護実習、看護研究	精神障害者の地域生活に向けた援助 統合失調症患者のセルフマネジメントに関する研究 家族のレジリエンスを促進する看護に関する研究
教授	竹崎久美子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	老人看護学総論、老人看護援助論、老人看護の動向と課題、老人看護実践論、生活援助論Ⅱ、災害と看護ⅠⅡ、看護研究、ふれあい看護実習	高齢者の「居がい」について、 小規模デイサービスの場づくりとケア効果、 高齢者の自宅退院支援プログラムの開発、 認知症高齢者の術後安静をより安楽に保つためのケア開発、 南海トラフ巨大地震準備期における災害看護
教授	時長 美希	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	健康と看護・人間と看護・学校保健・地域看護学総論・地域看護援助論・保健行動論・保健統計学・疫学	「アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築」 「脆弱性を有する家族への支援活動ガイドラインの開発と地域母子支援システムの構築」 「災害後における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築とその活用」
教授	長戸 和子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	生活援助論Ⅱ、生活と看護、看護援助の動向と課題、看護研究	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に関する研究
教授	中野 綾美	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学	博士(看護学) (日本赤十字看護大学)	小児看護学総論、小児の健康と看護、看護研究方法論、看護と政策	命に向き合う子どもと親のエンドオブライフケアへの看護に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究 災害後における家族レジリエンスを促す看護に関する研究
教授	藤田 佐和	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (聖路加看護大学)	看護学総論、治療援助論Ⅱ、看護哲学と倫理、終末期看護援助論、看護と政策	がん認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発 がん看護に携わる看護師の教育プログラムの開発と効果に関する研究
教授	森下 安子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程満期退学	博士(看護学) (高知県立大学)	在宅看護学総論、在宅看護援助論、在宅看護リエン論、在宅看護の動向と課題、人間と看護、臨床看護論Ⅰ	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	森本 悦子	千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (千葉大学)	フィジカルアセスメントⅡ、症状と看護、治療と看護、終末期看護援助論、がん看護論、看護研究、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習	がん治療を継続する患者への看護 地域でがん治療を受ける高齢患者への看護 外来通院がん患者の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの洗練
教授	山田 覚	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	博士(工学) (東海大学)	看護システム論、人間工学	看護管理システムの分析と設計、看護サービスの質の向上と安定、災害看護支援ネットワークに関する研究
准教授	内川 洋子	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護サービス論、看護管理の動向と課題、看護管理実習、チーム医療実習、看護研究、援助関係論、対人関係とメンタルヘルス、看護基盤実習	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ)、看護におけるチームワークについて、看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発、看護教育に関する研究
准教授	川上 理子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	健康とヘルスプロモーション、環境と看護、生活援助論Ⅲ、在宅看護対象論、在宅看護援助論、在宅看護実習、在宅看護の動向と課題	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	佐東 美緒	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学修士課程修了	修士(保健学) (広島大学)	看護研究、小児看護実践論、小児の健康と看護、小児看護援助論、母性看護援助論、助産看護診断論、助産看護援助論、助産技術論Ⅱ、総合看護実習、助産看護実習Ⅰ、母性看護実習、保健行動論、保育学	NICUを退院したこどもとその家族を支える看護に関する研究 こどもセルフケアに関する研究 エンドオブライフケアに関する研究
准教授	嶋岡 暢希	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (日本赤十字看護大学)	母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護実習、助産看護学総論、助産看護診断論、助産看護援助論、助産技術論Ⅰ、助産技術論Ⅱ、助産看護管理論、助産看護実習Ⅰ、助産看護実習Ⅱ、助産看護の動向と課題、看護実践論、総合看護実習、看護と政策	乳児期の子どもをもつ親のMastery獲得を促進する看護援助
准教授	渡邊 聡子	兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (兵庫県立大学)	生命の科学と倫理、母性看護学総論、母性看護対象論、母性看護援助論、母性看護の動向と課題、母性看護実習、助産看護援助論、助産看護実習Ⅰ、母性・助産実践論、看護研究、災害と看護ⅠⅡ	妊産褥婦とその家族、ならびに、ケア提供者における災害への備えと対応
講師	有田 直子	高知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	人間と看護、小児看護の動向と課題、総合看護実習、領域実習(小児看護)	病気を持つ子どもと家族の意思決定に関すること
講師	井上 正隆	高知県立大学大学院健康科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	急性期看護実習、急性期看護援助論、総合実習急性期、保健統計、看護セミナーⅥ	①ストレスバイオマーカーを用いた周手術期患者のストレスの測定 ②急性期看護におけるケアデザインの習得を促進する教授方法の開発 ③一般市民にとって実施可能な胸骨圧迫法の実験研究デザインを用いた検討
講師	小澤 若菜	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	地域の健康と看護、地域看護援助論、地域看護実習、地域看護の動向と課題、保健統計学、疫学、保健行動論、地域看護実践論	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
講師	高谷 恭子	高知女子大学大学院健康科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	小児の健康と看護、小児看護援助論、看護セミナーⅤ、小児看護実習、総合看護実習(小児)、保育学	病いとともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究 臓器移植を受ける子どもの家族に関する研究 子どもセルフケアに関する研究
講師	山中 福子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	看護研究、生活援助論ⅠⅡ、慢性期看護論、慢性期看護援助論、慢性期看護の動向と課題、慢性期看護実習、チーム形成論、専門職連携概論	慢性腎臓病をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護に関する研究
講師	渡邊 美保	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	老人の健康と看護、老人看護援助論、生活援助論Ⅰ、看護研究、総合看護実習、看護基盤実習、地域学実習Ⅰ、ふれあい看護実習	高齢者のリロケーションを促進する看護介入 認知症をもつ高齢者の看護
助教	井上 さや子	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	精神の健康と看護、看護セミナーⅣ	神経性無食欲症の身体感覚・自己・自我に注目した看護介入を明らかにすること
助教	岩井 弓香理	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	看護過程論、臨床看護論Ⅱ、生活援助論Ⅱ	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族への看護について
助教	岩崎 順子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	家族関係論、母性看護援助論、助産看護援助論、母性看護実習、助産看護実習ⅠⅡ	低出生体重児を抱える母親のMaternal Confidenceについての研究
助教	川本 美香	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	地域看護実習、保健行動論、地域看護援助論、看護研究	大腸がん検診の精密検査を受診した人の行動 大腸がん検診精密検査受診促進のための看護ケア 保健師による地区活動
助教	幸崎 若菜	国際医療福祉大学大学院修士課程医療福祉経営専攻修了	修士(看護学) (首都大学東京) 修士(医療ビジネス経営学) (国際医療福祉大学)	母性看護援助論、助産看護援助論、母性・助産看護実践論、総合看護実習、助産看護実習Ⅰ、助産看護実習Ⅱ、母性看護実習	妊娠期からの社会的ハイリスク妊婦の支援に関する研究
助教	小原 弘子	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	生活援助論Ⅲ、治療援助論Ⅰ、看護過程論、在宅看護実習、看護基盤実習、看護管理実習、ふれあい看護実習	在宅移行支援に関すること 訪問看護師と介護職との協働に関すること 訪問看護師対象のシミュレーション教育に関すること 在宅療養者の褥そう予防に関すること
助教	坂元 綾	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	治療援助論Ⅰ、フィジカルアセスメントⅡ、看護過程論、ふれあい看護実習、看護基盤実習、家族看護実習、チーム医療実習、看護実践能力開発実習、急性期看護実習	病棟看護師長のスタッフ育成における役割に関する研究 在宅酸素療法を要するCOPD患者の社会参加の促進に関する研究 2型糖尿病患者のフットケアにおけるエビデンスに関する研究
助教	塩見 理恵	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、共通地域学実習Ⅱ、看護セミナーⅠ	地域で生活精神障がい者のストレンスを高めるケアに取り組んでいる看護師の姿勢を明らかにすること

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	庄司 麻美	大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (大阪府立大学)	症状と看護、看護基盤実習、慢性期看護実習、看護実践能力開発実習、臨床看護実践論	治療期の進行肺がん患者の呼吸困難感をマネジメントする統合的看護介入モデルの開発
助教	高樽 由美	高知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知県立大学)	看護基盤実習、総合看護実習、慢性期看護援助論	1型糖尿病患者の療養体験に関する研究 糖尿病患者のフットケアに関する研究
助教	瀧 めぐみ	愛知県立大学大学院看護学研究科修了	修士(看護学) (愛知県立大学)	総合看護実習、精神看護実習	行動制限最小化における多職種間の倫理調整に関する研究 高幡保健医療圏における精神障害者への包括的支援マネジメントの現状と課題
助教	田之頭 恵里	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	小児看護援助論、フィジカルアセスメントⅠ、看護セミナーⅠ、総合看護実習、領域実習(小児看護)	臓器移植を受けた子どもや家族に関する研究
助教	田村 美和	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	慢性期看護実習、慢性期看護論(演習)、慢性期看護援助論(演習)	慢性疾患をもつ人の病い体験理解に関する研究
助教	佃 雅美	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	急性期看護援助論、総合看護実習:急性期、急性期看護実習	ICU看護師の姿勢に関する研究
助教	中井 美喜子	高知県立大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知県立大学大学院)	在宅看護援助論、在宅看護実習、看護基盤実習、家族看護実習、ふれあい看護実習	人工呼吸器を装着した児と家族のヘルスケア機能に関する研究
助教	永井 真寿美	高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (高知県立大学)	母性看護実習、助産看護実習Ⅰ・Ⅱ、母性看護対象論、母性看護援助論、助産看護援助論、助産技術論Ⅰ・Ⅱ、看護セミナーⅡ・Ⅳ	家族形成期にある家族のヘルスリテラシーに関する研究 シミュレーション教育を活用して行う助産師教育に関する研究 精神疾患をもつ女性が親になる過程に関する研究
助教	西内 舞里	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	母性看護援助論、母性看護実習、助産技術論Ⅰ、Ⅱ、助産看護援助論、助産技術論Ⅱ、助産看護実習Ⅰ、Ⅱ、母性看護実習、フィジカルアセスメントⅡ	糖尿病合併妊婦と夫の妊娠期の協働に関する研究
助教	畠山 典子	順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (順天堂大学)	地域看護実習、総合看護実習、地域の健康と看護、地域看護援助論(演習)、地域看護の動向と課題	妊娠出産包括ケアシステムに関する研究 保健師の人材育成に関する研究 地域減災とプライマリヘルスケアに関する研究
助教	原田 圭子	札幌市立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	修士(看護学) (札幌市立大学)	ふれあい看護実習、看護基盤実習、総合看護実習、在宅看護実習、地域学実習Ⅰ、生活援助論Ⅱ、看護過程論	積雪寒冷地在住高齢者の閉じこもり予防に関する研究
助教	森本 紗磨美	東京医科歯科大学大学院博士前期課程修了	修士(看護学) (東京医科歯科大学)	フィジカルアセスメントⅡ、急性期看護援助論、総合看護実習:急性期、急性期看護実習、看護基盤実習	消化器がん患者の周術期看護に関する研究
助教	山口 智治	愛知県立大学大学院看護学研究科修了	修士(看護学) (愛知県立大学)	小児看護実習、家族看護実習、看護研究、家族関係論、看護セミナーⅢ	障がいのある家族員を内包する家族への看護に関する研究 家族と看護師とのパートナーシップに関する研究
特任教授	久保田 聡美	高知女子大学大学院健康科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (高知女子大学)	特別講義(看護学研究科)管理者研修、看護管理者研修、コーディネイト能力習得研修(退院支援事業)	災害に強い専門職育成に関する研究 看護職のストレスマネジメントに関する研究 慢性疾患や禁煙支援、スタッフ支援における動機付け面接(MI)の臨床活用
特任准教授	森下 幸子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知女子大学)	訪問看護	医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラムの開発 新卒訪問看護師育成と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築
特任助教	坂本 和子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程修了	修士(看護学) (高知大学)	訪問看護	在宅療養を受けている家族のサポートに関する研究
特任助教	門田 麻里	高知女子大学看護学研究科修了	修士(看護学) (高知女子大学)		
大学院教授	神原 咲子	岡山大学大学院医学総合研究科国際環境科学講座公衆衛生学博士課程修了	博士(医学) (岡山大学)	看護と文化ⅠⅡ、保健統計学、災害と看護ⅠⅡ	平時の地域モニタリングを有する減災看護モデルの構築
大学院特任教授	中山 洋子	Oregon Health Sciences 大学博士課程修了	博士(看護学) (Oregon Health Sciences大学)	看護学の動向と展望、解釈的看護学	東日本大震災における放射線災害とメンタルヘルスケアに関する研究 看護におけるClinical Judgmentに関する研究 看護師の看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究 精神障害者のSelf-care Assessment Toolの開発とその臨床活用 精神障害者の退院促進・地域ケアのあり方に関する研究 キャリア後期看護師の実践能力の開発とその活用
大学院特任教授	南 裕子	カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了	博士(看護学) (カリフォルニア大学)	最新専門看護実践講座ⅠⅡ、イノベーション看護学	

○社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	杉原 俊二	香川医科大学大学院医学研究科環境生態系専攻博士課程	博士(医学) (香川医科大学)	心理学理論と心理的支援、実践記録法、発達と老化の理解、面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析とその応用
教授	田中 きよむ	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論、地域福祉論、福祉行財政と福祉計画、公的扶助論、権利擁護論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、「小さな拠点」を軸とする住民共生型地域づくりの形成要因と持続モデル 地域福祉計画に基づく住民主体の福祉型地域づくりの形成要因と発展プロセス
教授	長澤 紀美子	新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論、現代社会と福祉、女性福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向と国際比較 ケアまたは福祉サービスの行政評価・アウトカム評価 ジェンダー視点での性的少数者の人権擁護と支援
教授	西内 章	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(臨床福祉学) (関西福祉科学大学)	相談援助の基盤と専門職、事例研究法、相談援助実習指導	多職種連携を活用したソーシャルワークの展開方法に関する研究 エコシステム視座に基づくソーシャルワーク実践の支援ツールに関する研究
教授	丸山 裕子	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (大阪府立大学)	精神保健福祉援助技術総論、福祉研究法入門	ソーシャルワーク実践過程研究 ①ソーシャルワーク実践方法(利用者参加と地域生活支援)の開発 ②ソーシャルワーカーの実践的コンピテンスの開発
教授	宮上 多加子	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程、認知症の理解	福祉分野の専門職養成教育とキャリア意識
教授	横井 輝夫	広島大学大学院保健学研究科保健学専攻修了	博士(保健学) (広島大学)	精神科リハビリテーション学、精神保健学、こころとからだのしくみ、発達と老化の理解	言語からみた認知症の人の理解
准教授	鈴木 孝典	大正大学大学院人間科学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻修了	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論、精神保健福祉援助実習	精神障害者の居住支援に関する研究 障害者ケアマネジメント従事者の養成に関する研究 障害者の地域相談支援の推進に関する研究
准教授	中島 洋	上智大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程単位取得満期退学	博士(医療福祉学) (国際医療福祉大学)	児童家庭福祉論、子育て支援論、社会福祉史、現代社会論、相談援助実習指導	戦後日本のホームヘルプ事業史研究 地域共生社会及び地域包括支援に関する総合的研究 福祉系公開講座の内容及び運営に関する総合的研究 質的研究法の開発に関する研究
准教授	西梅 幸治	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法、相談援助の基盤と専門職、相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究 エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
准教授	三好 弥生	高知県立大学人間生活学専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護過程、生活支援技術、医療的ケア、高齢者福祉論	高齢者の看取りに関する研究
講師	河内 康文	高知県立大学人間生活学専攻博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	介護の基本、コミュニケーション技術、障害の理解	介護人材の育成に関する研究
講師	遠山 真世	東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程修了	博士(社会福祉学) (東京都立大学)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度、相談援助実習指導	障害者の雇用促進・就労支援にかんする研究
講師	福間 隆康	広島大学大学院社会科学部研究科博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉対象入門、福祉援助入門、福祉サービスの組織と経営、相談援助実習指導	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究
助教	稲垣 佳代	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	大熊 絵理菜	高知県立大学人間生活学研究科人間生活学専攻博士前期課程	修士(社会福祉学) (高知県立大学)	医療ソーシャルワーク論	医療ソーシャルワーカーのアセスメントに関する研究
助教	片岡 妙子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻	修士(看護学) (高知大学)	医療的ケア、生活支援技術、介護技術	介護福祉士による医療的ケア実施に関する研究
助教	加藤 由衣	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法、相談援助実習指導	ソーシャルワークにおける省察的実践の研究
助教	雑賀 正彦	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (日本福祉大学)	コミュニティーソーシャルワーク、ケアマネジメント論、相談援助実習指導	中山間地域を抱えた小規模自治体における地域支援体制に関する研究 地域福祉実践に関する研究
助教	田中 眞希	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	生活支援技術、介護総合演習、障害の理解	介護職員の現場教育とキャリア意識
助教	玉利 麻紀	大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(人間科学) (大阪大学)	対人関係とメンタルヘルス、精神保健福祉援助実習指導	精神障害者をはじめとする社会的マイノリティへの偏見軽減アプローチに関する研究
助教	福田 敏秀	鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程修了	博士(保健学) (鳥取大学)	対人関係とメンタルヘルス	高齢者の在宅生活支援に関する研究

○健康栄養学部

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	稲井 玲子	徳島大学大学院栄養学研究科修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育	食育を通しての体づくり(食品の機能性に関する研究)
教授	小林 淳	金沢大学大学院自然科学研究科修了	博士(学術) (金沢大学)	公衆衛生学、生化学、地域健康論、生化学実験、環境衛生学実習	環境汚染化学物質の動態把握、食品添加物の分析
教授	村上 尚	熊本大学大学院医学研究科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、生体科学実験・実習	生活習慣病の細胞生物学的解析
教授	渡邊 浩幸	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学、食品衛生学	エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 栄養機能探索 食品の保存と加工
准教授	荒牧 礼子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習	ライフステージ別でみた食事調査法に関する研究 脂肪エネルギー比を用いた食物摂取状況の分析 料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究 若年成人の食物摂取に関する研究
准教授	鈴木 麻希子	岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻修了	博士(医学) (岐阜大学)	基礎栄養学、応用栄養学	食物アレルギー 翻訳後修飾(メチル化アルギニン)の生理的役割 加工食品中のリンの定量
准教授	西岡 道子	鳥取大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	加熱調理における魚肉のビタミンB ₁₂ 含量について 調理における野菜の葉酸含量について
講師	島田 郁子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	給食経営管理	地域食材を活かしたレシピ作成・PR方法 学生を対象にした災害時の備え教育 高齢者の給食喫食率向上の試みー肉軟化剤等による検討ー
講師	竹井 悠一郎	徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻博士後期課程修了	博士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学	骨外軟組織に発現する破骨細胞を標的とした栄養学的アプローチへ血管組織と肺組織を中心に～
講師	廣内 智子	高知県立大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了	博士(生活科学) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	災害時の栄養管理について
助教	隅田 有公子	高知女子大学人間生活学研究科人間生活学専攻博士前期課程修了	修士(学術) (高知女子大学)	臨床栄養学実習等	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案
助教	竹本 和仁	武庫川女子大学大学院生活環境学研究科食物栄養学専攻博士後期課程修了	博士(食物栄養学) (武庫川女子大学)	栄養学実験、生化学実験	食物アレルギー、高知県の伝統食品の機能性の検索
助教	沼田 聡	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程修了 (論文により博士号取得)	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習、環境衛生学実習、地域実践栄養学臨地実習	1型糖尿病関連自己抗体に対する超高感度酵素免疫測定法の開発 卵白アレルギーに対する超高感度酵素免疫測定法の開発
助手	川村 真美	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	食品の機能性評価について
助手	彼末 富貴	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、生体科学実験・実習	土佐の伝統食

【地域教育研究センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学、地球の科学	環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	清原 泰治	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻	体育学修士(筑波大学)	健康スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ	1950～60年代における市町村民運動会の社会的機能に関する研究 高知県の中山間地域の活性化と大学教育
教授	石山 貴章	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	社会福祉学博士(高知女子大学)	教育心理学、発達心理学、教育方法論、生徒指導論、教育相談論、教育実習、介護等体験	特別支援教育の授業づくり 障害者の就労支援に関する研究 心理検査/発達検査におけるアセスメントと支援アプローチ
准教授	鈴木 康郎	筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得満期退学	教育学修士(筑波大学)	教育原理、教師論、道徳教育論、人権教育に関する科目、地域学実習	アジアの教育制度、教育実践に関する国際比較研究 アジアにおける多文化教育に関する研究 教育を通じたヒトの国際移動、国際交流に関する研究
講師	野辺 陽子	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了	社会学博士(東京大学)	基礎ジェンダー学、ジェンダーとキャリア	社会的養護の実態と要因の自治体間格差に関する社会学的研究 養子・里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究 日韓の養子制度に関する比較歴史社会学的研究

【総合情報センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士(北海道大学)	物理学通論、量子物理学	コンピュータを用いた物理学の教材開発、軽い核の構造解析
助教	名和 真一	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論、コンピュータリテラシー	核力と量子色力学(QCD)、計算機物理

【健康長寿センター】

職名	氏名	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
特任教授	久保田 聡美	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(看護学)(高知女子大学)	管理者研修、看護管理者研修、コーディネーター能力習得研修(退院支援事業)	災害に強い専門職育成に関する研究 看護職のストレスマネジメントに関する研究 慢性疾患や禁煙支援、スタッフ支援における動機付け面接(MI)の臨床活用
特任准教授	森下 幸子	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	修士(看護学)(高知女子大学)	訪問看護	医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラムの開発 新卒訪問看護師育成と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築
特任助教	坂本 和子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程看護学修了	修士(看護学)(高知大学)	訪問看護	

【大学院】(平成30年度)

○看護学研究科看護学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	中野 綾美	看護研究と実践、小児看護方法論Ⅱ、小児看護課題研究ほか
—	教授	畦地 博子	看護理論と実践、看護研究と実践、こころの発達ほか
—	教授	池添 志乃	看護理論と実践、看護学基盤論、学校保健研究ほか
—	教授	池田 光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論、がん病態生理学ほか
—	教授	内田 雅子	ケア論、慢性看護ケア研究、臨床看護学専門演習ほか
—	教授	瓜生 浩子	家族看護論、家族看護方法論Ⅰ・Ⅱ、家族看護学実践演習ほか
—	教授	大川 宣容	クリティカルケア看護方法論、クリティカルケア看護学実践演習ほか
—	教授	神原 咲子	グローバルヘルス、最新専門看護実践講座ⅠⅡ
—	教授	田井 雅子	精神看護方法論、精神看護展開論、精神看護学実践演習ほか
—	教授	竹崎 久美子	看護倫理、看護学基盤論、臨床倫理、老人看護ケア研究ほか
—	教授	時長 美希	地域看護論、看護学基盤論、地域ケア研究、地域保健学専門演習ほか
—	教授	長戸 和子	家族看護論、家族看護方法論Ⅰ・Ⅱ、家族看護学実践演習ほか
—	教授	藤田 佐和	看護倫理、がん看護論、がん看護方法論、がん看護課題研究ほか
—	教授	森下 安子	在学看護論、在宅看護展開論、在宅看護方法論、看護マネジメント論ほか
—	教授	森本 悦子	緩和ケア特論、がん看護方法論、がん看護実践演習ほか
—	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論ほか
—	特任教授	久保田 聡美	
—	特任教授	中山 洋子	看護学の動向と展望
—	特任教授	南 裕子	看護学の動向と展望、最新専門看護実践講座ⅠⅡ
—	准教授	内川 洋子	看護管理展開論、看護マネジメント論、臨床看護管理研究ほか
—	准教授	川上 理子	在宅看護方法論、在宅看護展開論、在宅看護学実践演習ほか
—	准教授	佐東 美緒	小児看護対象論、小児看護方法論、小児看護ケア研究ほか
—	講師	有田 直子	小児看護方法論、小児看護学実践演習、看護コンサルテーション論ほか
—	講師	高谷 恭子	看護研究と実践、小児看護論、こころの発達ほか

○看護学研究科看護学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	教授	中野 綾美	看護学研究方法Ⅰ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	畦地 博子	理論看護学Ⅰ、看護学研究方法Ⅰ、看護倫理学、インディペンデントスタディほか
—	教授	池添 志乃	学校保健学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	池田 光徳	医学研究方法論、看護病態生理学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	内田 雅子	成人看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	瓜生 浩子	家族看護学Ⅱ
—	教授	大川 宣容	成人看護学Ⅱ
—	教授	田井 雅子	精神看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	竹崎 久美子	老人看護学Ⅰ・Ⅱ
—	教授	時長 美希	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	長戸 和子	家族看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	藤田 佐和	理論看護学Ⅰ、看護倫理学、がん看護学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	教授	森下 安子	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ
—	教授	森本 悦子	がん看護学Ⅱ
—	教授	山田 覚	看護学研究方法Ⅱ、看護経営管理学Ⅰ・Ⅱ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	准教授	吉川 孝	理論看護学Ⅱ
—	特任教授	中山 洋子	理論看護学Ⅱ
—	特任教授	野嶋佐由美	理論看護学Ⅰ、看護学研究方法Ⅰ、看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
—	特任教授	南 裕子	イノベーション看護学

○看護学研究科共同災害看護学専攻<博士課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
—	特任教授	南 裕子	看護研究方法、災害看護理論構築、実践課題レポート、博士論文ほか
—	特任教授	中山 洋子	看護研究方法、理論看護学Ⅱ、看護学研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)ほか
—	教授	山田 覚	災害看護管理・指揮論
—	教授	神原 咲子	看護研究方法、災害看護管理・指揮論、インディペンデントスタディ(演習)Aほか
—	教授	大村 誠	環境防災学
—	准教授	吉川 孝	看護学研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士前期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
基礎	教授	石山 貴章	教育心理学特論
基礎	教授	清原 泰治	地域スポーツ論
基礎	准教授	野辺 陽子	ジェンダー論
基礎	准教授	吉川 孝	研究と倫理、文化学課題研究演習
栄養・生活学	教授	一色 健司	研究方法論Ⅰ、データ解析論、環境解析論、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	教授	稲井 玲子	食生活論Ⅰ・Ⅱ、食生活論演習
栄養・生活学	教授	小林 淳	栄養生活統計論、環境生態論
栄養・生活学	教授	村上 尚	臨床栄養学特論、健康動態論、栄養・生活特論Ⅰ、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	研究方法論Ⅰ、食品生化学論、食物科学論、栄養・生活学課題研究演習ほか
栄養・生活学	准教授	荒牧 礼子	栄養疫学論
栄養・生活学	准教授	鈴木 麻希子	栄養学特論、栄養・生活特論Ⅰ・Ⅱ、栄養・生活学課題研究演習
栄養・生活学	講師	竹井 悠一郎	臨床栄養学特論、栄養・生活特論Ⅰ
社会福祉学	教授	杉原 俊二	データ解析論、児童・家庭福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	宮上 多加子	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	研究方法論Ⅱ、国際福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	田中 きよむ	社会保障論、福祉行財政論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	丸山 裕子	精神科ソーシャルワーク論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	教授	横井 輝夫	健康リハビリテーション論、福祉リハビリテーション論
社会福祉学	准教授	鈴木 孝典	研究方法論Ⅱ、障害者福祉論、精神保健福祉論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	准教授	西内 章	研究方法論Ⅱ、ソーシャルワーク論、高齢者福祉論、社会福祉学課題研究演習
社会福祉学	准教授	西梅 幸治	ソーシャルワーク論、研究方法論Ⅱ
社会福祉学	准教授	三好 弥生	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ
文化	教授	五百藏 高浩	英語教育学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅰ・Ⅱ、文化学課題研究演習ほか
文化	教授	岩倉 秀樹	地域文化論Ⅳ、研究方法論Ⅲ
文化	教授	大村 誠	地域文化論Ⅱ、文化学課題研究演習
文化	教授	高西 成介	中国文化論
文化	教授	橋尾 直和	日本文化論Ⅳ
文化	教授	東原 伸明	日本文化論Ⅰ、文化学課題研究演習
文化	教授	三浦 要一	地域文化論Ⅲ、文化学課題研究演習
文化	准教授	金澤 俊吾	英語文化論、英語学特論Ⅰ・Ⅱ 英語言語文化論特論Ⅰ、英語教育実践研究Ⅰ
文化	准教授	ヨース・ジョエル	日本文化論Ⅲ、国際日本学、異文化理解特論、文化学課題研究演習
文化	准教授	鳥飼 真人	英語圏文学特論Ⅰ、英語圏文化特論Ⅰ、英語教育実践研究Ⅱ
文化	准教授	山口 善成	英語圏文学特論Ⅱ、英語圏文化論特論Ⅱ、英語教育実践研究Ⅱほか

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士後期課程>

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	五百藏 高浩	言語・コミュニケーション論
共通	教授	東原 伸明	表象・メディア論
共通	教授	三浦 要一	居住文化論
栄養・生活学	教授	大村 誠	地球環境解析学、特別研究
栄養・生活学	教授	村上 尚	健康動態学、特別研究
栄養・生活学	教授	渡邊 浩幸	食品機能学、特別研究
社会福祉学	教授	杉原 俊二	児童・家族福祉学、障害者福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	長澤 紀美子	国際福祉政策学、地域福祉学、特別研究
社会福祉学	教授	宮上 多加子	介護福祉学、地域福祉学、特別研究

【非常勤講師】(平成30年4月1日現在)

	氏 名	専門分野(担当科目)
文化学部	安藤 麻貴	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ、フランス語中級Ⅰ・Ⅱ
	池 純子	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ
	北川 修久	書道
	坂本 智香	言語学概論
	シュテファン・フーク	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ
	吉本 秋水	言語教育実践論Ⅰ
	渡部 淳	日本文化論
看護学部	穴山 貴嗣	病態と治療Ⅱ
	家保 英隆	地域保健政策
	今井 利	病態と治療Ⅰ
	上野晃子	助産診断論
	浦田 知之	病態と治療Ⅰ
	栄徳 勝光	公衆衛生学、健康管理論
	大上 賢祐	病態と治療Ⅱ
	大西 広志	病態と治療Ⅰ
	岡林 雄大	病態と治療Ⅱ
	岡谷 恵子	看護と政策
	尾崎 和秀	病態と治療Ⅱ
	小野 憲昭	病態と治療Ⅱ
	金澤 亜錦	小児と疾患
	上村 直人	心のしくみ
	川添 哲嗣	在宅医療
	川原 由佳里	医療史
	熊田 孝恒	行動科学
	栗田 佳彦	小児と疾患
	小島 優子	生命の科学と倫理
	小松 淳子	母性学、助産学

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	小松 利広	微生物学
	是永 正敬	微生物学
	齋藤 源頭	薬理学
	佐賀 啓子	医療と経営
	佐々木 潔	小児と疾患
	清水 孝洋	薬理学
	菅沼 成文	健康管理論、公衆衛生学
	砂田 哲	小児と疾患
	高橋 美枝	病態と治療Ⅰ
	高島 大典	病態と治療Ⅱ
	谷口 睦男	人体の機能Ⅰ・Ⅱ
	土山 芳徳	病態と治療Ⅰ
	手島 恵	看護学の動向と課題
	土井 彰	病態と治療Ⅱ
	砥谷 和人	病態と治療Ⅰ
	所谷 知穂	小児と疾患
	豊田 誠	健康管理論
	永井 立平	母性学、助産学
	中田 裕生	小児と疾患
	永野 志歩	心のしくみ
	西内 律雄	小児と疾患
	西山 充	病態と治療Ⅰ
	沼本 邦彦	病態と治療Ⅱ
	東 洋一郎	薬理学
	平野 世紀	病態と治療Ⅰ
	福井 直樹	病態と治療Ⅱ
	福井 康雄	病態と治療Ⅰ
福永 一郎	地域保健政策	

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	藤田 博一	心のしくみ
	細木 信吾	病態と治療 I
	松本 務	在宅医療
	南 晋	母性学
	宮澤 真理	小児と疾患
	宮野 伊知郎	公衆衛生学
	宮本 寛	在宅医療
	明神 和弘	心のしくみ
	森田 雅範	病態と治療 I
	山本 寄人	助産学、母性学
	社会福祉学部	奥谷 文乃
加藤 誠之		更生保護制度
川口 順子		生活支援技術IV
谷口 睦男		人体の構造と機能及び疾病
玉里 恵美子		社会理論と社会システム
山崎 正雄		精神医学
健康栄養学部	片山 訓博	運動生理学
	川俣 美砂子	保育学
	田村 安興	フードシステム学

	氏 名	専門分野(担当科目)
共通教養教育科目	岩郷 浩二	英語コミュニケーション
	荻沼 一男	基礎生物学、土佐の自然と暮らし
	片田 一義	英語コミュニケーション
	北川 泰生	英語コミュニケーション
	駒井 説夫	健康スポーツ科学Ⅱ
	サイモン・クインラン	英語コミュニケーション
	塩坪 いく子	心理学
	竹下 誠一	地域メディア論
	常行 泰子	健康スポーツ科学Ⅰ
	福井 恵人	英語コミュニケーション
	福江 等	英語コミュニケーション
	福江 満子	英語コミュニケーション
	別役 和利	英語コミュニケーション
	本間 聖康	健康スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
	松原 史典	英語コミュニケーション
	松吉 明子	英語コミュニケーション
	宮本 隆信	健康スポーツ科学Ⅱ
	宮本 祥子	英語コミュニケーション
	谷地森 秀二	土佐の自然と暮らし
	吉田 祐子	英語コミュニケーション
李 賢珠	英語コミュニケーション	
課程職	鹿嶋 真弓	特別活動論
	福石 賢一	教育課程論
	山下 文一	教育カリキュラム開発論

※ 臨床教授

高知医療センター	島田 安博
高知医療センター	杉本 清治
高知医療センター	田鍋 雅子
高知医療センター	西岡 明人
高知医療センター	西田 武司
高知医療センター	野中 真澄
高知医療センター	林 和俊
高知医療センター	森田 荘二郎
高知赤十字病院	吉永 恵子
高知大学医学部附属病院	多田 邦子
高知県中央東福祉保健所	田上 豊資
高知市保健所	堀川 俊一

4 教育及び研究

1 学部・大学院の概要

【学部】

○ 文化学部

人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成する。

- * 基礎学力の養成
- * 人間性の涵養
- * 社会人基礎力の養成
- * 豊かな感性と思考力の養成
- * 高度な言語コミュニケーション力の養成
- * 地域文化の創造に貢献できる行動力の養成

○ 看護学部

看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を持った人材を養成する。

- * 人々の生き方や価値観を尊重して看護を展開する能力の養成
- * 専門的知識・技術、科学的・倫理的判断に基づく看護実践能力の養成
- * 社会のニーズを予測し、多職種と協働して問題を解決する能力の養成
- * 専門職者としての姿勢を培い、地域の健康生活を創造する能力の養成
- * 国際的見地に立って看護学の学際的発展を推進する能力の養成

○ 社会福祉学部

福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的技能を教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉の実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を育成する。

- * 地域・家族のもつ福祉課題への対応能力の養成
- * 社会福祉実践能力の養成
- * 保健・医療・福祉の効果的な連携をめざした社会福祉専門職の養成

○ 健康栄養学部

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

- * 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成
- * 専門的知識・技術、科学的思考力の養成
- * 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成
- * 豊かな人間性を培う
- * 地域に貢献できる能力の養成

【 大学院 】

看護学研究科の理念

看護学研究科は、人間の存在と生命の尊厳に基づいて、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学の学術基盤を充実・発展させ、さらに革新することに寄与できる高度な教育・研究・実践能力をもつ看護専門職者を養成する。

○ 看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

広い視野に立って精深な学識を授け、高度な専門的実践能力と看護分野における研究能力を養うことを目的とする。

- (1) 個人・家族・地域を多角的、複眼的視点で捉え、総合的判断力と問題解決能力、倫理観を基盤として、質の高い看護ケアの提供と高度な専門的知識・技術を開発できる人材を養成する。
- (2) 多様な健康状態にある人々を、個人の尊厳やQOLを尊重し、その人らしく生きることができるよう包括的に支援できる人材を養成する。
- (3) 地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる人材を養成する。
- (4) 社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の専門職と協働しながら社会状況に対応する方略を開発し、看護実践の場のみならず、教育や政策の場で変革者として貢献できる人材を養成する。
- (5) 看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、臨床に根ざした看護研究を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる人材を養成する。
- (6) 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる人材を養成する。

○ 看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

看護学の学術的基盤を発展させるために看護学に関する学術と研究を国際的・学際的に推進し、その深奥を究め、創造的に自立して研究活動を行う高度な専門的能力を養うことを目的とする。

- (1) 看護学の学術的な基盤を発展させるために、グローバルスタンダードで看護学の知識や技術を研究開発し、看護学にイノベーションをもたらす人材を養成する。
- (2) 最新の看護学の知識や技術、看護関連分野の知見等を活用し、人や社会に貢献するケアの開発に取り組み、人々の安心な生活の実現やQOLの向上を推進していくことのできる人材を養成する。
- (3) 国内外の専門職と連携して、政策開発や意思決定に参加し、健康医療福祉システムの構築や変革をもたらす人材を養成する。
- (4) 科学的・学際的な基盤を持って人々の健康生活や健康文化を創造することに寄与する、次世代の高度実践看護者を養成する高等教育を担う人材を養成する。

○ 看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

博士課程は、豊かなそして高度な看護学専門知識を培い、学際的・国際的でグローバルな見識に基づいた研究を発展させ、特に災害看護学に関してその深奥を究め、人間の安全保障の進展に寄与することを目的とする。

- (1) 人間の安全保障を理念として、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことを支援できる人材を養成する。
- (2) 災害サイクル諸局面において「健康に生きるための政策提案」に取り組むことができる人材を養成する。
- (3) グローバルな視点から安全安心社会の実現に向けて、産学官との連携を築き、制度やシステムを変革できる人材を養成する。
- (4) 学際的な視点、国際的な視点から災害看護学を構築し、災害看護学を研究開発できる人材を養成する。

○ 人間生活学研究科（博士前期課程）

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、栄養・生活学、社会福祉学、文化の各学体系を基盤に、複合的に人間生活を教育・研究することにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を養成する。

- (1) 複数の領域にわたる幅広く深い学識を身につけ、自立して人間生活にかかわる諸問題にとりくみ、その解決に向けて連携・調整をはかる能力をもつ人材を養成する。
- (2) 地域社会の特性をふまえて、生活・栄養・社会福祉・文化の面から、地域の人々の生活に関する総合的な地域システムづくりを計画・遂行できる高度専門職業人を養成する。
- (3) 生活・栄養・社会福祉・文化の分野における専門的な知識と技術を、人間の生活に関して焦点化し、共有化できる能力を培う。
- (4) 人々の快適で安心できる生活を実現するために、地域に根ざした研究を通して、学問の体系化とその発展に貢献できる能力を培う。

○ 人間生活学研究科（博士後期課程）

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、人間生活学を基盤とした教育・研究を行うことにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を養成する。

- (1) 自立した研究者として人々の生活に寄与する最新の知識や技術を研究開発していく人材を養成する。
- (2) 最新の知識や技術を活用して新たな知の開発に取りくみ、人間生活の質を向上させていく人材を養成する。
- (3) 国内外の専門職と連携して、人間生活に変革をもたらす政策を考案し、政策開発や意思決定に参加し、地域システムに変革をもたらす人材を養成する。
- (4) 知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養を備え、次世代の専門職を育成する高等教育を担う人材を養成する。

2 共通教養教育科目及び受講者の状況

【学 部】

(1) 共通教養教育科目(平成30年度)

リテラシー科目

○文化学部 文化学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーション I A	275	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	47
英語コミュニケーション I B	269	情報処理概論	175
英語コミュニケーション I C	未開講	情報リテラシー	16
英語コミュニケーション I D	未開講	コンピュータリテラシー	167
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	68	ビジネスリテラシー	21
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	47	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	64		

○看護学部 看護学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーション I A	149	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	2
英語コミュニケーション I B	145	情報処理概論	24
英語コミュニケーション I C	未開講	情報リテラシー	0
英語コミュニケーション I D	未開講	コンピュータリテラシー	57
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	9	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	3	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	8		

○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーション I A	143	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	3
英語コミュニケーション I B	144	情報処理概論	2
英語コミュニケーション I C	未開講	情報リテラシー	0
英語コミュニケーション I D	未開講	コンピュータリテラシー	74
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	3	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	3	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	3		

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
英語コミュニケーション I A	75	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	77	情報処理概論	22
英語コミュニケーション I C	未開講	情報リテラシー	22
英語コミュニケーション I D	未開講	コンピュータリテラシー	45
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	2	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	2	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	0		

教養基礎科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
科学と人間	12	法学	136
基礎化学	40	政治学	66
基礎生物学	169	経済学	16
物理と自然法則	14	倫理学	179
地球の科学	17	哲学	204
数学入門	未開講	文学	未開講
基礎統計学	16	基礎ジェンダー学	165
社会調査基礎論	39	心理学	48
日本国憲法	215		

課題別教養科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
生活と社会福祉	74	ジェンダーとキャリア	60
現代生活論	41	労働と人権	未開講
環境と健康と安全	18	地域とグローバリゼーション	141
自然災害と防災の科学	133	家族関係論	104
平和論	19	地域メディア論	196
現代人権論	52	異文化理解海外フィールドワーク	22

健康・スポーツ科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
健康スポーツ科学Ⅰ	283	健康とヘルスプロモーション	37
健康スポーツ科学Ⅱ	294	栄養と健康	45
対人関係とメンタルヘルス	196		

域学共生科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
地域学概論	368	専門職連携論	26
土佐の歴史と文化	84	チーム形成論	76
土佐の経済とまちづくり	15	地域学実習Ⅰ	703
土佐の自然と暮らし	100	地域学実習Ⅱ	784
土佐の食と健康	144	域学共生実習	22

(3) 教職に関する専門教育科目(平成30年度)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
教職に関する専門教育科目	教師論	77	教職に関する専門教育科目	道徳教育論	69
	教育原理	43		特別活動論	52
	発達心理学	32		教育方法論	62
	教育心理学	32		生徒指導論	65
	教育社会学	49		教育相談論	75
	人権教育に関する科目	61		教育基礎理論	29
	教育課程論	50		教育カリキュラム開発論	16
	国語科教育法Ⅰ	10		教育実習Ⅰ	24
	国語科教育法Ⅱ	8		教育実習Ⅱ	24
	国語科教育法Ⅲ	12		養護実習	11
	国語科教育法Ⅳ	12		学校栄養教育実習	6
	英語科教育法Ⅰ	9		教職実践演習(中・高)	23
	英語科教育法Ⅱ	9		教職実践演習(養護)	11
	英語科教育法Ⅲ	12		教職実践演習(栄養)	6
英語科教育法Ⅳ	11				

(2) 専門教育科目(平成30年度)

○ 文化学部 文化学科(旧カリキュラム)

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
文化基礎科目群	文化学入門	未開講	専修科目群	日本近現代詩歌論	未開講
	文化哲学	未開講		中国古典文学論	未開講
	基礎演習 I	未開講		日本神話講義	未開講
	基礎演習 II	未開講		物語文学講読 I A	未開講
	基礎演習 III	未開講		物語文学講読 I B	未開講
	基礎演習 IV	未開講		物語文学講読 II A	未開講
	基礎演習 V	未開講		物語文学講読 II B	未開講
	基礎演習 VI	未開講		日本文学講読 A	未開講
	基礎演習 VII	未開講		日本文学講読 B	未開講
	基礎演習 VIII	未開講		日本近世文学講読 I A	未開講
	基礎演習 IX	未開講		日本近世文学講読 I B	未開講
	基礎演習 X	未開講		日本近世文学講読 II A	未開講
	基礎演習 X I	未開講		日本近世文学講読 II B	未開講
	基礎演習 X II	未開講		日本近代文学講読 A	未開講
	基礎演習 X III	未開講		日本近代文学講読 B	未開講
	土佐地域文化研究(方言)	未開講		日本現代文学講読 A	未開講
	土佐地域文化研究(祭り)	未開講		日本現代文学講読 B	未開講
	土佐地域文化研究(スポーツ)	未開講		中国古典文学講読 I A	未開講
	土佐地域文化研究(民俗)	未開講		中国古典文学講読 I B	未開講
	土佐地域文化研究(文学)	未開講		中国古典文学講読 II A	未開講
	土佐地域文化研究(地域学)	未開講		中国古典文学講読 II B	未開講
	中国語初級 I	未開講		イギリス文学講読 I A	未開講
	中国語初級 II	未開講		イギリス文学講読 I B	未開講
	中国語中級 I	未開講		イギリス文学講読 II A	未開講
	中国語中級 II	1		イギリス文学講読 II B	未開講
	ドイツ語初級 I	未開講		アメリカ文学講読 A	未開講
	ドイツ語初級 II	未開講		アメリカ文学講読 B	未開講
	ドイツ語中級 I	未開講		日本語文章構成法	未開講
	ドイツ語中級 II	未開講		平安朝文学演習 A	未開講
	フランス語初級 I	未開講		平安朝文学演習 B	未開講
	フランス語初級 II	未開講		平安朝文学演習 C	未開講
	フランス語中級 I	未開講		日本文学演習 A	未開講
	フランス語中級 II	未開講		日本文学演習 B	未開講
情報処理演習	未開講	日本文学演習 C	未開講		
プレゼンテーション論	未開講				
フィールドワーク I	未開講	日本近世文学演習 A	未開講		
フィールドワーク II	未開講	日本近世文学演習 B	未開講		
フィールドワーク III	未開講	日本近世文学演習 C	未開講		
フィールドワーク IV	未開講	日本近現代文学演習 A	未開講		
フィールドワーク V	未開講	日本近現代文学演習 B	未開講		
NPO論	未開講	日本近現代文学演習 C	未開講		
専修科目群	文学専修	日本文学入門	未開講		
		英米文学入門	未開講		
		日本文学史	未開講	中国古典文学演習 A	未開講
		中国文学史	未開講	中国古典文学演習 B	未開講
		イギリス文学史	未開講	中国古典文学演習 C	未開講
		アメリカ文学史	未開講	イギリス文学演習 A	未開講
		比較文学	未開講	イギリス文学演習 B	未開講
		文学批評理論	未開講	イギリス文学演習 C	未開講
		日本文学特論	未開講	アメリカ文学演習 A	未開講
		日本近世文学特論	未開講	アメリカ文学演習 B	未開講
		日本近代文学特論	未開講	アメリカ文学演習 C	未開講
		日本古典文学制度講義	未開講		

(その2)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
専修科目群	文学専修			地域文化論演習ⅡB	未開講
		書評Ⅰ	未開講	地域文化論演習ⅡC	未開講
		書評Ⅱ	未開講	ジェンダー論	未開講
		書評Ⅲ	未開講	ジェンダー論講読A	未開講
		書評Ⅳ	未開講	ジェンダー論講読B	未開講
	文化創造専修	日本文化概論	未開講	ジェンダー論演習A	未開講
		日本文化論講読ⅠA	未開講	ジェンダー論演習B	未開講
		日本文化論講読ⅠB	未開講	ジェンダー論演習C	未開講
		日本文化論講読ⅡA	未開講	観光文化論	未開講
		日本文化論講読ⅡB	未開講	観光文化論講読A	未開講
		日本文化論演習A	未開講	観光文化論講読B	未開講
		日本文化論演習B	未開講	観光と自然環境	未開講
		日本文化論演習C	未開講	景観文化論	未開講
				住文化論	未開講
		民俗学	未開講	防災文化論	未開講
		日本史	未開講	文化人類学	未開講
		日本思想史	未開講	文化人類学講読A	未開講
		書道	未開講	文化人類学講読B	未開講
		日本文化史	未開講	文化人類学演習A	未開講
		考古学	未開講	文化人類学演習B	未開講
		中国文化論	未開講	文化人類学演習C	未開講
		アジア思想史	未開講	文化政策学Ⅰ	未開講
		現代アジア文化論	未開講	文化政策学Ⅱ	未開講
		英米文化概論	未開講	まちづくり政策論	未開講
		英米文化史Ⅰ	未開講	まちづくり政策論講読ⅠA	未開講
		英米文化史Ⅱ	未開講	まちづくり政策論講読ⅠB	未開講
		西洋史	未開講	まちづくり政策論講読ⅡA	未開講
		比較宗教学	未開講	まちづくり政策論講読ⅡB	未開講
		近現代文化論	未開講	まちづくり政策論演習A	未開講
		現代社会論	未開講	まちづくり政策論演習B	未開講
		現代社会論講読ⅠA	未開講	まちづくり政策論演習C	未開講
		現代社会論講読ⅠB	未開講	公共哲学	未開講
		現代社会論講読ⅡA	未開講	哲学講読ⅠA	未開講
		現代社会論講読ⅡB	未開講	哲学講読ⅠB	未開講
		現代社会論演習A	未開講	哲学講読ⅡA	未開講
		現代社会論演習B	未開講	哲学講読ⅡB	未開講
		現代社会論演習C	未開講	哲学演習A	未開講
		現代社会論演習ⅠA	未開講	哲学演習B	未開講
		現代社会論演習ⅠB	未開講	哲学演習C	未開講
		地域文化論Ⅰ	未開講	現代思想	未開講
		地域文化論Ⅱ	未開講		
		地域文化論Ⅲ	未開講	日本語コミュニケーションⅠ	未開講
		地域文化論Ⅳ	未開講	日本語コミュニケーションⅡ	未開講
		地域文化論講読ⅠA	未開講	日本語コミュニケーションⅢ	未開講
		地域文化論講読ⅠB	未開講	中国語コミュニケーションⅠ	未開講
		地域文化論講読ⅡA	未開講	中国語コミュニケーションⅡ	未開講
		地域文化論講読ⅡB	未開講	中級英語リスニング	未開講
		地域文化論講読ⅢA	未開講	上級英語リスニング	未開講
		地域文化論講読ⅢB	未開講	中級英語スピーキング	未開講
		地域文化論演習ⅠA	未開講	上級英語スピーキング	未開講
地域文化論演習ⅠB	未開講	中級英語アカデミックライティング	未開講		
地域文化論演習ⅠC	未開講	上級英語アカデミックライティング	未開講		
地域文化論演習ⅡA	未開講	英語文法・英作文Ⅰ	未開講		
		英語文法・英作文Ⅱ	未開講		

(その3)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
専修科目群	言語コミュニケーション専修	英語音声学	未開講	言語コミュニケーション専修	日本語言語文化論講読IVA	未開講
		TOEIC I	未開講		日本語言語文化論講読IVB	未開講
		TOEIC II	未開講		日本語言語文化論演習 I A	未開講
		TOEFL I	未開講		日本語言語文化論演習 I B	未開講
		TOEFL II	未開講		日本語言語文化論演習 I C	未開講
		言語文化論	未開講		日本語言語文化論演習 II A	未開講
		英語言語文化論講読 I A	未開講		日本語言語文化論演習 II B	未開講
		英語言語文化論講読 I B	未開講		日本語言語文化論演習 II C	未開講
		英語言語文化論講読 II A	未開講		日本語教育学 I	未開講
		英語言語文化論講読 II B	未開講		日本語教育学 II	未開講
		英語言語文化論講読 III A	未開講		日本語教育実践研究 I	未開講
		英語言語文化論講読 III B	未開講		日本語教育実践研究 II	未開講
		英語言語文化論講読 IVA	未開講		異文化コミュニケーション論	未開講
		英語言語文化論講読 IVB	未開講		国際日本学 I	未開講
		英語言語文化論演習 I A	未開講		国際日本学 II	未開講
		英語言語文化論演習 I B	未開講		国際日本学 III	未開講
		英語言語文化論演習 I C	未開講		国際日本学 IV	未開講
		英語言語文化論演習 II A	未開講		国際日本学 V	未開講
		英語言語文化論演習 II B	未開講		国際日本学 VI	未開講
		英語言語文化論演習 II C	未開講		比較日本学 I	未開講
	英語言語文化論演習 III A	未開講	比較日本学 II	未開講		
	英語言語文化論演習 III B	未開講	比較日本学 III	未開講		
	英語言語文化論演習 III C	未開講	国際日本学フィールドワーク	未開講		
				比較文化論	未開講	
				比較文化論講読A	未開講	
				比較文化論講読B	未開講	
				比較文化論演習A	未開講	
				比較文化論演習B	未開講	
				比較文化論演習C	未開講	
				比較文化論演習 I A	未開講	
		対照言語学	未開講			
	日本語学	未開講				
	日本語史	未開講				
	日本語音声学・音韻論	未開講				
	日本語言語文化論講読 I A	未開講				
	日本語言語文化論講読 I B	未開講				
	日本語言語文化論講読 II A	未開講				
	日本語言語文化論講読 II B	未開講				
	日本語言語文化論講読 III A	未開講	その他	自主研修	未開講	
	日本語言語文化論講読 III B	未開講		キャリア形成セミナー	未開講	
				企業実習	未開講	
				卒業研究	8	

○ 文化学部 文化学科(新カリキュラム)

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
文化学部共通科目	リテラシー科目	基礎演習	175	言語文化系	国際文化領域	比較日本学Ⅱ	5
		中国語基礎Ⅰ	89		国際関係論	69	
		中国語基礎Ⅱ	84		国際開発論	37	
		ドイツ語基礎Ⅰ	23		国際文化専門演習Ⅰ	18	
		ドイツ語基礎Ⅱ	19		国際文化専門演習Ⅱ	31	
		フランス語基礎Ⅰ	43		日本語史	50	
		フランス語基礎Ⅱ	45		日本語音声学・音韻論	90	
		日本語Ⅰ	4		日本語学講読	130	
		日本語Ⅱ	5		日本語文章構成論	62	
		情報処理演習	174		国語教育学講読Ⅰ	42	
		文献調査論	130		国語教育学講読Ⅱ	25	
		基礎読書法	33		日本語教育学概論	14	
		エッセンシャル科目	文化哲学		147	日本語教育教材論	20
	文化人類学		152		日本語学専門演習Ⅰ	39	
	文化と権利		210		日本語学専門演習Ⅱ	38	
	文化と裁判		88		基礎古典	40	
	公共哲学		163		日本文学史(古典)	30	
	民俗学		116	日本文学史(近代)	46		
	文化と経済		147	古典文学基礎講読Ⅰ	49		
	日本文学概論		127	古典文学基礎講読Ⅱ	29		
	言語学概論		135	古典文学講読(散文)Ⅰ	未開講		
	日本語学概論		81	古典文学講読(散文)Ⅱ	未開講		
	グローバルスタディー		141	古典文学講読(韻文)Ⅰ	未開講		
	異文化コミュニケーション		21	古典文学講読(韻文)Ⅱ	未開講		
	社会調査論		98	古典文学講読Ⅰ	45		
	域学共生フィールドワーク		16	古典文学講読Ⅱ	30		
	文化学課題研究ゼミナールⅠ		152	近代文学講読	139		
	文化学課題研究ゼミナールⅡ		152	現代文学講読	58		
	文化学課題研究ゼミナールⅢ		139	中国文学史	71		
	文化学課題研究ゼミナールⅣ	138	中国文学講読(散文)	95			
	アキヤリ科目	キャリアデザイン論	192	中国文学講読(韻文)	32		
		キャリア形成論	194	日本文学専門演習Ⅰ	36		
		企業実習	105	日本文学専門演習Ⅱ	38		
文化学部専門科目	英語学領域	英語学概論	60	地域文化領域	書道	32	
		比較言語研究	52		地域文化論	17	
		対照言語学	13		日本思想史	46	
		言語教育実践論Ⅰ	10		日本文化論	45	
		言語教育実践論Ⅱ	7		土佐地域文化資源論(歴史)	30	
		英語文法論	112		土佐地域文化資源論(方言)	82	
		英語ライティングⅠ	37		文化政策論	127	
		英語ライティングⅡ	15		男女共同参画社会論	13	
		英語音声学	65		地域防災論	118	
		英語スピーキングⅠ	17		住文化論	90	
		英語スピーキングⅡ	18		地域文化専門演習Ⅰ	18	
		英語学専門演習Ⅰ	34		地域文化専門演習Ⅱ	16	
		英語学専門演習Ⅱ	20		地域づくり論	35	
	国際文化領域	英文化・文学史	76	地域産業論	25		
		英文化・文学論	36	地域分析論	123		
		米文化・文学史	41	地域自治論	68		
		米文化・文学論	29	NPO論	105		
		国際日本学Ⅰ	36	地域づくりフィールドスタディⅠ	60		
		国際日本学Ⅱ	9	地域づくりフィールドスタディⅡ	41		
		比較日本学Ⅰ	13	地域づくり専門演習Ⅰ	18		
				地域づくり専門演習Ⅱ	16		
				観光文化論Ⅰ	97		
				観光文化論Ⅱ	44		
		景観文化論	107				

(その2)

(単位:人)

		授 業 科 目		受 講 者 数			授 業 科 目		受 講 者 数			
文化学部専門科目	観光文化領域	観光と自然環境Ⅰ		85	文化学部専門科目	現代法文化領域	現代法思想論		35			
		観光と自然環境Ⅱ		69			情報化社会と法文化		53			
		観光文化フィールドスタディⅠ		23			地域社会と法文化		107			
		観光文化フィールドスタディⅡ		16			生命倫理と法		77			
		観光フィールド専門演習Ⅰ		39			平和構築論		未開講			
		観光フィールド専門演習Ⅱ		30			現代法文化専門演習Ⅰ		9			
	観光まちづくり領域	観光学総論		75		現代法文化専門演習Ⅱ		8	生活法文化領域	生活と法文化		125
		観光まちづくり論Ⅰ		31		文化と人権		96		災害と法		139
		観光まちづくり論Ⅱ		60		観光産業論		43		ワーク・ライフ・バランスと法		18
		観光企画論		68		観光企画論		68		労働契約と法文化		48
		観光まちづくりフィールドスタディⅠ		20		観光まちづくりフィールドスタディⅠ		20		社会保障と法文化		44
		観光まちづくりフィールドスタディⅡ		50		観光まちづくりフィールドスタディⅡ		50		家族関係と法文化		49
		観光産業専門演習		29		観光産業専門演習		29		生活法文化専門演習Ⅰ		11
		観光企画専門演習		37		観光企画専門演習		37		生活法文化専門演習Ⅱ		8
		文化と統治システム		90		文化と統治システム		90				
		行政と法文化		20		行政と法文化		20				

○ 看護学部 看護学科

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
専門基礎科目	医学の世界	84	看護基礎科目	看護援助学	治療援助論Ⅱ	82	
	人体の構造Ⅰ	84			症状と看護	82	
	人体の構造Ⅱ	84			看護援助の動向と課題	未開講	
	人体の機能Ⅰ	83			ふれあい看護実習	85	
	人体の機能Ⅱ	84			看護基盤実習	83	
	人体のしくみの乱れⅠ	90			看護システム論	83	
	人体のしくみの乱れⅡ	95			看護サービス論	82	
	心のしくみ	84			看護教育論	未開講	
	病態と治療Ⅰ	83			看護管理の動向と課題	未開講	
	病態と治療Ⅱ	83			チーム医療実習	82	
	診断学	85			看護管理実習	82	
	微生物学	82			急性期看護学	急性期看護論	83
	栄養学	83				急性期看護援助論	82
	生化学	83				回復期看護援助論	83
	薬理学	102			急性期看護の動向と課題	5	
	治療学総論	89			急性期看護実習	83	
	小児と疾患	81		慢性期看護学	慢性期看護論	83	
	母性学	83			慢性期看護援助論	81	
	保健統計学	83			終末期看護援助論	82	
	疫学	82			慢性期看護の動向と課題	未開講	
	健康管理論	81			慢性期看護実習	83	
	地域保健政策	82		看護老人学	老人看護学総論	84	
	生命の科学と倫理	48			老人の健康と看護	82	
	医療史	9			老人看護援助論	83	
	社会保障と看護	16			老人看護の動向と課題	未開講	
	心理学理論と心理的支援	14		看護臨床科目	精神看護学	精神看護学総論	82
	行動科学	23				精神の健康と看護	83
	保健行動論	29				精神看護援助論	81
人間工学	2				精神看護の動向と課題	未開講	
公衆衛生学	83				精神看護実習	82	
在宅医療	37			小児看護学	小児看護学総論	83	
医療と経営	21				小児の健康と看護	82	
助産学	14				小児看護援助論	82	
助産診断論	13				小児看護の動向と課題	4	
					小児看護実習	82	
看護基礎科目	基礎看護学	看護学総論	84	母性看護学	母性看護学総論	82	
		健康と看護	84			母性看護対象論	83
		環境と看護	84			母性看護援助論	81
		人間と看護	84			母性看護の動向と課題	未開講
		看護研究方法論	81			母性看護実習	82
		看護哲学と倫理	82				
	看護援助学	生活と看護	84	助産看護学	助産看護学総論	7	
		生活援助論Ⅰ	84			助産看護診断論	7
		生活援助論Ⅱ	84			助産技術論Ⅰ	7
		生活援助論Ⅲ	82			助産技術論Ⅱ	8
		看護過程論	82			助産看護援助論	8
		援助関係論	86			助産看護管理論	8
		フィジカルアセスメントⅠ	84			助産看護の動向と課題	8
		フィジカルアセスメントⅡ	84			助産看護実習Ⅰ	8
治療援助論Ⅰ	82			助産看護実習Ⅱ	8		

(その2)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目	受講者数		
看護 臨床 科目	在宅看護学	在宅看護学総論	83	総 合 科 目	看護セミナーⅠ	43
		在宅看護対象論	82		看護セミナーⅡ	11
		在宅看護援助論	82		看護セミナーⅢ	42
		在宅看護リエゾン論	4		看護セミナーⅣ	8
		在宅看護の動向と課題	4		看護セミナーⅤ	82
		在宅看護実習	82		看護セミナーⅥ	82
	地域看護学	地域看護学総論	83		臨床看護論Ⅰ	4
		地域の健康と看護	82		臨床看護論Ⅱ	9
		地域看護援助論	82		臨床看護論Ⅲ	21
		地域看護の動向と課題	2		臨床看護論Ⅳ	未開講
		地域看護実習	75		臨床看護論Ⅴ	22
	学校保健	学校保健	16		臨床看護論Ⅵ	29
		養護概説	20		母性・助産看護実践論	未開講
	総合 科目	看護研究	82		精神看護実践論	2
		看護と政策	81		急性期看護実践論	9
がん看護論		82	慢性期看護実践論		未開講	
総合看護実習		82	小児看護実践論		3	
看護実践能力開発実習		82	地域看護実践論		5	
バイオロジカルナーシング		4	老人看護実践論		4	
治療と看護		7	臨床看護実践論		未開講	
災害と看護Ⅰ		86	医学と看護の統合		81	
災害と看護Ⅱ		26	最新実践看護講座Ⅰ		未開講	
看護と文化Ⅰ		93	最新実践看護講座Ⅱ		7	
看護と文化Ⅱ		3				
グローバルヘルス		未開講				
看護学の動向と課題		38				

○ 社会福祉学部 社会福祉学科

(その1)

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数			受講者数	
基 本 科 目	福祉対象入門	73	相 談 援 助 実 践 科 目	精神保健福祉援助技術各論	27	
	福祉援助入門	73		面接技法	59	
	社会福祉入門演習	73		医療ソーシャルワーク論	60	
	社会福祉基礎演習	73		相談援助演習Ⅰ	74	
	心理学理論と心理的支援	77		相談援助演習Ⅱ	72	
	社会理論と社会システム	73		相談援助演習Ⅲ	76	
	現代社会と福祉Ⅰ	73		相談援助演習Ⅳ	73	
	現代社会と福祉Ⅱ	73		相談援助実習指導Ⅰ	73	
	社会福祉史	72		相談援助実習指導Ⅱ	72	
	介護技術	28		相談援助実習指導Ⅲ	74	
			相談援助実習	75		
			事例研究法	1		
			実践記録法	3		
			チームアプローチ	未開講		
			スーパービジョン	未開講		
社 会 福 祉 制 度 科 目	社会保障論Ⅰ	73	地 域 ・ 国 際 福 祉 科 目	地域福祉論Ⅰ	73	
	社会保障論Ⅱ	73		地域福祉論Ⅱ	72	
	公的扶助論	72		地域福祉活動	6	
	障害者福祉論	72		国際福祉論	3	
	児童・家庭福祉論	73		コミュニティソーシャルワーク	27	
	高齢者福祉論Ⅰ	73		福祉NPO論	29	
	高齢者福祉論Ⅱ	73		子育て支援論	7	
	精神保健福祉論Ⅰ	41		虐待防止論	60	
	精神保健福祉論Ⅱ	23		支 社 会 援 助 科 目 復 帰	ケアマネジメント論	14
	福祉行財政と福祉計画	73			ケアマネジメント演習	18
	福祉サービスの組織と経営	75			ケアプラン策定法	未開講
	権利擁護論	72			就労支援サービス	72
	更生保護制度	72		精 神 保 健 福 祉 実 践 科 目	精神科リハビリテーション学	38
	保健医療サービス	73			精神保健福祉援助演習	26
女性福祉論	22	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	20			
医療福祉論	37	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	26			
		精神保健福祉援助実習Ⅰ	26			
		精神保健福祉援助実習Ⅱ	26			
か ら だ と こ こ ろ の 理 解 科 目	人体の構造と機能及び疾病	73	介 護 福 祉 理 解 科 目	介護の基本Ⅰ	23	
	精神医学Ⅰ	24		介護の基本Ⅱ	17	
	精神医学Ⅱ	24		介護の基本Ⅲ	13	
	精神保健学Ⅰ	29		コミュニケーション技術	24	
	精神保健学Ⅱ	26		生活支援技術Ⅰ	23	
	発達と老化の理解Ⅰ	33		生活支援技術Ⅱ	23	
	発達と老化の理解Ⅱ	34		生活支援技術Ⅲ	17	
	認知症の理解Ⅰ	38		生活支援技術Ⅳ	17	
	認知症の理解Ⅱ	27		生活支援技術Ⅴ	13	
	障害の理解Ⅰ	36		介護過程Ⅰ	23	
障害の理解Ⅱ	36	介護過程Ⅱ	17			
相 談 援 助 基 礎 科 目	相談援助の基盤と専門職	73				
	相談援助の理論と方法Ⅰ	75				
	相談援助の理論と方法Ⅱ	74				
	相談援助の理論と方法Ⅲ	74				
	相談援助の理論と方法Ⅳ	74				
	相談援助と理論と方法Ⅳ	74				
	精神保健福祉援助技術総論	36				

(その2)

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数	授 業 科 目		受講者数
	介護過程Ⅲ	17	総合科目	福祉研究法入門	73
	介護過程Ⅳ	13		社会調査の基礎	76
介護福祉実践科目	介護総合演習Ⅰ	23		社会福祉専門演習Ⅰ	76
	介護総合演習Ⅱ	17		社会福祉専門演習Ⅱ	75
	介護総合演習Ⅲ	13		社会福祉専門演習Ⅲ	72
	介護総合演習Ⅳ	22		社会福祉専門演習Ⅳ	70
	介護実習Ⅰ	23			
	介護実習Ⅱ	17			
	介護実習Ⅲ	13			
	医療的ケアⅠ	17			
	医療的ケアⅡ	22			

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
基礎科目	健康栄養学基礎	45	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	40	
	健康栄養学応用	45		栄養教育論Ⅱ	41	
社会・環境と健康	地域健康論	41		栄養教育論Ⅲ	41	
	介護論	41		栄養教育論実習Ⅰ	41	
	食と介護	41		栄養教育論実習Ⅱ	41	
	保健医療福祉論	41		学校栄養指導論Ⅰ	10	
	地域医療論	28		学校栄養指導論Ⅱ	10	
	公衆衛生学	41		臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	40
	環境衛生学実習	41			臨床栄養学Ⅱ	41
	健康情報論実習	45			臨床栄養学Ⅲ	41
		臨床実践栄養学	41			
		臨床栄養学実習Ⅰ	41			
		臨床栄養学実習Ⅱ	41			
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	45	栄養学	公衆栄養学Ⅰ	43	
	生化学Ⅱ	45		公衆栄養学Ⅱ	44	
	生化学実験	40		地域公衆栄養学実習	41	
	人体の構造と機能Ⅰ	45	給食経営管理論	給食経営管理論	40	
	人体の構造と機能Ⅱ	45		給食計画論	40	
	臨床医科学	41		給食経営管理実習Ⅰ	41	
	疾病論Ⅰ	40		給食経営管理実習Ⅱ	41	
	疾病論Ⅱ	40	演習	管理栄養士総合演習Ⅰ	41	
	運動生理学	40		管理栄養士総合演習Ⅱ	42	
	生体科学実験・実習	40	臨地実習	給食経営管理臨地実習	41	
食べ物と健康	食品学	45		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	41	
	食品学実験Ⅰ	45		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	41	
	食品学実験Ⅱ	40		地域公衆栄養学臨地実習	41	
	食材学	45		地域実践栄養学臨地実習	12	
	食品の栄養素と機能	40		その他	企業実習	未開講
	食品衛生学	40	研課 究題		卒業研究	42
	食品衛生学実験	40				
	フードシステム学	8				
	調理学	45				
	調理学実習Ⅰ	45				
	調理学実習Ⅱ	45				
	調理学実習Ⅲ	40				
	調理科学実験	5				
	栄養基礎	基礎栄養学	45			
基礎栄養学実験		40				
栄養学 応用	応用栄養学Ⅰ	40				
	応用栄養学Ⅱ	40				
	応用栄養学実習	40				
	ライフステージ栄養学	40				

【 大学院 】(平成30年度)

○看護学研究科看護学専攻<博士前期課程>

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
大学院 共通科目	研究と倫理	3	クリティカルケア看護論	クリティカルケア看護論Ⅰ	3		
	教育学特論	未開講		クリティカルケア看護論Ⅱ	3		
	教育心理学特論	1		クリティカルケア看護方法論Ⅰ	3		
	ジェンダー論	未開講		クリティカルケア看護方法論Ⅱ	2		
	臨床倫理	3		クリティカルケア看護方法論Ⅲ	3		
	グローバルヘルス論	5		クリティカルケア看護方法論Ⅳ	2		
	ケア論	1		クリティカルケア診断治療学Ⅰ	未開講		
	看護マネジメント論	3		クリティカルケア診断治療学Ⅱ	5		
	共通科目	看護理論と実践		12	看護学領域	クリティカルケア看護課題研究	2
		看護学基盤論		3		クリティカルケア看護学実践演習Ⅰ	3
		看護研究と実践	12	クリティカルケア看護学実践演習Ⅱ		2	
		看護理論と研究Ⅰ	3	クリティカルケア看護学実践演習Ⅲ		2	
		看護理論と研究Ⅱ	0	クリティカルケア看護学実践演習Ⅳ		3	
		看護倫理	12	クリティカルケア看護学実践演習Ⅴ	2		
		看護サービス管理論	11	小児看護学領域	小児看護論	0	
		看護コンサルテーション論	12		小児看護対象論	0	
		フィジカルアセスメント特論	9		小児看護方法論Ⅰ	0	
		病態生理学	9		小児看護方法論Ⅱ	1	
		臨床薬理学	9		小児診断治療学Ⅰ	1	
		こころの発達	0		小児診断治療学Ⅱ	未開講	
		看護教育論Ⅰ	11		小児看護課題研究	1	
		看護教育論Ⅱ	13		小児看護学実践演習Ⅰ	0	
		看護教育学専門演習	0		小児看護学実践演習Ⅱ	1	
		看護教育学研究方法Ⅰ	0		小児看護学実践演習Ⅲ	1	
		看護教育学研究方法Ⅱ	0	小児看護学実践演習Ⅳ	0		
		データ分析方法論	12	小児看護学実践演習Ⅴ	1		
		疫学研究方法論	5	小児看護学研究方法Ⅰ	0		
		保健医療政策と経済Ⅰ	11	小児看護学研究方法Ⅱ	0		
		保健医療政策と経済Ⅱ	14	領域 専門科目	精神看護論	1	
		看護学の動向と展望	14		精神看護対象論	1	
		最新専門看護実践講座Ⅰ	14		精神看護方法論Ⅰ	1	
		最新専門看護実践講座Ⅱ	14		精神看護方法論Ⅱ	1	
	インディペンデントスタディ	3	精神看護展開論Ⅰ		1		
領域 専門科目	がん看護論	2	精神看護学領域		精神看護展開論Ⅱ	0	
	緩和ケア特論	2			精神看護展開論Ⅲ	0	
	がん看護方法論Ⅰ	2			精神看護展開論Ⅳ	0	
	がん看護方法論Ⅱ	3			精神診断治療学Ⅰ	未開講	
	がん看護方法論Ⅲ	3			精神診断治療学Ⅱ	2	
	がん病態生理学	2		精神看護課題研究	1		
	がん診断治療学	5		精神看護学実践演習Ⅰ	1		
	がん薬理学	未開講		精神看護学実践演習Ⅱ	1		
	がん看護課題研究	4		精神看護学実践演習Ⅲ	1		
	がん看護学実践演習Ⅰ	2		精神看護学実践演習Ⅳ	1		
	がん看護学実践演習Ⅱ	3	精神看護学実践演習Ⅴ	1			
	がん看護学実践演習Ⅲ	3	家族看護学領域	家族看護論	2		
	がん看護学実践演習Ⅳ	4		家族看護対象論	2		
	がん看護学実践演習Ⅴ	4		家族看護方法論Ⅰ	12		
	慢性看護論	0		家族看護方法論Ⅱ	10		
慢性看護対象論	0	家族看護実践論Ⅰ		0			
慢性看護方法論Ⅰ	0	家族看護実践論Ⅱ		0			
慢性看護方法論Ⅱ	0	家族療法		4			
慢性疾患診断治療学Ⅰ	未開講	家族ケアの開発		3			
慢性疾患診断治療学Ⅱ	0	家族看護課題研究		3			
慢性看護課題研究	0	家族看護学実践演習Ⅰ		0			
慢性看護学実践演習Ⅰ	0	家族看護学実践演習Ⅱ	2				
慢性看護学実践演習Ⅱ	0	家族看護学実践演習Ⅲ	3				
慢性看護学実践演習Ⅲ	0	家族看護学実践演習Ⅳ	0				
慢性看護学実践演習Ⅳ	0	家族看護学実践演習Ⅴ	0				
慢性看護学実践演習Ⅴ	0	家族看護学研究方法Ⅰ	0				
成人看護学研究方法Ⅰ	0	家族看護学研究方法Ⅱ	0				
成人看護学研究方法Ⅱ	0						

(その2)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
領域専門科目	地域看護学領域	地域看護論	1	看護管理学領域	看護管理論	2
		地域ケアシステム論	0		システム経営管理論	2
		地域看護展開論	1		看護管理展開論	2
		地域看護課題研究	0		看護管理の動向と展望	2
		地域フィールド演習Ⅰ	1		看護管理課題研究	0
		地域フィールド演習Ⅱ	0		看護管理学実践演習Ⅰ	0
		地域看護学研究方法Ⅰ	1		看護管理学実践演習Ⅱ	0
		地域看護学研究方法Ⅱ	0		看護管理学実践演習Ⅲ	0
	在宅看護学領域	在宅看護論	1		看護管理学研究方法Ⅰ	2
		在宅看護方法論Ⅰ	1		看護管理学研究方法Ⅱ	0
		在宅看護方法論Ⅱ	5	臨床看護学領域	精神看護ケア研究	未開講
		在宅看護方法論Ⅲ	0		老人看護ケア研究	2
		在宅ケアシステム論	0		がん看護ケア研究	1
		在宅看護展開論Ⅰ	1		小児看護ケア研究	1
		在宅看護展開論Ⅱ	1		慢性看護ケア研究	1
		在宅療養診断治療学Ⅰ	1		クリティカルケア研究	未開講
		在宅療養診断治療学Ⅱ	未開講		臨床看護管理研究	0
		在宅看護課題研究	0		臨床看護教育研究	1
		在宅看護学実践演習Ⅰ	1		母性・助産看護ケア研究	未開講
		在宅看護学実践演習Ⅱ	0		臨床看護学専門演習	1
	在宅看護学実践演習Ⅲ	0	臨床看護学研究方法Ⅰ		2	
	在宅看護学実践演習Ⅳ	0	臨床看護学研究方法Ⅱ		2	
	在宅看護学実践演習Ⅴ	0	地域保健学領域	地域ケア研究	3	
	老人看護学領域	老人看護論		0	学校保健研究	1
		老人看護対象論		0	家族ケア研究	2
		老人看護方法論		0	在宅ケア研究	3
		老人ケアシステム論		0	保健学研究	4
		老人看護展開論Ⅰ		0	地域保健学専門演習	2
		老人看護展開論Ⅱ		0	地域保健学研究方法Ⅰ	3
		老年病診断治療学Ⅰ		0	地域保健学研究方法Ⅱ	4
		老年病診断治療学Ⅱ	未開講			
		老人看護課題研究	0			
		老人看護学実践演習Ⅰ	0			
		老人看護学実践演習Ⅱ	0			
		老人看護学実践演習Ⅲ	0			
	老人看護学実践演習Ⅳ	0				
老人看護学実践演習Ⅴ	0					

○看護学研究科看護学専攻<博士後期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
専攻共通科目	理論看護学Ⅰ	3	専攻専門科目	精神看護学Ⅰ	1	
	理論看護学Ⅱ	4		精神看護学Ⅱ	0	
	看護学研究方法Ⅰ	4		家族看護学Ⅰ	0	
	看護学研究方法Ⅱ	3		家族看護学Ⅱ	0	
	看護倫理学	3		地域看護学Ⅰ	1	
	イノベーション看護学	3		地域看護学Ⅱ	0	
	国際看護学	3		在宅看護学Ⅰ	0	
	医学研究方法論	0		在宅看護学Ⅱ	0	
	インディペンデントスタディ	0		学校保健学Ⅰ	0	
専攻専門科目	小児看護学Ⅰ	1		学校保健学Ⅱ	0	
	小児看護学Ⅱ	0		看護病態生理学Ⅰ	2	
	成人看護学Ⅰ	0		看護病態生理学Ⅱ	2	
	成人看護学Ⅱ	0		看護経営管理学Ⅰ	0	
	老人看護学Ⅰ	0		看護経営管理学Ⅱ	0	
	老人看護学Ⅱ	0		研究 科目 指導	看護学特別研究Ⅰ	4
	がん看護学Ⅰ	2			看護学特別研究Ⅱ	5
	がん看護学Ⅱ	0			看護学特別研究Ⅲ	1

○看護学研究科共同災害看護学専攻<博士課程>

()内は本学学生数

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
看護学の学問基盤に 関する科目群	看護研究方法	8(2)	災害 看護 学 演 習	災害看護活動論Ⅰ	8(2)	
	理論看護学Ⅰ	8(2)		災害看護活動論Ⅱ	8(2)	
	理論看護学Ⅱ	8(1)		災害看護活動論Ⅲ	7(1)	
	看護倫理	3(0)		災害看護学特論	8(1)	
	看護情報統計学	1(0)		災害看護グローバルコーディネーション論	8(1)	
	保健学的・疫学的研究法	7(1)		災害国際活動論	3(0)	
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	4(2)		災害看護管理・指揮論	5(1)	
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィー)	8(1)		災害看護倫理	8(1)	
	看護研究法論Ⅲ (ケーススタディ・アクションリサーチ)	3(1)		災害看護理論構築	8(1)	
	看護研究方法論Ⅳ (グランデッドセオリー)	3(1)		災害看護活動論演習Ⅰ	7(1)	
	看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	5(1)		災害看護活動論演習Ⅱ	7(1)	
	看護研究方法論Ⅵ (介入研究・尺度開発含)	3(0)		災害時専門職連携演習(災害IP演習)	3(0)	
	災害 必 要 な グ ロ ー バ ル 的 バ ナ ル 科 目 群 に	危機管理論		5(1)	災害看護グローバルリーダー演習	3(1)
		環境防災学		4(0)	インディペンデントスタディ(演習)A	1(1)
グローバルヘルスと政策		5(1)	インディペンデントスタディ(演習)B	0		
専門職連携実践論		5(2)	インディペンデントスタディ(演習)C	2(0)		
災害医療学		7(2)	インディペンデントスタディ(演習)D	2(0)		
災害情報学		0	インディペンデントスタディ(演習)E	2(0)		
災害心理学		4(1)	災害看護学実習Ⅰ	11(3)		
災害と文化		4(3)	災害看護学実習Ⅱ	13(3)		
災害社会学		0	インディペンデントスタディ(実習)A	3(3)		
災害福祉学		7(2)	インディペンデントスタディ(実習)B	2(0)		
Professional writing		5(3)	インディペンデントスタディ(実習)C	2(0)		
Proposal writing (Research proposal writing skill)		9(2)	インディペンデントスタディ(実習)D	3(0)		
Program writing (Program Proposal writing skill)		0	インディペンデントスタディ(実習)E	2(0)		
		究に災害 支関する 群援看護 科目看護 目研学	実践課題レポート	11(3)		
			災害看護研究デベロップメント	8(1)		
			博士論文	9(2)		

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士前期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
共通科目	大学院共通科目	研究と倫理	5	社会福祉学領域科目	介護福祉論 I	2	
		教育学特論	2		介護福祉論	2	
		教育心理学特論	2		介護福祉論 II	未開講	
		ジェンダー論	未開講		高齢者福祉論	14	
		臨床倫理	0		障害者福祉論	未開講	
		グローバルヘルス論	0		精神保健福祉論	7	
		ケア論	0		精神科ソーシャルワーク論	未開講	
		看護マネジメント論	0		児童・家庭福祉論 I	6	
	人間生活学研究科	研究方法論 I	7		児童福祉演習	3	
		研究方法論 II	6		児童・家庭福祉論 II	4	
		研究方法論 III	0		人間総合文化	地域文化論 I	未開講
		データ解析論	2			地域文化論 II	未開講
		環境解析論	未開講			地域文化論 III	未開講
		地域スポーツ論	未開講			地域文化論 IV	1
健康リハビリテーション論	4	地域文化論 V	未開講				
栄養・生活学領域科目	食物科学	食品生化学特論	1	文化学領域科目	日本文化	日本文化論 I	未開講
		食品科学論 I	2			日本文化論 II	未開講
		食品製造学特論	未開講			日本文化論 III	未開講
		食物科学論	7			日本文化論 IV	1
		食物科学実践演習	未開講			中国文化論	1
	人間栄養学	栄養学特論	未開講		英語文化	英語文化論	0
		臨床栄養学特論	0			英語文化論 I	1
		人間栄養論 II	2			英語言語文化論特論 I	未開講
		健康動態論	未開講			英語言語文化論特論 II	0
		栄養疫学論	0			英語文化論 III	1
	栄養・生活学	栄養・生活特論 I	0		国際日本学	0	
		栄養・生活特論 II	1		導研究指	栄養・生活学課題研究演習	3
		栄養・生活統計論	未開講			社会福祉学課題研究演習	8
		環境生態論	0			文化学課題研究演習	0
社会福祉学領域科目	福祉専門基礎	社会福祉原論	4	専門科目	文化学領域	地域文化学 I	0
		社会福祉原論 I	3			地域文化学 II	0
		福祉リハビリテーション論	未開講			言語文化学 I	0
		ソーシャルワーク論	未開講			言語文化学 II	0
		社会保障論	9		研究指導科目	栄養・生活学特別研究 I	0
		福祉行財政論	未開講			栄養・生活学特別研究 II	0
	地域・国際福祉	地域福祉論 I	5			栄養・生活学特別研究 III	0
		地域福祉論	5			社会福祉学特別研究 I	0
		地域福祉論 II	未開講			社会福祉学特別研究 II	1
		国際福祉論 I	6			社会福祉学特別研究 III	0
		国際福祉論	2			文化学特別研究 I	0
		国際福祉論 II	未開講			文化学特別研究 II	0
						文化学特別研究 III	0

○人間生活学研究科人間生活学専攻<博士後期課程>

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
科共通	研究デザイン	0	専門科目	文化学領域	地域文化学 I	0
	研究倫理	0			地域文化学 II	0
専門科目	地域・生活学領域	地球環境解析学	0	研究指導科目	言語文化学 I	0
		環境生態学	0		言語文化学 II	0
		居住環境学	0		栄養・生活学特別研究 I	0
		人間栄養学	0		栄養・生活学特別研究 II	0
		食品機能学	0		栄養・生活学特別研究 III	0
		健康動態学	0		社会福祉学特別研究 I	0
		介護福祉学	0		社会福祉学特別研究 II	1
	社会福祉学領域	障害者福祉学	0		社会福祉学特別研究 III	0
		児童・家族福祉学	0		文化学特別研究 I	0
		地域福祉学	0		文化学特別研究 II	0
		国際福祉政策学	0		文化学特別研究 III	0
		社会福祉計画論	0			

※「未開講」・・・隔年開講などにより年度当初から未開講科目であったもの

※「0」・・・年度当初開講予定科目で、院生がいないなどの理由で開講されなかったもの

3 教員免許及び国家資格取得の状況

(1) 教員免許申請状況(平成31年3月31日現在)

(単位:人)

学 部	学 科	種 類	教 科	申請者数
文化学部	文化学科	中一種 高一種	国語	12
		高一種	国語	0
		中一種 高一種	英語	11
		高一種	英語	0
看護学部	看護学科	養護一種	—	11
健康栄養学部	健康栄養学科	中一種 高一種	家庭	0
		高一種	家庭	0
		栄養一種	—	6
合 計				40

(2) 国家試験合格状況

(単位:人)

国家資格	受 験 日	区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
保 健 師	平成31年2月15日	新 卒	73	62	84.9%
		既 卒	4	3	75.0%
看 護 師	平成31年2月17日	新 卒	82	82	100.0%
		既 卒	0	0	
社会福祉士	平成31年2月3日	新 卒	64	53	82.8%
		既 卒	32	6	18.8%
精神保健福祉士	平成31年2月3日 平成31年2月4日	新 卒	26	25	96.2%
		既 卒	1	0	0.0%
管理栄養士	平成31年3月3日	新 卒	42	41	97.6%
		既 卒	3	1	33.3%
助 産 師	平成30年2月14日	新 卒	8	8	100.0%
		既 卒	0	0	

4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

(1) 学位授与状況

○博士

(単位:人)

研究科名	博士	
	平成30年度	累計
看護学研究科(博士後期課程)	1	27
看護学研究科(博士課程)	1	1
人間生活学研究科(博士後期課程)	0	7
健康生活科学研究科健康科学専攻(博士後期課程)	-	50
合計	2	85

○修士

(単位:人)

研究科名	修士	
	平成30年度	累計
看護学研究科(博士前期課程)	16	262
人間生活学研究科(博士前期課程)	13	165
合計	29	427

【学位授与者一覧(平成30年度)】

○博士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成31年3月19日	博士(看護学)	武島 弘子	高齢患者における皮膚生理学的指標と褥瘡発生との関連
平成31年3月19日	博士(共同災害看護学)	西川 愛海	南海トラフ地震が予測されている地域住民の「減災コミットメント」が減災行動に及ぼす影響

○修士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成30年9月25日	修士(学術)	川北 ルナ	A Study of English Translations of The Tale of Genji: With Particular Reference to Descriptions of State of Mind
平成30年9月25日	修士(学術)	依光 章代	ジョン・ダン『唄とソネット』論—愛の成就と相剋する心
平成31年3月19日	修士(看護学)	浅野 真由	上部消化管がん患者の術後補助療法についての意味づけ
平成31年3月19日	修士(看護学)	石川 祐樹	ICUにおける非侵襲的陽圧換気装着患者の調整行動
平成31年3月19日	修士(看護学)	上村 奈緒子	医療的ケア児を迎える家族の在宅への移行の見極めに至る看護師の臨床判断

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成31年3月19日	修士(看護学)	小松 美帆	頭頸部がんの手術を受け機能障害を抱えた高齢者が日常生活に 適応していく力
平成31年3月19日	修士(看護学)	坂本 優	呼吸管理を必要とする重症心身障害児の母親が取り組む症状マ ネジメント
平成31年3月19日	修士(看護学)	島田 美華	造血器腫瘍患者のエンパワーメントを支える退院支援
平成31年3月19日	修士(看護学)	竹中 英利子	慢性腎臓病患者の在宅療養生活を支える外来看護
平成31年3月19日	修士(看護学)	徳岡 麻由	幼児期の子どもを養育する夫婦のcoparenting
平成31年3月19日	修士(看護学)	戸田 かおり	看護師のキャリア発達に対する看護管理者の支援-プロフェッショ ンフードに焦点を当てて-
平成31年3月19日	修士(看護学)	中野 靖子	発達障害をもつ子供を支える学校・医療・専門機関等との連携に おける養護教諭のわざ
平成31年3月19日	修士(看護学)	中野 知美	退院支援における高齢者の「望む生活」をつくり出す看護介入
平成31年3月19日	修士(看護学)	仁科 有紀子	終末期がん患者の親をもつ壮年期の子どもが家族の中で果たす 役割
平成31年3月19日	修士(看護学)	野田 妙子	新人看護師の成長を促す実地指導者の効果的な支援
平成31年3月19日	修士(看護学)	濱田 衿菜	地域で生活する精神疾患をもつ人の病いの認識
平成31年3月19日	修士(看護学)	藤田 歩	喉頭全摘術を受けたがん患者のセルフマネジメントを促進する看 護支援
平成31年3月19日	修士(看護学)	宮田 洋	心臓手術を受けた患者の情報探索行動
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	垣内 佐智子	社会復帰調整官の専門性に関する研究-精神保健福祉士資格を 有する社会復帰調整官の視座からの考察-
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	金久 雅史	地域ケア個別会議におけるリハビリテーション専門職の役割と課題 -会議構成員への聞き取り調査を用いた分析-
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	公文 千尋	ひきこもり当事者と親の想いに関する一考察
平成31年3月19日	修士 (生活科学)	近藤 友香	発達性協調運動障害児に関する運動機能の特徴
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	坂本 寛子	福祉・介護職員の精神障害者への困難と対応の実態
平成31年3月19日	修士 (生活科学)	十萬 敬子	抗がん剤治療患者の「がんに伴う食変化チェックシート」の有用性 の検討
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	中島 美宝	民生委員・児童委員活動への行政の個人情報提供に関する一考 察-日常時の見守り活動に焦点をあてて-
平成31年3月19日	修士 (生活科学)	西尾 由香	精神科に入院中の高齢者における低体重と相関する要因

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	藤井 しのぶ	発達障害児の復学支援に関するPsychiatric Social Worker (PSW)と学校との連携に関する研究～児童精神科病棟退院時に着目して～
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	松尾 美絵	精神障害者家族の願いとその支援に関する一考察－親なき後を見据えて－
平成31年3月19日	修士 (社会福祉学)	元親 裕志	在宅移行支援システムにおける介護支援専門員らの〈心理的障壁〉についての一考察－A市とB市の取組から－

(2) 大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

学部・研究科	学 科 ・ 専 攻	学年	受賞者数	功 績
看護学部	看護学科	4	1	入学時より一貫して高い目標を持ち、主体的に行動する力を発揮しながら学業に真摯に取り組んだ。物事を成し遂げる強い意志と責任感を持ち、看護実践、看護研究に取り組み、特に優秀な成績を修めた。
看護学研究科	看護学専攻 博士後期課程	5	1	研究に真摯に取り組み、アドバンスケアプランニングの看護学研究の深化・発展に寄与した。

【学長賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
文化学部	文化学科	4	2	第70回四国地区大学総合体育大会においてフットサルの部で優勝し、他のサークル活動の模範となる大変優秀な成績をおさめ、高知県立大学の存在を大きくアピールした。
		2	1	
看護学部	看護学科	4	2	
		3	5	
		2	1	
		1	1	
健康栄養学部	健康栄養学科	3	1	
		2	1	
		1	1	
文化学部	文化学科	4	1	
文化学部	文化学科	4	1	「県民大学」学生プロジェクト・立志社中の学生団体の1つとして活動してきたnews paper'sの代表として、「新聞ぼっぐ」の普及と、それを通じた地域コミュニティの活性化と拡大に貢献し、本学の名誉を大きく高める活動を行った。
文化学部	文化学科	4	1	地域の課題解決に取り組む課外活動と社会活動に積極的に参画し、地域社会の活性化に寄与した。
		3	2	
文化学部	文化学科	4	1	大原富枝文学館主催の第27回大原富枝賞「一般」の部に応募し、「随筆」(作品名『金木屋の少女』)が優秀賞、「小説」(作品名『未明』)が「佳作」に入賞。受賞した2点の作品は同文学館で『ふるさとの文学27』として販売されることとなっており、本山町からも表彰される。 本学部の理念である「文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資する」といった姿は、地域および本学に多大な貢献をするものである。
看護学部	看護学科	4	5	『いけいけサロン活動』をとおして、看護学を学ぶ学生と地域住民による地域活動において、地域の困りごとの解決に向けて多様な手段で、継続的・積極的に取り組み、また、メンバーそれぞれの個性を活かし、皆で活動を展開するチームづくりに貢献した。
看護学部	看護学科	4	4	『学生こども保健室 ゆいの活動』をとおして、地域の多様な専門団体、地域住民から学び・協働しながら、こどもが暮らしやすい環境づくりに積極的に取り組み、また、互いに学びながら活動するという多職種協働チームの基盤づくりに貢献した。

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
文化学部	文化学科	4	2	「イケあい第5期幹部メンバー」 これまで先輩たちが確立してきた地域住民との信頼関係や県外被災地とのつながりを継承し、彼らの立志社中活動をさらに発展させてきた。
看護学部	看護学科	4	6	その中でも学生によるボランティア活動を地域に普及させると共に地域住民と大学生の交流を通じた防災活動を積極的に推進しつつ、さらに、組織の維持発展に努め、後輩学生の模範となった。
看護学部	看護学科	4	4	看護学の専門知識を分かりやすく県民に伝え、その健康の保持増進に寄与する取り組みを積極的に実施し、また、組織の維持発展に努め、後輩学生の模範となった。
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1	学生ボランティア団体「かんきもん」の代表者として、約70名の学生集団をリードしてきた。その精力的な「地域支援」活動と、高齢者・障害者・児童・女性に対する「個別支援」活動を推進しつつ、次世代の学生に継承する貴重な取り組みを通じたリーダーシップは高く評価される。
社会福祉学部	社会福祉学科	4	3	平成23年に本学の学生同志により創設された「活輝創生実行委員会」(かつきそうせいじつこういいんかい)の活動を継続し発展させ、地域の皆様の信頼を得、目に見える成果をあげた。これは、本学の課外活動の振興に大きく貢献し、本学の名誉を著しく高めた。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	2	高知県赤十字血液センターと連携して、高知県学生献血クロス倶楽部および中国四国学生献血推進協議会代表委員会の幹部として献血の普及、啓発活動に貢献した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	20	第3期COME☆RISHメンバーとして、企業との弁当共同開発、小学生との料理や米を通じた交流等、PR活動等を行った。なお今年度は、今までの活動が認められ農林水産省から食育活動表彰として「農林水産大臣賞」として表彰されるなど学外からの評価も高く、また、名古屋市立大学と本学の地域活動の協定式でもシンポジストとして発表するなど、本学に大きく寄与した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	4	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに参画し、企画・運営のサポートを積極的に行った。また、中国四国小児・思春期糖尿病治療座談会において発表するなど、主体的な活動を行い、小児糖尿病サマーキャンプの運営に貢献した。

(3)サーティフィケーション授与状況

職 名	氏 名	内 容	招 聘 者
北京聯合大学 旅游学院	孫 星晨 陳 一楊	2018年4月1日～2019年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
文藻外語大学	林 立偉 趙 君慈	2018年4月1日～2019年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
慶南科学技術大學校	河 垠朱	2018年10月1日～2019年9月30日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
ヴェネチア カ・フォスカリ大学	Lorenzo Moretti Giacomo Patterlini Soemi Piccinini Laura Piu Gianmarco Potami Jacopo Ravarro Chiara Scardellato Fabio Zaramella Federico Zilio	2018年4月2日～2018年6月15日 「国際日本学プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
マレーシア サバ大学	Cheong Man Wei Jong Phei Xia Chai Ming Jye Liew Yew Hann Tai Mei Qi	2018年7月2日～7月27日 高知県立大学健康栄養学部での 受入れプログラムを修了	高知県立大学 (健康栄養学部)
慶南科学技術大學校	Yang Jin Seok Park Min Gyu Kang Min Kyeong Song Junmin Yoo Sang Min An Seong Ha Bang Daeyeop Jang YeonJu Baek Gyeong Won Hwang Hyeon Tae	2018年7月16日～8月8日 「夏季日本語集中プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
慶南科学技術大學校	Cho Hyeon Jeong Oh Jung Eun Shin Yeong Ho Hong Hyo Rim	2019年1月25日～2月2日 「日本語・日本文化短期プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)

5 SD・FD活動実施状況(平成30年度)

(1)全学SD・FD

区分	内容	講師・担当者	年月日
S D	教職員のための危機管理	愛媛大学SD統括コーディネーター兼能力開発室長 吉田 一恵 氏	H30.5.16
F D	Moodleの活用法	文化学部 宇都宮 千穂 准教授	H30.9.10
	授業改善PDCA のためのシラバスの書き方	高知大学 大学教育創造センター 立川 明 准教授	H30.9.21

(2)部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日
文 化 学 部	公的研究費の不正防止計画に基づくコンプライアンス教育	教育研究戦略課 公文 康敬 主査	H30.5.28
	基礎演習に関する情報の共有と意見交換、及び学習環境の担保について	基礎演習担当教員(複数名)	H30.7.23
	教育現場におけるハラスメント防止	文化学部/人権委員会 飯高 伸五 准教授	H31.2.19
看 護 学 部	看護学士課程教育の質を高めるカリキュラム開発に関する研修会	JANPU研修会WEB視聴	H30.4.16
	原点から考える これからの看護教育 ーナイチンゲール思想を通して	徳島文理大学大学院看護学研究科 金井 一薫 教授	H30.6.30
	サミュエルメリット大学短期研修の学び	看護学部 川上 理子 准教授	H30.7.12
	教員が学生に対して行う倫理的配慮	濱川 博子 臨床心理士	H30.12.2
	臨地実習における学生の主体的な学びを言語化するレポート 作成の指導	看護学部 中野 綾美 教授、瓜生 浩子 教授	H30.12.13
	看護を語る会(相互研修型)		H31.3.15 H31.3.18
社 会 福 祉 部	社会福祉士・精神保健福祉士養成カリキュラム見直しの動向と 予想される方向性	社会福祉学部 西内 章 教授、加藤 由衣 助教	H30.10.22
	LGBTへの理解を深め、「ありのままに生きる」ということについて考える	土肥 いつき 氏	H30.12.6
養 健 学 康 栄 部	西日本豪雨での栄養支援活動の報告	健康栄養学部 島田 郁子 講師、廣内 智子 講師	H30.12.10
看 護 学 研 究 科	健康分野・医・看護分野研究におけるエスノグラフィーの課題 と可能性	お茶の水大学 波平 恵美子 名誉教授	H30.5.18
	研究における質的研究と量的研究の接点について	天使大学看護栄養学部 高木 廣文 教授	H31.1.22
	グローバル社会における持続可能な開発目標(SDGs)と看護 の教育・研究	看護学研究科 神原 咲子 教授	H31.3.13

(2) 部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日
地域 研究 センター	教職課程の改革動向と本学の対応について	地域教育研究センター 鈴木 康郎 准教授	H31.2.27
総合 情報 センター	図書館サービス基礎研修	(参加者)職員2名	H30.4.26
	第50回公立大学協会図書館協議会総会	(参加者)職員1名	H30.6.15-16
	第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム	(参加者)学生1名、職員1名	H30.9.6-7
	公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会 平成30年度職員研修会	(参加者)職員2名	H30.9.13-14
	第59回中国四国地区大学図書館研究集会	(参加者)職員2名	H30.10.18-19
	機関リポジトリ新任担当者研修(3回目)	(参加者)職員1名	H30.10.25-26
	レファレンス・サービス研修ー経済社会情報を中心にー	(参加者)職員1名	H30.10.25-26

(3)国内・国外研修 研修員派遣

所属	職位	氏名	研修テーマ	研修期間	主たる研修場所
看護学部	講師	有田 直子	高度な実践能力を育成する教育力向上のための臨床研修	H31.2.12-3.29	高知県立療育福祉センター

5 学 生

1 行事実績 (平成 30 年度)

平成30年

4月 4日(水)	入学式
4月 4日(水)~27日(金)	保証人への成績通知に関する申込期間(前期)
4月 5日(木)	(1) 新入生ガイダンス (2) 在学生ガイダンス (3) 学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス4回生] [午後:池キャンパス1回生]
4月 6日(金)	(1) 新入生ガイダンス (2) 在学生ガイダンス (3) 学生健康診断 場所(池キャンパス) [午前:池キャンパス2回生] [午後:池キャンパス3回生]
4月 9日(月)	(1) 新入生ガイダンス (2) 学生健康診断 場所(永国寺キャンパス) [午前:文化学部1・2回生、夜間主] [午後:文化学部3・4回生、夜間主] (3) 池キャンパス2・3・4回生 前期授業開始(専門教育科目のみ)
4月10日(火)	前期授業開始
4月17日(火)	受講登録締切
4月21日(土)	創立記念日
4月24日(火)~5月 1日(火)	前期受講登録変更期間
5月16日(水)	定例学生大会(午後)
5月21日(月)~29日(火)	前期履修中止届出期間
7月17日(火)	月曜日授業日
7月29日(日)	オープンキャンパス
7月31日(火)~8月 8日(水)	補講・試験期間
8月 9日(木)~9月15日(土)	夏季休業期間
9月 3日(月)	前期成績提出締切(集中講義を除く)
9月 8日(土)~ 9日(日)	大学院第1次入学試験
9月16日(日)~30日(日)	集中講義期間
9月25日(火)	9月卒業式・学位授与式
10月 1日(月)	後期授業開始
10月 1日(月)~31日(水)	保証人への成績通知に関する申込期間(後期)
10月 9日(火)~16日(火)	後期受講登録変更期間
10月29日(月)	休講
10月30日(火)	月曜日授業
10月31日(水)	前期集中講義成績提出締切
11月10日(土)~11日(日)	大学祭
11月17日(土)~18日(日)	推薦入学試験・社会人入学試験・3年次編入学試験
11月21日(水)~30日(金)	後期履修中止届出期間
11月28日(水)	金曜日授業日
12月16日(日)~22日(土)	集中講義期間
12月25日(火)~1月4日(金)	冬季休業期間

平成31年

1月 7日(月)	授業開始
1月17日(木)	月曜日授業日
1月18日(金)	休講(大学入試センター試験準備のため)
1月19日(土)~20日(日)	大学入試センター試験
2月 2日(土)	大学院第2次入学試験
2月12日(火)~20日(水)	補講・試験期間
2月21日(木)~3月20日(水)	集中講義期間
2月25日(月)	後期成績提出締切(4回生)
2月25日(月)~26日(火)	一般入学試験(前期日程)・私費外国人留学生入学試験
3月 4日(月)	卒業判定会議、後期成績提出締切(1~3回生)(集中講義を除く)
3月12日(火)	一般入学試験(後期日程)・社会人入学試験
3月19日(火)	卒業式・修了式
3月22日(金)~31日(日)	春季休業期間
3月25日(月)	後期集中講義成績提出締切(1~3回生)

2 入学の状況

(1) 入学の状況(平成30年度)

(単位:人)

学部・学科名	区分	募集人員	志願者数		志願倍率 b/a	受験者数		受験倍率 c/a	合格者数		合格倍率 c/d	追加		入学者数	
			全体	(県内)		全体	(県内)		全体	(県内)		全体	(県内)	全体	(県内)
文化学部	文化学科 [言語文化系/ 地域文化創造系]	推薦	県内	30	60 (60)	2.0	60 (60)	2.0	30 (30)	2.0				30 (30)	
		推薦	全国	8	17 (4)	2.1	17 (4)	2.1	9 (2)	1.9				9 (2)	
		個別	前期	72	270 (66)	3.8	245 (64)	3.4	86 (14)	2.8	0 (0)	0 (0)		71 (12)	
			後期	10	134 (47)	13.4	54 (22)	5.4	14 (3)	3.9	0 (0)	0 (0)		13 (3)	
		社会人	若干名		0 (0)	-	0 (0)	-	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)		
		私費外国人留学生	若干名		11	-	4	-	1	4.0			1		
		1年次計		120	492 (177)	4.1	380 (150)	3.2	140 (49)	2.7	0 (0)	0 (0)		124 (47)	
		3年次編入		5	1 (0)	0.2	1 (0)	0.2	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)		
	合計		125	493 (177)	3.9	381 (150)	3.0	140 (49)	2.7	0 (0)	0 (0)		124 (47)		
	文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	推薦	県内	10	5 (5)	0.5	5 (5)	0.5	5 (5)	1.0				5 (5)	
		社会人A		10	16 (9)	1.6	16 (9)	1.6	13 (7)	1.2	0 (0)	0 (0)		11 (7)	
		社会人B		10	43 (22)	4.3	37 (21)	3.7	16 (8)	2.3	0 (0)	0 (0)		14 (8)	
		1年次計		30	64 (36)	2.1	58 (35)	1.9	34 (20)	1.7	0 (0)	0 (0)		30 (20)	
		3年次編入		3	8 (2)	2.7	8 (2)	2.7	3 (0)	2.7	0 (0)	0 (0)		2 (0)	
合計			33	72 (38)	2.2	66 (37)	2.0	37 (20)	1.8	0 (0)	0 (0)		32 (20)		
看護学部	看護学科	推薦	県内	22	48 (48)	2.2	48 (48)	2.2	22 (22)	2.2				22 (22)	
		個別	前期	52	125 (20)	2.4	119 (20)	2.3	56 (9)	2.1	0 (0)	0 (0)		50 (8)	
		個別	後期	6	98 (19)	16.3	52 (11)	8.7	11 (1)	4.7	0 (0)	0 (0)		10 (1)	
		社会人	若干名		1 (1)	-	1 (1)	-	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)		
		私費外国人留学生	若干名		1	-	0	-	0	-			0		
		合計 (1年次計)		80	273 (88)	3.4	220 (80)	2.8	89 (32)	2.5	0 (0)	0 (0)		82 (31)	
社会福祉学部	社会福祉学科	推薦	県内	20	28 (28)	1.4	28 (28)	1.4	20 (20)	1.4				20 (20)	
		推薦	全国	10	29 (1)	2.9	29 (1)	2.9	12 (0)	2.4				12 (0)	
		個別	前期	35	88 (28)	2.5	82 (26)	2.3	40 (12)	2.1	0 (0)	0 (0)		35 (11)	
			後期	5	138 (30)	27.6	67 (16)	13.4	8 (1)	8.4	0 (0)	0 (0)		8 (1)	
		社会人	若干名		0 (0)	-	0 (0)	-	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)		
		私費外国人留学生	若干名		3	-	3	-	2	-			1		
合計 (1年次計)		70	286 (87)	4.1	209 (71)	3.0	82 (33)	2.5	0 (0)	0 (0)		76 (32)			
健康栄養学部	健康栄養学科	推薦	県内	10	20 (20)	2.0	19 (19)	1.9	10 (10)	1.9				10 (10)	
		推薦	全国	5	27 (1)	5.4	27 (1)	5.4	5 (1)	5.4				5 (1)	
		個別	前期	25	59 (6)	2.4	54 (6)	2.2	28 (2)	1.9	0 (0)	0 (0)		27 (2)	
		社会人	若干名		1 (0)	-	1 (0)	-	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)		
		私費外国人留学生	若干名		3	-	1	-	1	1.0			1		
		合計 (1年次計)		40	110 (27)	2.8	102 (26)	2.6	44 (13)	2.3	0 (0)	0 (0)		43 (13)	
学部計 (夜間主を除く)	推薦	県内	82	156 (156)	1.9	155 (155)	1.9	82 (82)	1.9				82 (82)		
	推薦	全国	23	73 (6)	3.2	73 (6)	3.2	26 (3)	2.8				26 (3)		
	個別	前期	184	542 (120)	2.9	500 (116)	2.7	210 (37)	2.4	0 (0)	0 (0)		183 (33)		
		後期	21	370 (96)	17.6	173 (49)	8.2	33 (5)	5.2	0 (0)	0 (0)		31 (5)		
	社会人	若干名		2 (1)	-	2 (1)	-	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)			
	私費外国人留学生	若干名		18	-	8	-	4	2.0			3			
	1年次計		310	1,161 (379)	3.7	911 (327)	2.9	355 (127)	2.6	0 (0)	0 (0)		325 (123)		
	3年次編入計		5	1 (0)	0.2	1 (0)	0.2	0 (0)	-	0 (0)		0 (0)			
総合計		315	1,162 (379)	3.7	912 (327)	2.9	355 (127)	2.6	0 (0)	0 (0)		325 (123)			
学部総合計 (夜間主も含む)	1年次 総合計		340	1,225 (415)	3.6	969 (362)	2.9	389 (147)	2.5	0 (0)	0 (0)		355 (143)		
	3年次編入 総合計		8	9 (2)	1.1	9 (2)	1.1	3 (0)	3.0	0 (0)	0 (0)		2 (0)		
	総合計		348	1,234 (417)	3.5	978 (364)	2.8	392 (147)	2.5	0 (0)	0 (0)		357 (143)		
看護学研究科			20	27 (14)	1.4	24 (14)	1.2	21 (11)	1.1	0 (0)	0 (0)		21 (11)		
人間生活学研究科			21	8 (8)	0.4	8 (8)	0.4	8 (8)	1.0	0 (0)	0 (0)		8 (8)		
研究科計			41	35 (22)	0.9	32 (22)	0.8	29 (19)	1.1	0 (0)	0 (0)		29 (19)		

(2) 出身地別入学状況(平成30年度)

【学部】

○一般

(単位:人)

学部	文化学部		看護学部		社会福祉学部		健康栄養	合計		
学科	文化		看護		社会福祉		健康栄養			
区分	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	前期	後期	計
北海道	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
秋田	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
茨城	2	0	1	0	0	0	0	3	0	3
栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
東京	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
神奈川	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
新潟	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
長野	0	0	1	2	0	0	0	1	2	3
岐阜	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2
静岡	5	1	0	1	0	0	0	5	2	7
愛知	2	0	1	0	1	0	1	5	0	5
三重	1	0	1	0	2	0	2	6	0	6
滋賀	2	0	2	0	2	0	0	6	0	6
京都	3	0	1	0	1	0	1	6	0	6
大阪	2	0	3	0	1	0	1	7	0	7
兵庫	8	2	5	1	0	1	5	18	4	22
奈良	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
和歌山	1	0	2	0	0	0	0	3	0	3
鳥取	1	0	4	0	0	0	1	6	0	6
島根	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
岡山	4	1	0	0	1	1	1	6	2	8
広島	4	4	5	1	1	2	0	10	7	17
山口	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2
徳島	3	1	4	0	1	0	2	10	1	11
香川	5	0	2	0	3	1	2	12	1	13
愛媛	4	0	5	0	6	1	3	18	1	19
高知	12	3	8	2	11	1	2	33	6	39
福岡	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2
佐賀	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2
長崎	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2
熊本	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
大分	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2
宮崎	1	0	1	0	0	0	1	3	0	3
鹿児島	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
沖縄	1	0	0	1	0	0	0	1	1	2
合計	71	13	50	10	35	8	27	183	31	214

○推 薦

(単位:人)

学部	文化		看護	社会福祉	健康栄養	合計
学科	文化学科 [言語文化系/地域 文化創造系]	文化学科 [文化総合系(夜間 主コース)]	看護	社会 福祉	健康 栄養	
東京	0	0	0	1	0	1
兵庫	0	0	0	2	0	2
奈良	0	0	0	1	0	1
島根	0	0	0	0	1	1
岡山	1	0	0	2	0	3
広島	0	0	0	1	0	1
徳島	1	0	0	1	0	2
愛媛	5	0	0	3	1	9
高知	32	5	22	20	11	90
佐賀	0	0	0	0	1	1
宮崎	0	0	0	1	0	1
鹿児島	0	0	0	0	1	1
合計	39	5	22	32	15	113

【 大学院 】

(単位:人)

研究科	看護学研究科			人間生活学研究科	
	看護学専攻		共同災害看護学専攻	人間生活学専攻	人間生活学専攻
	博士前期課程	博士後期課程	博士課程	博士前期課程	博士後期課程
北海道	1	0	0	0	0
神奈川	0	0	1	0	0
静岡	1	0	0	0	0
大阪	0	1	0	0	0
兵庫	2	0	0	0	0
香川	2	1	0	0	0
福岡	0	1	0	0	0
高知	11	0	0	8	0
合計	17	3	1	8	0

3 学生数(平成30年4月1日現在)

(単位:人)

学部・学科		1回生			2回生			3回生			4回生			5回生			合計		
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
文化学部 (昼)	文化学科	51	82	133	40	85	125	55	75	130	55	77	132	/	/	/	201	319	520
	編入生	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	/	/	/	1	0	1
	小計	51	82	133	40	85	125	56	75	131	55	77	132	/	/	/	202	319	521
文化学部 (夜間主)	文化学科	18	13	31	15	14	29	18	6	24	23	4	27	/	/	/	74	37	111
	編入生	0	0	0	0	0	0	2	0	2	6	1	7	/	/	/	8	1	9
	小計	18	13	31	15	14	29	20	6	26	29	5	34	/	/	/	82	38	120
看護学部	看護学科	34	50	84	38	44	82	40	43	83	43	41	84	/	/	/	155	178	333
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	34	50	84	38	44	82	40	43	83	43	41	84	/	/	/	155	178	333
社会福祉学部	社会福祉学科	32	41	73	35	38	73	32	44	76	30	42	72	/	/	/	129	165	294
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	32	41	73	35	38	73	32	44	76	30	42	72	/	/	/	129	165	294
健康栄養学部	健康栄養学科	14	31	45	11	29	40	15	26	41	14	28	42	/	/	/	54	114	168
	編入生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0
	小計	14	31	45	11	29	40	15	26	41	14	28	42	/	/	/	54	114	168
学部生計	学部計	149	217	366	139	210	349	160	194	354	165	192	357	/	/	/	613	813	1,426
	編入生	0	0	0	0	0	0	3	0	3	6	1	7	/	/	/	9	1	10
	合計	149	217	366	139	210	349	163	194	357	171	193	364	/	/	/	622	814	1,436
大学院	看護学研究科看護学専攻(博士前期)	9	6	15	14	3	17	/	/	/	/	/	/	/	/	/	23	9	32
	看護学研究科看護学専攻(博士後期)	2	1	3	3	2	5	6	4	10	/	/	/	/	/	/	11	7	18
	看護学研究科共同災害看護学専攻(博士)	2	0	2	0	3	3	0	1	1	1	1	2	1	1	2	4	6	10
	人間生活学研究科(博士前期)	6	1	7	13	1	14	/	/	/	/	/	/	/	/	/	19	2	21
	人間生活学研究科(博士後期)	0	0	0	0	1	1	2	2	4	/	/	/	/	/	/	2	3	5
大学院生計	大学院合計	19	8	27	30	10	40	8	7	15	1	1	2	1	1	2	59	27	86
合計		168	225	393	169	220	389	171	201	372	172	194	366	1	1	2	681	841	1,522

4 休学・退学・修業年限を超えて在籍する学生数及び単位互換の状況

(1) 年次別休学者数

(単位:人)

区 分		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
生活科学部	生活デザイン学科	/	/	/	/	/	
	健康栄養学科	/	/	/	/	/	
	環境理学科	/	/	/	/	/	
	小 計	/	/	/	/	/	
文化学部	文化学科	9	9	15	19	13	
看護学部	看護学科	1	0	1	2	3	
社会福祉学部	社会福祉学科	3	2	2	1	3	
健康栄養学部	健康栄養学科	0	0	0	0	0	
学 部 合 計		13	11	18	22	19	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	1	1	0	1	0
		看護学専攻(博士後期)	5	2	6	0	2
		共同災害看護学専攻(博士)	0	0	0	1	1
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	3	4	4	1	2
		人間生活学専攻(博士後期)	5	5	3	1	0
	健康生活学研究科	健康生活科学専攻(博士後期)	1	/	/	/	/
大 学 院 合 計		15	12	13	4	5	
合 計		28	23	31	26	24	

(2) 年次別退学者数

(単位:人)

区 分		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
生活科学部	生活デザイン学科	/	/	/	/	/	
	健康栄養学科	/	/	/	/	/	
	環境理学科	/	/	/	/	/	
	小 計	/	/	/	/	/	
文化学部	文化学科	6	11	21	14	13	
看護学部	看護学科	1	0	0	3	1	
社会福祉学部	社会福祉学科	2	3	2	4	2	
健康栄養学部	健康栄養学科	1	1	0	0	0	
学 部 合 計		10	15	23	21	16	
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	0	1	0	2	0
		看護学専攻(博士後期)	3	3	1	0	0
		共同災害看護学専攻(博士)	0	0	0	0	0
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	3	5	4	1	1
		人間生活学専攻(博士後期)	2	2	2	0	3
	健康生活学研究科	健康生活科学専攻(博士後期)	0	/	/	/	/
大 学 院 合 計		8	11	7	3	4	
合 計		18	26	30	24	20	

(3) 修業年限を超えて在籍する学生数(平成30年4月1日現在)

(単位:人)

区 分		5年	6年	7年	8年以上	計
文化学部	文化学科	8	3	1	0	12
看護学部	看護学科	1	1	0	0	2
社会福祉学部	社会福祉学科	0	0	0	0	0
健康栄養学部	健康栄養学科	0	0	0	0	0
学 部 合 計		9	4	1	0	14

(単位:人)

区 分			3年	4年	5年	6年以上	計
大 学 院	看護学研究科	看護学専攻(博士前期)	2	0	0	0	2
		看護学専攻(博士後期)		3	2	1	6
		共同災害看護学専攻(博士)					
	人間生活学研究科	人間生活学専攻(博士前期)	0	1	0	1	2
		人間生活学専攻(博士後期)		0	0	3	3
大 学 院 合 計			2	4	2	5	13

(4) 単位互換の状況(平成30年度)

(単位:人)

大 学 名	派 遣		受 入	
	人数	科目数(延べ)	人数	科目数(延べ)
高知大学	5	8	0	0
高知短期大学	3	3	6	35
高知学園短期大学	0	0	0	0
高知工科大学	0	0	0	0
放送大学	0	0	0	0
合 計	8	11	6	35

5 課外活動

(単位:人)

文化系 (令和元年3月31日現在)		体育系 (令和元年3月31日現在)		
団体名	部員数	団体名	部員数	
1	Sun-fes	38	FCソフィア	39
2	COME☆RISH	67	合気道部	3
3	CUBE	4	弓道部	10
4	news paper's	5	剣道部	4
5	people plus+	4	柔道部	6
6	Society For Everyone	22	準硬式野球部	31
7	いけあい地域災害学生ボランティアセンター	39	女子ソフトボール部	13
8	いけいけサロン活動	15	水泳部	8
9	いけとべ!	8	ソフトテニス部	2
10	裏千家茶道部(池)	9	ソフトバレーサークル	28
11	裏千家茶道部(永国寺)	12	太鼓部	11
12	映像研究会	4	バスケットボール部	29
13	エスコーターズ	11	バドミントン部	48
14	オーテピアンズ	17	バレーボールサークル	12
15	学祭実行委員会	74	バレーボール部(男子)	18
16	学生子ども保健室「ゆい」	16	バレーボール部(女子)	16
17	活輝創生実行委員会	18	陸上競技部	11
18	華道部	5		
19	雅楽サークル	3		
20	かるた部	5		
21	かんきもん	69		
22	グローカルクラブ	15		
23	軽音楽部RiOT	40		
24	国際交流クラブ	32		
25	こどもみらい塾	28		
26	こめっ娘。	54		
27	手話サークル	9		
28	吹奏楽部(池)	16		
29	吹奏楽部(永国寺)	18		
30	生協学生委員会n.a.s	6		
31	箏曲部	5		
32	図書館サークルLibe	6		
33	ハモ☆イケ	30		
34	美術部	5		
35	文芸部	7		
36	漫画研究部	18		
37	マンドリンクラブ	15		
38	薬物乱用防止啓発サークル「ダメ。ゼッタイ。」	14		
39	うーぐるconnect	5		
40	JELIE	7		
41	Aine Kline	9		
42	Squid ink	8		
43	Harmony of Music	6		
44	44団体	798	17団体	289
61 団体		1087 人		

6 授業料等の納入状況

(1) 入学科、授業料(平成30年度)

(単位:円)

区 分		入学手数料の額	入学料の額		授業料の額	
			県内生	県外生		
学 生	学 部	17,000 (編入の場合は30,000)	141,000	282,000	年 額	535,800
	大学院	30,000				
科目等履修生		4,900	14,100	28,200	1単位	14,800
研 究 生		4,900	42,300	84,600	月 額	29,700

(2) 授業料免除状況①(経済的理由による免除、家計急変等特別な事情による免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成26年度	免除者(人)	56	41	97	0	0	0	56	41	97
	免除額(円)	15,002,400	21,967,800	36,970,200	0	0	0	15,002,400	21,967,800	36,970,200
平成27年度	免除者(人)	46	108	154	1	1	2	47	109	156
	免除額(円)	12,323,400	57,330,600	69,654,000	267,900	535,800	803,700	12,591,300	57,866,400	70,457,700
平成28年度	免除者(人)	63	123	186	2	1	3	65	124	189
	免除額(円)	16,609,800	64,563,900	81,173,700	535,800	535,800	1,071,600	17,145,600	65,099,700	82,245,300
平成29年度	免除者(人)	52	92	144	4	1	5	56	93	149
	免除額(円)	13,930,800	48,445,250	62,376,050	1,071,600	535,800	1,607,400	15,002,400	48,981,050	63,983,450
平成30年度	免除者(人)	63	105	168	6	0	6	69	105	174
	免除額(円)	16,877,700	53,580,000	70,457,700	1,607,400	0	1,607,400	18,485,100	53,580,000	72,065,100

(3) 授業料免除状況②(成績優秀者に対する免除)

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計	半額免除	全額免除	合計
平成28年度	免除者(人)	10	12	22	-	-	0	10	12	22
	免除額(円)	2,679,000	6,161,700	8,840,700	-	-	0	2,679,000	6,161,700	8,840,700
平成29年度	免除者(人)	11	12	23	-	-	0	11	12	23
	免除額(円)	2,946,900	5,893,800	8,840,700	-	-	0	2,946,900	5,893,800	8,840,700
平成30年度	免除者(人)	12	12	24	-	-	0	12	12	24
	免除額(円)	3,036,200	5,893,800	8,930,000	-	-	0	3,036,200	5,893,800	8,930,000

※平成28年度より制度開始

7 日本学生支援機構奨学金受給状況（平成31年3月1日現在）

【学部】 (単位:人、%)

区 分		健康栄養学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	合計
全学年	1種	56	195	104	114	469
	2種	32	101	79	48	260
	合計	88	296	183	162	729
	併用	8	23	16	10	57
	学生数	169	646	332	297	1444
	貸与率(%)	47.3	42.3	50.3	51.2	46.5
	他奨学金	2	1	11	7	21
1回生	1種	11	45	25	26	107
	2種	10	31	20	15	76
	合計	21	76	45	41	183
	併用	2	8	4	3	17
	他奨学金	1	0	2	7	10
2回生	1種	20	48	26	28	122
	2種	9	22	29	10	70
	合計	29	70	55	38	192
	併用	4	7	6	3	20
	他奨学金	1	0	2		3
3回生	1種	14	50	28	30	122
	2種	7	22	14	13	56
	合計	21	72	42	43	178
	併用	1	4	1	2	8
	他奨学金	0	0	3		3
4回生	1種	11	52	25	30	118
	2種	6	26	16	10	58
	合計	17	78	41	40	176
	併用	1	4	5	2	12
	他奨学金	0	1	4		5

※ 貸与率(%) = [(合計-併用)] / 学生数 * 100 ※※ 他奨学金: 日本学生支援機構以外

【大学院】 (単位:人、%)

区 分		看護学研究科	人間生活学研究科	合計
全学年	1種	8	1	9
	2種	5	0	5
	合計	13	1	14
	併用	5	0	5
	学生数	62	17	79
	貸与率(%)	12.9	5.9	11.4
	他奨学金	0	0	0

8 卒業(修了)者状況

(1) 年次別卒業(修了)者数

(単位:人)

区 分		年 度					
		H26	H27	H28	H29	H30	
学部	文化学部	文化学科	85	83	83	91	137
	看護学部	看護学科	83	85	82	80	82
	社会福祉学部	社会福祉学科	74	71	71	68	70
	健康栄養学部	健康栄養学部	41	40	41	41	42
	学 部 計		283	279	277	280	331
大学院	看護学研究科看護学専攻 (博士前期)		15	14	14	10	16
	看護学研究科看護学専攻 (博士後期)		5	3	1	3	1
	看護学研究科共同災害看護学専攻 (博士)		/	/	/	/	1
	人間生活学研究科人間生活学専攻 (博士前期)		4	12	15	5	13
	人間生活学研究科人間生活学専攻 (博士後期)		0	4	10	2	0
	健康生活科学研究科健康生活科学 専攻(博士後期)		1	1	/	/	/
	大 学 院 計		25	34	40	20	31
合 計		308	313	317	300	362	

(2)平成30年度卒業生 就職状況

【学科別産業別就職状況】

(令和元年5月末日現在)

単位:人

区 分	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	合計	
	文化	看護	社会福祉	健康栄養		
卒業生数	137	82	70	42	331	
進学・留学決定者数	7	3	1	1	12	
就職希望なし	22	0	3	0	25	
就職希望者数(A)	108	79	66	41	294	
就職決定者数(B)	104	78	66	41	289	
就職決定率(B)/(A)%	96.3%	98.7%	100.0%	100.0%	98.3%	
農林水産業・鉱業					0 (0)	
建設業	2 (1)		1 (1)		3 (2)	
製造業	3			4 (2)	7 (2)	
電気・ガス・水道業	1		1 (1)		2 (1)	
情報通信業	9 (1)		2		11 (1)	
運輸業、郵便業	4 (3)		1		5 (3)	
卸売業、小売業	16 (9)		2 (2)	7 (3)	25 (14)	
金融業、保険業	12 (6)		1 (1)	1 (1)	14 (8)	
不動産業、物品賃貸業	4 (1)				4 (1)	
学術研究、専門・技術サービス業	2 (2)				2 (2)	
宿泊業、飲食サービス業	7 (2)			1	8 (2)	
生活関連サービス業、娯楽業	8 (4)				8 (4)	
教育、 学習支援業	学校教育	15 (11)	3 (3)	1	5 (2)	24 (16)
	学習支援	4 (1)				4 (1)
医療・福祉	医療・保健	3 (1)	68 (23)	2 (1)	10 (2)	83 (27)
	福祉・介護	1 (1)		45 (20)	3 (1)	49 (22)
複合サービス事業	2 (1)		2 (1)	3 (2)	7 (4)	
サービス業 (他に分類されないもの)	3				3 (0)	
公務	8 (5)	7	8 (4)	7 (2)	30 (11)	
上記以外					0 (0)	
合 計	104 (49)	78 (26)	66 (31)	41 (15)	289 (121)	

注 ()内の数値は高知県内に就職した者
分類は日本標準産業分類による分類

6 総合情報センター

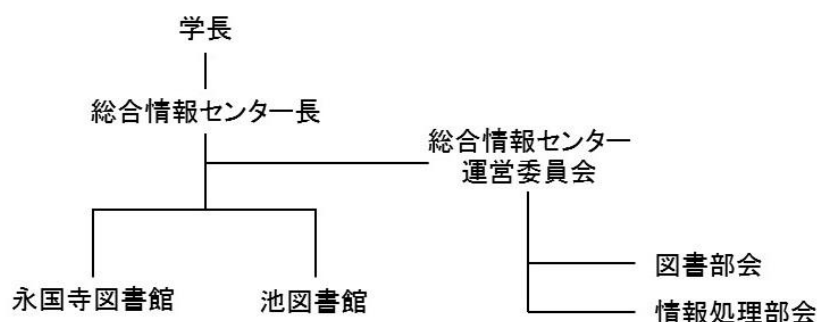
1 概要

総合情報センターがめざすもの

高知県立大学総合情報センター図書館及び高知短期大学総合情報センター図書館の管理、運営、図書館資料の収集、整理、保存、閲覧、調査及び情報処理施設の管理、運営を行い、教職員及び学生の情報処理に関する教育、研究の支援を行うとともに、地域社会の図書館活動及び学術情報システムの確立に協力し、地域の発展に寄与する。

2 組織及び教員

(1) 組織



(2) 部会

ア 図書部会

県立大図書部会及び短大図書部会は、それぞれの大学に係る図書館資料の収集等に関する業務を行う。(図書部会規程 第2条: 所掌事項)

イ 情報処理部会

部会は、次の各号に掲げる業務を行う。(情報処理部会規程 第2条: 所掌事項)

- ・ 情報処理システムの維持、管理及び運営に関する業務
- ・ 学内ネットワークの維持、管理及び運営に関する業務
- ・ 学内ネットワークと学外ネットワークの接続に関する業務
- ・ 学術情報処理に関する業務
- ・ 情報処理システム利用者教育に関する業務
- ・ その他情報処理に関し必要な業務

3 図書等受入状況(平成 30 年度)

〈図書〉

(単位：冊)

			永国寺	池	合計
図書	和漢書	平成 30 年度 受入数	846	1,010	1,856
		平成 30 年度 除却等	-19	-4	-23
		蔵書数 (H31 年 3/31 現在)	131,566	83,243	214,809
	洋書	平成 30 年度 受入数	33	59	92
		平成 30 年度 除却等	-1	0	-1
		蔵書数 (H31 年 3/31 現在)	19,460	12,900	32,360
	合計	平成 30 年度 受入数	879	1,069	1,948
		平成 30 年度 除却等	-20	-4	-24
		蔵書数 (H31 年 3/31 現在)	151,026	96,143	247,169

〈雑誌〉

(単位：タイトル)

			永国寺	池	合計
雑誌	和雑誌	平成 30 年度 受入数	120	194	314
		平成 30 年度 受入開始数	3	16	19
		平成 30 年度 除却等	0	0	0
		蔵書数 (H31 年 3/31 現在)	926	724	1,650
	洋雑誌	平成 30 年度 受入数	12	54	66
		平成 30 年度 受入開始数	0	0	0

		平成 30 年度 除却等	0	0	0
		蔵書数 (H31 年 3 /31 現在)	234	245	479
	合計	平成 30 年度 受入数	132	248	380
		平成 30 年度 受入開始数	3	16	19
		平成 30 年度 除却等	0	0	0
		蔵書数 (H31 年 3 /31 現在)	1, 160	969	2, 129

4 図書館利用状況(平成 30 年度)

〈図書館利用状況〉

(単位：人、冊)

	永国寺	池	合計
入館者数	55, 660	56, 374	112, 034
貸出人数	5, 178	5, 944	11, 122
貸出冊数	11, 067	14, 865	25, 932

5 学内 LAN 状況(平成 30 年度)

(1) サーバ、ネットワークシステムの概要

ア サーバ

基幹サーバとして池・永国寺キャンパス及びデータセンターに仮想サーバ（3 台）を運用している。

イ ネットワークシステム

池・永国寺キャンパスともにデータセンターからインターネットに繋がっており、永国寺キャンパスと池キャンパスは 1Gbps で接続されている。

両キャンパスともに有線・無線 LAN 環境が整備されている。

(2) 登録 ID 総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳

ア 教職員	193 名	(教員 131 名、事務職員 62 名)
学生	1, 397 名	(学部 1, 311 名、大学院 86 名)

イ 接続端末の総数

総数	約 800 台
永国寺キャンパス	約 350 台
池キャンパス	約 450 台

7 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、平成24年4月に、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「地の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために設置された。

平成30年4月には、地域教育研究センターの部会を5部会から2部会へと再編し、共通教養教育及び生涯学習を含む地域との連携事業の充実に取り組んでいる。

(1) 共通教育部会：共通教養教育の企画運営を行う。

(2) 地域連携部会：「知の拠点」としての役割の強化や「域学共生」の推進を図ることを目的に、高知県や市町村、地域との連携体制の強化を図り、地域の人々の知の探究への支援事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行う。

事業実施状況

【履修証明プログラム】

平成26年度から「履修証明プログラム」を開始している。5年目の平成30年度は、高知県に関する歴史、文化、環境などについての知識や教養を高めていただくために「地域学プログラム」を実施し、1名の受講生がプログラムを修了した。また平成28年度から、高齢者ケアのための職業実践力育成プログラム「保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」も開始し、3年目の平成30年度は1名の申込みがあったが、受講を辞退された。

(1) 「地域学プログラム」科目一覧

授業科目	授業科目
必修科目	選択科目
地域学概論	土佐の歴史と文化
選択科目	土佐の経済とまちづくり
土佐学ゼミナール	文化政策論
土佐学フィールドワーク	災害と法
土佐の自然と暮らし	観光産業論
土佐の食と健康	観光企画論
自然災害と防災の科学	NPO論
地方自治論	土佐地域文化資源論（歴史）
地域社会と法文化	

(2) 「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」科目一覧

授業科目	授業科目
高齢者への福祉支援	生活習慣病の治療と予防チームアプローチⅠ
介護過程実践演習	チームアプローチⅡ
高齢者のフィジカルアセスメント	最新看護知識の実践への活用
認知症患者と家族への支援	高齢者福祉の現状と実践のための講座
高齢者の食生活と住環境	

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成 14 年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成 25 年度には、地域教育研究センターが「AERU 県民公開授業」を実施し、平成 26 年度からは、上記 2 つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

(1) 平成 30 年前期

延べ受講者数：50 名

提供科目：20 科目（文化学部専門科目 5 科目、共通教養教育科目 15 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
古典文学講読Ⅰ（永国寺）	3	科学と人間（池）	-
古典文学基礎講読Ⅰ（永国寺）	2	地域とグローバル化（永国寺）	6
日本文学概論（永国寺）	5	法学（永国寺）	3
中国文学講読（散文）（永国寺）	5	法学（池）	1
中国文学講読（韻文）（永国寺）	4	基礎ジェンダー学（永国寺）	2
対人関係とメンタルヘルス（池）	3	基礎ジェンダー学（池）	1
地球の科学（永国寺）	1	健康とヘルスポモーション（池）	4
環境と健康と安全（池）	1	生活と社会福祉（池）	4
基礎化学（池）	-	情報リテラシー（永国寺）	-
科学と人間（永国寺）	2	ビジネスリテラシー（永国寺）	3

(2) 平成 30 後期

延べ受講者数：62 名

提供科目：26 科目（文化学部専門科目 7 科目、共通教養教育科目 19 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
古典文学講読Ⅱ（永国寺）	2	情報処理概論（永国寺）	2
古典文学基礎講読Ⅱ（永国寺）	3	情報処理概論（池）	-
日本思想史（永国寺）	3	地球とグローバル化（池）	1
近代文学講読（永国寺）	5	栄養と健康（永国寺）	5
現代文学講読（永国寺）	5	現代人権論（永国寺）	2
対照言語学（永国寺）	3	現代人権論（池）	1
中国文学史（永国寺）	5	ジェンダーとキャリア（池）	-
文化と裁判（永国寺）	2	ジェンダーとキャリア（永国寺）	-
対人関係とメンタルヘルス（池）	1	栄養と健康（池）	4
地球の科学（池）	-	政治学（永国寺）	4
環境と健康と安全5限（永国寺）	4	情報リテラシー（池）	-
環境と健康と安全7限（永国寺）	2	生活と社会福祉（永国寺）	4
基礎化学（永国寺）	1	経済学（永国寺）	3

【高大連携事業】

(1) 小、中、高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的として、高知県内の小・中・高等学校を対象に、出前講座を実施している。

平成 30 年度延べ受講者数：1,003 名

実施校名	実施日	対象者	受講者数
土佐女子中学高等学校	6/20	高校 1・2 年生	168
香南市立野市小学校	6/23	6 年生	63
南国市立十市小学校	9/12	5 年生	56
高知県立室戸高等学校	9/20	1～3 年生	13
高知県立嶺北高等学校	10/4	1～3 年生	62
香美市立香長小学校	10/13	5 年生	16
高知県立山田高等学校	10/24	6 年生	40
高知学芸高等学校	10/26	2 年生	27
土佐女子中学校	10/31	3 年生	168
高知県立中村中学校	10/31	3 年生	61
高知県立高知北高等学校昼間部	11/2	1～3 年生	7
高知県立宿毛高等学校	12/14	2 年生	20
高知県立岡豊高等学校	2/5	2 年生	302

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

平成 30 年度延べ受講者数：330 名

	内容	実施日	対象者	受講者数
県大立志塾 2018	第 1 回「高知県の地域課題をどう認識するか」	6/9	高校生	87
	第 2 回「コミュニティの重要性～人と人がつながる仕組み～」	8/18		72
	第 3 回「高知県の観光の取り組みについて」	9/29		32
	第 4 回「地域全体で取り組もう。減災ケアの共創」	12/15		17
	第 5 回「土佐の伝統食—高知の食の特徴について—」	1/12		35
	第 6 回「コミュニティカフェをつくろう」	2/23		50
環境を化学的視点から捉える実験講座	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 1 回 マイクロスケール化学実験入門	9/1	高校 1・2 年生	3
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 2 回 「電池のしくみと起電力」	9/15		4
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 3 回 水質簡易分析法はどの程度正確か？	9/22		3
	「手を動かして見て測って考える化学実験講座」 第 4 回 水質の指標としての溶存酸素	9/29		4
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 「金・銀・銅を溶かす」	1/5		11
	「溶ける？溶けない？を調べる化学実験講座」 「金属を溶かしたり沈殿させて分離する」	1/12		12

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民一般を対象とした公開講座を随時開催している。

平成 30 年度延べ受講者数：239 名

内容・講師	実施日	対象者	受講者数
「観光的価値の創造と地域の持続的発展」 跡見学園女子大学観光コミュニティ学科 教授 安島 博幸 氏	10/13	一般	66 (※1)
「『やさしい、おいしい』はじめよう乳和食」 料理家・管理栄養士 小山 浩子 氏 (人間生活学研究科との共催)	12/8	一般	91
第 8 回地域活性化フォーラム 「来るべき南海トラフ地震にいかに向き合うか ～正しく学び、正しく恐れ、正しく備える～」 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 科長 室崎 益輝 氏	1/14	一般	82

【第 35 回「本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

平成 26 年度までは高知短期大学と本山町で開催されていたものを平成 27 年度からは本学が引き継ぎ、高知短期大学、本山町との三者協定により開催している。

平成 30 年度延べ受講者数：180 名（第 6 回講座除く）

	「夜學」全 12 回 講座内容	実施日	対象者	受講者数
1	開校式 「土佐ことば再発見!!－正調土佐弁は今－」	5/31	本山町 民他	22
2	「植木枝盛－土佐の知、世界の知」	6/20	本山町 民他	19
3	「” 怒り ” の心理学」	7/11	本山町 民他	23
4	「土佐の伝統食 －伝えられてきた味、伝えたい味－」	9/14	本山町 民他	21
5	「地域は観光で何を得的のか」	9/27	本山町 民他	24
6	「観光的価値の創造と地域の持続的発展」 (人数は地域教育研究センター主催公開講座(※1)に含む)	10/13	本山町 民他	-
7	「元気で過ごすための正しい食生活」	10/22	本山町 民他	8
8	「認知症：正しく知って、楽しく予防」	11/26	本山町 民他	14
9	「こどもの「生きている力」と「生きていく力」を支える」	12/20	本山町 民他	11

10	「ストレスとつきあうコツ」	1/18	本山町 民他	18
11	「持ち上げない介護」	2/20	本山町 民他	10
12	閉校式 特別講演「2020 オリンピック東京大会がやってくる！」	3/19	本山町 民他	10

【立志社中】

平成 25 年度から地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせ、平成 30 年度は、7 件のプロジェクトを採択し、支援した。

平成 30 年度採択プロジェクト

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
Look again～地域と学生のパワーを蓄える～	P シスターズ	100,000 円 [100,000 円]
みんなで支えあう「共生社会」を目指して	かんきもん	200,000 円 [174,737 円]
池地域まるごとサロン活動	いけいけサロン活動	110,000 円 [42,842 円]
それいけ！大野見エコ米 ～No Rice, No Life～	COME☆RISH	298,800 円 [239,613 円]
香美市のくらしと民具 ～もの・こと・ひと～プロジェクト	from ZERO	250,000 円 [0 円※ ¹]
健援隊プロジェクト	健援隊	300,000 円 [0 円※ ²]
こどもの居場所づくり	☆こどもみらい塾☆	299,932 円 [28,380 円]

外部資金獲得状況（平成 30 年度採択プロジェクト※ 1・※ 2 の活動費として採択）

補助金名／補助団体名	プロジェクト名／チーム名	交付決定額 [実績額]
香美市学生地域活動支援事業費補助金 ／香美市	香美市の民具調査 ／from ZERO	353,000 円 [267,000 円]
香美市学生地域活動支援事業費補助金 ／香美市	健援隊プロジェクト ／健援隊	400,000 円 [230,000 円]

その他実施事業

事業名	実施時期	詳細
公開プレゼンテーション及び審査会	5/27	応募のあった 7 件のプロジェクトについて、公開プレゼンテーション及び審査会を実施。採択プロジェクトを決定。

中間報告会	10/27	各チームからプロジェクトの進捗状況を発表し、審査委員からのアドバイスや他チームの活動を知り、後半の活動につなげる機会として実施。7月に包括連携協定を締結した名古屋市立大学から2名の学生を招き、自身の取組む活動を発表していただいた。
交流会	10/27	中間報告会后に、立社社中メンバー及び審査委員や担当教員を交え開催。
第1回スキルアップセミナー 「中間報告会に向けたプレゼン方法について」 ファシリテーター：川村 晶子 氏	10/11	プレゼンをより良いものにするためのポイントを説明いただきながら、グループごとにワークショップを行った。
第2回スキルアップセミナー 「伝わる書類の作成方法について」 ファシリテーター：川村 晶子 氏	3/17	人に効果的に伝えるためのポイントについて説明いただき、ワークショップを行った。
活動成果報告会・ポスターセッション	3/17	各プロジェクトの活動を評価し、成果や課題を共有することを目的に開催。

【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成28年度に設置された。

平成30年度延べ参加者数：72名

概要	受入先	件数	参加学生数
小・中学校での学習支援	津野町教育委員会（夏季・春季）	2	36
〃	安芸市・安芸市教育委員会（夏季・春季）	2	12
〃	三原村教育委員会（夏季）	1	5
高知みらい科学館サポーター	高知みらい科学館	1	2
小津高校 SSH 事業課題研究 TA	高知県立高知小津高等学校	1	12
しらいしスクール（夏休み編）	白石地区活性化検討委員会	1	5
児童クラブ出前授業	こうち生活共同組合	1	0
ボランティアガイダンス2018	高知県ボランティア・NPOセンター 高知市市民活動サポートセンター	1	0

【包括連携協定】

(1) 新規連携協定

平成 30 年度は、新たに公立大学と包括連携協定を締結し、連携事業を行った。

①締結団体

平成 30 年 7 月 21 日協定締結 名古屋市立大学

②連携事業

(ア) 記念シンポジウムの開催

日時：平成 30 年 7 月 21 日（土） 13：30～17：00

(イ) 立志社中中間報告会において名古屋市立大学学生の地域活動について報告いただき、学生間の情報共有や交流に繋げた。

日時：平成 30 年 10 月 27 日（土） 13：30～15：40

発表者：名古屋市立大学 看護学部 4 回生、経済学部 2 回生

(2) 継続団体との連携

団体名	事業名	期間	概要	参加者等
高知市	市長と語ろう会	12/1	「若者とともに考える地方創生 ～高知での暮らし、学生だから気づく高知のこと～」をテーマに高知市の取組みについての市長説明の後、学生とのGWを行った	参加者 ・本学学生 40 名 ・清原センター長 ・高知市長、副市長、総務部長、 本学 OB の市職員
安芸市	災害復旧作業ボランティア	7/11～14	平成 30 年 7 月豪雨による災害復旧作業に係るボランティアの派遣	派遣数 ・本学学生 (院生含) 11 名 ・教職員：4 名
安芸市	安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務	5/1～3/29	人口減少・少子化が進む中、出生率向上を目指した有効な施策を展開するため、調査・研究を行い、学術的視点から効果的な対策について報告した	・清原センター長 ・文化学部 宇都宮准教授 ・文化学部 清水准教授
安芸市	学習支援ボランティア	9/3～14 2/21～3/8	CSL サポートデスク (再掲)	
香美市	香美市学生地域活動支援事業費補助金	交付日 ～3/8	香美市で地域活動をしている学生団体に対して、補助金を交付し、学生の地域活動を支援する	・健援隊 ・from ZERO
津野町	津野町町民運動会学生ボランティア	10/7	運動会当日の準備、競技参加等の学生ボランティア	・悪天候により中止
津野町	学習支援ボランティア	8/27～9/7 2/25～3/8	CSL サポートデスク (再掲)	
三原村	学習支援ボランティア	9/3～7	CSL サポートデスク (再掲)	

四万十 ドラマ	「すごい仕事を知るハズ スツアー in KOCHI」講師	3/1	COC+事業	・学生6名
------------	---------------------------------	-----	--------	-------

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行なっている。

内 容	開催時期
連携推進会議（包括連携協定の締結自治体・高知県立大学）	6/28
域学共生連携拡大会議 （県内地方公共団体及び関係団体・企業等・高知県立大学）	9/5
ご意見番会議 （地域で協力いただいている団体・高知県立大学）	11/30、2/12

8 健康長寿センター

健康長寿センターは、本学の学部が連携して、地域の人々の健康長寿の推進および健康長寿社会の構築に貢献する専門職者の最新の知識や技術の向上に努めることを目的として、平成22年4月に設置された。
センターは、平成30年度に改めて活動ポリシー(次表)をまとめ、5つの活動を行っている。

活動状況(平成30年度)

活動ポリシー	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者
高知県民の皆様に対し健康長寿を啓発する活動(域学共生)	健康長寿体験型セミナー「認知症になっても 支えあいができる村づくりをめざして」(北川村)	1	10/12	62	北川村地域住民
	健康長寿体験型セミナー「栄養と口腔 おいしくごっくんたのしい食事」(三原村)	1	11/27	28	三原村地域住民(60歳以上)
	健康長寿体験型セミナー「認知症になっても 安心できるまちづくり」(奈半利町)	1	11/29	72	奈半利町地域住民
	健康長寿体験型セミナー「つながりの大切さ～認知症予防と防災の事例から～」(本山町)	1	12/7	30	健康に関心のある本山町周辺住民
	土佐市連携事業「とさつ子健診プロジェクト」		通年		土佐市職員・土佐市民
	土佐市連携事業「土佐市地域ケア会議推進プロジェクト」		通年		土佐市職員・土佐市保健医療福祉関係者
	高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業「第10回みさとフェア」への参画	1	11/18	200以上	三里地域住民
	健康長寿文庫 103冊収蔵		通年		一般県民
高知県の医療・健康・福祉政策課題を解決する活動	高知県中山間地域等訪問看護師育成講座～平成30年度訪問看護スタートアップ研修～		通年	21	訪問看護ステーションに勤務する新任・新卒訪問看護師及び病院などに勤務する看護師
	高知県中山間地域等訪問看護師育成講座 講演・シンポジウム～新卒訪問看護師育成は地域の未来を変える～	1	3/9	80	医療従事者
	高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	5	7/19-7/20・10/13-10/14・12/8-12/9・2/14-2/15・3/18	26	介護福祉士、介護職員、特別支援学校教員、保育士等、特定の者に対してたんの吸引等の行為を行う必要がある者
	退院支援事業		通年	1,537	県内病院・施設・福祉保健所・地域包括支援センター・居宅支援事業所等
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「県大生と行く職場見学ツアー」	1	7/28	52	高校生と保護者・高校教員
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「高校生と保護者のための公開講座」	1	11/11	156	高校生と保護者・高校教員
	高知県キャリア教育推進事業 集合型研修「新2・3年生のための入門講座」	1	3/25	56	高校生と保護者・高校教員
	高知県キャリア教育推進事業 訪問型研修	8	10/19・10/22・10/22・10/29・10/29・10/31・11/2・1/11	109	高校生・高校教員

活動ポリシー	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者・参加者
高知医療センターとの包括的連携を推進する活動	高知医療センター地域医療連携研修会の合同開催「在宅医療と看取り」「安らかに穏やかな死を迎えるために」(健康長寿・地域医療連携部会)	1	1/14	73	高知医療センター職員・高知県立大学教職員・学生・医療職者・一般県民
	教員による若手看護師のキャリアサポート「専門職としてのキャリア・デザイン」	1	11/1	15	看護基礎教育卒業後10年未満程度の看護師
	「赤ちゃん同窓会」(看護・社会福祉連携部会)	1	10/14	114	NICUに入院経験のある子どもとその家族
	病院前妊産婦救護に関するシミュレーションコースBL SO in 高知(第2回プロバイダコース)	1	2/16	52	高知県内の救急隊員、医師、看護師、高知医療センター職員、高知県立大学教員、学生
	専門職者のキャリアサポート「PADISガイドラインにおける非薬理ケア」	1	2/18	15	高知医療センター看護師、高知県立大学教員、医療従事者
	「慢性腎臓病(CKD)患者さんのための食事療法手引き」改訂		6月～10月	9	高知医療センター栄養局職員、高知県立大学健康栄養学部教職員
	「慢性疾患を有する患者対象の料理教室」(健康栄養連携部会)	1	11/3	24	慢性腎臓病治療中患者及びその家族等
高知県内の医療・健康・福祉専門職者のスキルアップに資する活動	第1回公開講座「新人看護職者のためのフィジカルアセスメント～現場で役立つ！症状別アセスメント～」	1	11/3	41	臨床経験3年目までの看護師
	第2回公開講座「こどもや家族とともに生活を創造する看護職者が実践する育児支援ー継続した質と量を保障した支援を考えるー」	1	12/24	14	地域でこどもと家族を支援する看護職者
	リカレント教育講座 精神看護リカレント教育(高知県西部地区精神科看護研修会) 「認知症の人の視点に立ってケアを考える」	1	6/9	71	高知県西部地区の精神科医療従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「対人支援専門職のプレゼンテーション能力ー医療ソーシャルワーカーの情報収集を題材にしてー」	1	11/3	42	卒業生、社会福祉従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「ストレスとつき合うコツ」	1	11/11	31	卒業生、社会福祉従事者
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「障害のある人のキャリア形成を考えるーピアサポーターに関心を持つ医“あなた”へ向けてー」	1	12/8	24	社会福祉従事者、学生、医療従事者、行政職、一般市民
	リカレント教育講座(社会福祉学部)「地域福祉に必要なことー介護保険制度改正からー」	1	12/15	26	社会福祉従事者、一般市民
	高知県新任期保健師研修会	9	5/8・6/15・6/25・7/26・8/7・11/8・12/18・12/20・2/8	270	高知県・県内市町村に所属する1～4年目の保健師
	特別公開講座 高知県民の血管病重症化予防を地域連携で推進しようー佐賀県の糖尿病コーディネート看護師を活用した『ストップ糖尿病』対策に学ぶ地域連携の方策ー	1	9/16	88	高知県の血管病重症化予防に関わる看護師、高知県糖尿病療養指導士、保健師、医師、行政職
高知県の健康長寿を研究する活動	シミュレーション教育事例検討会	2	10/13・12/9	41	高知県立大教員、高知医療センター職員、医療者教育に従事する方
	災害に強い専門職育成事業～医療救護病院でのBCP作成を通して～	11	4/18・5/24・6/18・7/20・8/27・9/26・10/25・11/21・12/14・1/22・2/14	463	県内救護病院のBCP策定委員・病棟・外来スタッフ他
	とこずれ相談	0	通年		医療従事者

9 健康管理センター

1 保健管理状況(平成30年度)

【健康管理センター利用状況】

(単位:件、人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池 キ ャ ン パ ス	内 科	33	29	25	50	3	1	31	48	23	73	23	3	342
	外 科	18	22	19	18	2	2	17	16	8	7	7	1	137
	婦人科	1	16	16	7	1	0	7	15	5	5	0	0	73
	メンタルヘルス	45	63	21	41	15	11	80	62	37	53	75	27	530
	健診フォロー	79	69	18	6	3	0	2	9	1	0	0	0	187
	その他	92	166	94	99	24	28	87	56	29	50	37	30	792
	合計件数	268	365	193	221	48	42	224	206	103	188	142	61	2,061
	合計人数	214	321	164	193	41	40	165	160	75	146	100	49	1,668
永 国 寺 キ ャ ン パ ス	内 科	4	7	9	12	3	0	14	7	1	13	3	0	73
	外 科	3	6	4	9	3	1	6	5	3	1	6	2	49
	婦人科	1	1	15	4	1	0	6	5	1	1	0	0	35
	メンタルヘルス	44	45	60	40	11	33	138	85	55	55	30	16	612
	健診フォロー	21	388	130	46	3	6	11	9	0	0	0	0	614
	その他	151	137	91	128	33	32	97	43	17	79	36	11	855
	合計件数	224	584	309	239	54	72	272	154	77	149	75	29	2,238
	合計人数	203	510	284	226	48	63	230	125	61	129	68	26	1,973
総 計	合計件数	492	949	502	460	102	114	496	360	180	337	217	90	4,299
	合計人数	417	831	448	419	89	103	395	285	136	275	168	75	3,641

【精神科医師によるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	2	3	3	2	△	1	3	2	3	3	3	2	27
永国寺キャンパス	0	0	2	2	△	2	2	△	2	0	0	△	10
合計件数	2	3	5	4	0	3	5	2	5	3	3	2	37

【カウンセラーによるメンタルヘルス相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス	5	5	3	2	2	1	2	2	3	5	3	2	35
永国寺キャンパス	4	8	8	6	1	4	13	10	5	7	7	2	75
合計件数	9	13	11	8	3	5	15	12	8	12	10	4	110

【産婦人科医師及び助産師による婦人科相談】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
池キャンパス		3	3	2				1					9
永国寺キャンパス			3					2					5
合計件数		3	6	2				3					14

【健康教育講座】

(単位:件、人)

	テーマ	講師	日時	場所	参加者数 (参加率)	主な対象学年
1	女性の健康とからだについて ～自分やパートナーのからだ をまもるために～	独立行政法人国立 病院機構 高知病院 婦人科医師 木下 宏実先生	5月30日	永国寺 キャンパス	198名 (54.1%)	1回生
			6月12日	池キャンパス		
2	大学生のメンタルヘルス について	高知大学保健管理 センター医学部分室 精神科医師 澁谷 恵子先生	11月21日	池キャンパス	142名 (38.8%)	
			11月27日	永国寺 キャンパス		

【定期健康診断】

(1)実施内容一覧

月日	4月5日(木)	月日	4月6日(金)
場所 (時間)	池キャンパス (8時30分～16時30分)	場所 (時間)	池キャンパス (8時30分～16時30分)
対象者	看護学部1、4回生 健康栄養学部1、4回生 人間生活学研究科	対象者	看護学部2、3回生 社会福祉学部2、3回生 健康栄養学部2、3回生 看護学研究科
健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症検査:一部学生> *B型肝炎検査 看護学部1、4回生の一部 社会福祉学部1回生、4回生の一部 *4種感染症抗体検査 看護学部1回生 社会福祉学部1回生、4回生の一部 健康栄養学部1回生	健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症検査:一部学生> *B型肝炎検査 看護学部2、3回生の一部 社会福祉学部3回生 看護学研究科 *4種感染症抗体検査 社会福祉学部3回生 看護学研究科
		月日	4月9日(月)
		場所 (時間)	永国寺キャンパス (8時45分～16時30分)
		対象者	文化学部1～4回生(夜間主を含む) 人間生活学研究科
		健診項目	胸部レントゲン撮影 検尿 身体計測 医師の診察 貧血検査 <感染症検査:一部学生> *4種感染症抗体検査 文化学部3回生の一部

*印の内容は、施設実習のために必要な項目であり、健康診断時に併せて実施した。
上記実施日に健診できなかった学生に対しては、委託施設にて実施した。

*4種感染症:麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎

(2) 学年・学科別学部生 健康診断受診状況

学年	学 科	対象者数	胸部間接撮影		内科診察		尿検査		貧血検査	
			受検者数	受検率 (%)	受検者数	受検率 (%)	受検者数	受検率 (%)	受検者数	受検率 (%)
1	文 化	165	163	98.8%	163	98.8%	163	98.8%	163	98.8%
	昼(再掲)	136	136	100.0%	136	100.0%	136	100.0%	136	100.0%
	夜(再掲)	29	27	93.1%	27	93.1%	27	93.1%	27	93.1%
	看 護	84	84	100.0%	84	100.0%	84	100.0%	84	100.0%
	社会福祉	73	73	100.0%	73	100.0%	73	100.0%	73	100.0%
	健康栄養	45	45	100.0%	45	100.0%	45	100.0%	45	100.0%
2	文 化	150	147	98.0%	147	98.0%	147	98.0%	147	98.0%
	昼(再掲)	124	122	98.4%	122	98.4%	122	98.4%	122	98.4%
	夜(再掲)	26	25	96.2%	25	96.2%	25	96.2%	25	96.2%
	看 護	84	84	100.0%	84	100.0%	84	100.0%	84	100.0%
	社会福祉	72	71	98.6%	71	98.6%	71	98.6%	71	98.6%
	健康栄養	40	40	100.0%	40	100.0%	40	100.0%	40	100.0%
3	文 化	150	148	98.7%	148	98.7%	148	98.7%	148	98.7%
	昼(再掲)	128	128	100.0%	128	100.0%	128	100.0%	128	100.0%
	夜(再掲)	22	20	90.9%	20	90.9%	20	90.9%	20	90.9%
	看 護	82	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%	82	100.0%
	社会福祉	75	75	100.0%	75	100.0%	75	100.0%	75	100.0%
	健康栄養	41	41	100.0%	41	100.0%	41	100.0%	41	100.0%
4	文 化	146	133	91.1%	133	91.1%	133	91.1%	133	91.1%
	昼(再掲)	125	113	90.4%	113	90.4%	113	90.4%	113	90.4%
	夜(再掲)	21	20	95.2%	20	95.2%	20	95.2%	20	95.2%
	看 護	83	83	100.0%	83	100.0%	83	100.0%	83	100.0%
	社会福祉	71	71	100.0%	71	100.0%	71	100.0%	71	100.0%
	健康栄養	42	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%
合 計		1,403	1,382	98.5%	1,382	98.5%	1,382	98.5%	1,382	98.5%
前年度		1,337	1,315	98.4%	1,315	98.4%	1,314	98.3%	1,315	98.4%

※ 受検率は、在籍数から休学者・留学中・中途退学者および健診免除者を除いた人数(対象者)を分母としたものである。

※ 3か月以内に医療機関等で胸部レントゲン撮影をしている学生は、撮影済みとみなした。

(3) 大学院生 健康診断受診状況

学年	研究科	対象者数	胸部間接撮影		内科診察		尿検査		貧血検査		
			受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	受検者数	受検率(%)	
1	看護学	14	13	92.9%	14	100.0%	14	100.0%	14	100.0%	
	(再掲)	前期課程	11	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%
		後期課程	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
		DNGL	2	1	50.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	人間生活学	4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	
	(再掲)	前期課程	4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%
後期課程		0									
2	看護学	18	14	77.8%	14	77.8%	14	77.8%	14	77.8%	
	(再掲)	前期課程	14	11	78.6%	11	78.6%	11	78.6%	11	78.6%
		後期課程	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		DNGL	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
	人間生活学	9	7	77.8%	7	77.8%	7	77.8%	7	77.8%	
	(再掲)	前期課程	9	7	77.8%	7	77.8%	7	77.8%	7	77.8%
後期課程		0									
3	看護学	6	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%	
	(再掲)	後期課程	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		DNGL	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	人間生活学(後期課程)	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
4	看護学(DNGL)	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	
5	看護学(DNGL)	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	
合 計		56	43	76.8%	44	78.6%	44	78.6%	44	78.6%	
前年度		46	37	80.4%	37	80.4%	37	80.4%	37	80.4%	

※受検率は、在籍数から休学者および健診免除者を除いた人数(対象者)を分母としたものである。

※3か月以内に医療機関等で胸部レントゲン撮影をしている学生は、撮影済みとみなした。

【学生精神的健康調査(UPI調査)】

- ・対象者:全学部生(文化学部編入生を含む)
 ※ただし、休学中の学生及び科目履修生、外国人留学生(1年未満)、特別聴講生、委託生、研究員、留学中の学生は除く。
- ・調査実施期間:平成30年4月5日(木)～4月9日(月)
- ・実施方法:1回生はガイダンス時に、文化夜間主1回生と2～4回生は定期健康診断時に実施。
 ※健康診断未受診者は健康管理センター来所時に実施。

学部	学年	学生数	実施数	実施率
看護学部	1	84	82	97.6%
	2	83	82	98.8%
	3	82	82	100.0%
	4	83	82	98.8%
社会福祉学科部	1	73	73	100.0%
	2	73	71	97.3%
	3	75	75	100.0%
	4	72	71	98.6%
健康栄養学部	1	45	45	100.0%
	2	40	40	100.0%
	3	41	40	97.6%
	4	42	42	100.0%
池キャンパス小計		793	785	99.0%
文化学部	1	137	137	100.0%
	2	125	119	95.2%
	3	130	127	97.7%
	4	131	118	90.1%
文化学部 (夜間主)	1	31	27	87.1%
	2	29	25	86.2%
	3	26	21	80.8%
	4	34	21	61.8%
永国寺キャンパス小計		643	595	92.5%
合計		1,436	1,380	96.1%

10 国際交流

1 米国 マサチューセッツ州エルムズカレッジとの交流

- 平成10年10月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・短期留学研修生の派遣や受入れ
 - ・1年以内の中長期留学生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

短期(2週間)		学期(3ヶ月以上1年未満)	
派遣	受入れ	派遣	受入れ
15	0	2	0

2 中国 北京聯合大学旅游学院との交流

- 平成18年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・1年間の長期留学生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
2	2

3 台湾 文藻外語大学との交流

- 平成19年1月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・1年間の長期留学生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
2	2

4 イタリア ヴェネツィア カ・フォスカリ大学アジア北アフリカ学科との交流

- 平成25年1月 大学対学科間で国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
3	9

5 マレーシア サバ大学との交流

- 平成24年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
2	5

6 インドネシア ガジャマダ大学との交流

- 平成25年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
5	0

7 インドネシア インドネシア大学との交流

- 平成30年8月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
5	0

8 大韓民国 木浦大学校との交流

- 平成28年10月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
 - ・1年以内の中長期留学生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

短期(1週間)		学期(3ヶ月以上1年未満)	
派遣	受入れ	派遣	受入れ
0	0	1	0

9 大韓民国 慶南科学技術大学校との交流

- 平成28年11月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
 - ・1年以内の中長期留学生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

短期(1週間)		学期(3ヶ月以上1年未満)	
派遣	受入れ	派遣	受入れ
3	14	0	1

10 タイ ウボンラーチャタニ大学との交流

- 平成28年12月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
0	0

11 インドネシア アンダラス大学との交流

- 平成29年2月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月未満の短期研修生の派遣や受入れ
- 平成30年度実績(2019年3月31日現在)

(単位:人)

派遣	受入れ
0	0

11 開かれた大学

1 公開講座等実施状況(平成30年度)

○公開講座

区分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
文化学部	日本学レクチャーシリーズ 「海外で日本語教育23年—日本語教育通して私が見た世界」	1	5/18	130	学生・教職員・ 一般市民
	日本学レクチャーシリーズ 「シェイクスピアと旅をして」	1	6/15	86	学生・教職員・ 一般市民
	高校生のための文化学講座 「物語/小説を読むこと—田山花袋「少女病」を読む」	1	6/16	89	高校生
	高校生のための文化学講座 「学問としての法学への招待」	1	6/16	77	高校生
	日本学レクチャーシリーズ 「海を渡ろう！—イベリア世界に見た法の常識と非常識—」	1	7/13	41	学生・教職員・ 一般市民
	2018年度オープンキャンパス高校生のための文化学講座 「明治時代の新聞を読む —140年前の高知の人々の生活に触れてみましょう—」	1	8/5		高校生、保護者
	2018年度オープンキャンパス高校生のための文化学講座 「高知県の政策を見てみよう—地域振興計画を例に—」	1	8/5		高校生、保護者
	水俣と現代社会 高知からのアプローチ 「坂本しのぶとして生きる」	1	9/3	80 (3日間のべ人数)	一般
	水俣と現代社会 高知からのアプローチ 「水俣病のいまと私」	1	9/3		一般
	水俣と現代社会 高知からのアプローチ 「ワークショップ」	1	9/4		一般
	水俣と現代社会 高知からのアプローチ 「人に価格を付けるな:ポスト資本主義からの概念」	1	9/5		一般
	日本学レクチャーシリーズ 「日本より日本らしい!?—パラグアイで見つけた土佐コミュニティ」	1	10/19	65	学生・教職員・ 一般市民
	日本学レクチャーシリーズ 「ブータンの山のチーズ作り」	1	11/22	59	学生・教職員・ 一般市民
	日本学レクチャーシリーズ 「米国人のわたしが講談師になっちゃった」	1	12/14	51	学生・教職員・ 一般市民
シネマ・フィロソフィア3.11上映会 「願いと揺らぎ」	1	1/18	304	学生・一般	
看護学部	平成30年度第1回看護学部公開講座～採血技術向上研修(保健師対象)～	1	4/27	6	保健師
	高知県民の血管病重症化予防を地域連携で推進しよう—佐賀県のコーディネーター看護師を活用した『ストップ糖尿病』対策に学ぶ地域連携の方策	1	9/16	84	専門職者
	高校生のための看護学を学ぶ公開講座 「看護の複眼的思考をテーマとしたグループワーク」	1	10/28	10	高校生
	高校生のための看護学を学ぶ公開講座 「看護とは何か？」	1	3/27	9	高校生
健康栄養学部	「農水産物の冷凍・冷蔵・高圧による新加工物流技術」	1	7/11	40	一般

○リカレント講座

区分	内容	回数	実施時期	参加数(人)	対象者
文化学部	漢文再入門—漢詩を声に出して読んでみよう—	1	7/30	9	県下の国・公・私立小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員
	明治時代にタイムスリップ:自由民権時代の新聞を読む [植木枝盛とその時代(6)]	1	8/3	5	
	民主主義について考える	1	8/7	3	
看護学部	第1回プリセプター能力育成研修 「高知県保健師人材育成プリセプター能力育成研修」	1	5/8	62	専門職者
	小児看護学ケア検討会 「NICUにおけるケアについて」 「思春期の小児がんの子どもへのケアについて」 「幼児期の小児がんの子どもへのケアについて」	3	5/19、 11/11、2/3	42	専門職者
	がん看護学リカレント教育 「進行がんで入院した患者・家族の意思決定支援に悩んだ事例」 「急激な病状の変化を受け止められない家族への関わり」 「最期まで痛みを強く訴え症状緩和が困難であった事例」 「気管切開の施行に迷う高齢がん患者への意思決定支援」 「本年度アストラルの活動のまとめと次年度の計画」	5	5/25、7/27、 9/28、1/25、 3/8	51	専門職者
	在宅看護学ケア検討会 「腎臓がんによる転移性大腿骨病的骨折の患者の在宅移行支援」 「入退院を繰り返す高齢者の退院支援」 「治療に対して消極的な在宅療養者へのアプローチ」	3	6/5、10/12、 2/8	31	専門職者
	クリティカルケア看護学ケア検討会 「クリティカルケアにおける意思決定支援を考える」 「患者さんをイメージする力」	2	6/9、12/8	37	専門職者
	精神看護学領域リカレント教育 「認知症の人の視点に立ってケアを考える」	1	6/9	63	専門職者
	老人看護学ケア検討会 「入院している高齢者の意思決定・意思尊重とは」 「急性期の認知症ケア」	2	6/12、10/9	21	専門職者
	地域看護学領域リカレント教育 「新任期保健師研修会(地区診断)※2年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(個別支援)※1年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(プロセスレコード)※1年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(地区診断)※2年目保健師対象」	4	6/15、8/7、 11/8、12/20	101	専門職者
	精神看護学ケア検討会 「自殺念慮のある思春期の発達障害患者への介入に関するケア検討会」 「透析を行っている双極性障害患者の退院支援」 「身体疾患で一般科に入院している精神疾患患者の事例」	3	6/21、9/20、 12/20	18	専門職者
	看護管理学ケア検討会 「データを活用し看護管理を「見える化」する」 「データを用いて看護管理を視える化する～具体的に活用するための事例検討～「誤嚥性肺炎防止のための取り組み」」 「看護管理者の役割-効率性と安全性に視点をおいて手術環境を調整する-という事例」	3	6/22、 10/12、1/18	68	専門職者
	がん看護学ケア検討会 「がん患者の在宅療養を支える多職種連携と看護～がん患者の在宅移行支援における困難事例～」 「がん患者の在宅療養を支える多職種連携と看護～外来でのがん患者の療養支援における困難事例～」 「在宅でのがん患者の療養支援における困難事例」	3	6/23、9/29、 1/26	55	専門職者

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数 (人)	対象者
看護学部	地域看護学ケア検討会 「新任期保健師研修会(PDCA②)※4年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(PDCA①)※3年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(PDCA①)※3年目保健師対象」 「新任期保健師研修会(PDCA②)※4年目保健師対象」	4	6/25、7/26、 12/18、2/8	53	専門職者
	クリティカルケア看護学リカレント教育 「クリティカルケア看護学会学術集会」 「重症患者の循環動態」 「PADISガイドラインにおける非薬理ケア」	3	6/30、1/11、 2/18	49	専門職者
	慢性期看護学リカレント教育 「高知県における血管病の重症化予防 地域・診療所・ 病院の看看連携」	1	8/4	26	専門職者
	家族看護学ケア検討会 「渡邊式家族アセスメントモデルを用いた家族看護の展開」 「怒りを表出する壮年期がん患者家族への支援(事例検討)」	2	10/20、1/12	15	専門職者
	母性・助産看護学リカレント教育 「周産期異常のフィジカルアセスメント研修会(卒後1～2年の 看護職者対象)」	1	11/2	9	専門職者
	看護管理学リカレント教育 「中堅看護師の成長支援に関する研究ー中堅看護師の 成長を促進する支援者のかかわりー」	1	11/3	17	専門職者
	慢性期看護学ケア検討会 「症状増悪と合併症拡大により生活機能が低下した患者 への退院支援」	1	12/14	7	専門職者
	小児看護学領域特別講義 「小児看護専門看護師に必要な実践能力や院内の活動に 関する講義」	1	2/3	14	専門職者
社会福祉学部	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント 教育講座 「対人支援専門職のプレゼンテーション能力ー医療 ソーシャルワーカーの情報収集を題材にしてー」	1	11/3	39	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント 教育講座 「ストレスとつきあうコツ」	1	11/11	32	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント 教育講座 「障害のある人のキャリア形成を考えるーピアサポーターに 関心を持つ“あなた”へ向けてー」	1	12/8	24	一般
	健康長寿センター事業高知県立大学社会福祉学部リカレント 教育講座 「地域福祉に必要なことー介護保険制度改正からー」	1	12/15	26	一般

2 学会役員等の状況(平成30年度)

(1) 全国・国際学会の理事・幹事

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
文化学部	教授	五百藏 高浩	全国英語教育学会	理事
			四国英語教育学会	会長
			大学英語教育学会中国・四国支部	役員
			The Korean Association of English for Specific Purposes	International Cooperation Director # Editor
	教授	大村 誠	日本測地学会	広報委員長
	教授	橋尾 直和	流域圏学会	理事
			土佐民俗学会	常任理事
			いざなぎ流と物部川流域を考える会	理事
			四国民具研究会	編集担当幹事
			土佐歴史資料研究会	会長
	教授	東原 伸明	中古文学会	年度委員
			学術団体物語研究会	委員
	准教授	飯高 伸五	日本オセアニア学会	評議員
	准教授	金澤 俊吾	英語コーパス学会	理事・大会企画委員長
			英語語法文法学会	運営委員
	准教授	菊池 直人	総合法政策研究会	理事
			日本保険学会	関西部会委員
	准教授	鳥飼 真人	英語英文学会片平会	幹事
			日本ロレンス協会	評議員
准教授	根岸 忠	日本社会保障法学会	企画委員会委員	
		アジア法学会理事	理事	
准教授	吉川 孝	日本現象学会	委員・企画実行委員長	
看護学部	教授	畦地 博子	日本精神保健看護学会	理事・評議員
	教授	池添 志乃	日本養護教諭養成大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本看護倫理学会	評議員
			日本家族看護学会	評議員
			日本学校保健学会	理事
	教授	池田 光徳	日本皮膚科学会高知地方会	幹事
	教授	内田 雅子	日本慢性看護学会	評議員
	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会	評議員
	教授	大川 宣容	日本医療教授システム学会中四国支部	副代表理事
	教授	竹崎 久美子	日本老年看護学会	評議員
			日本災害看護学会	指名理事
	教授	時長 美希	日本看護科学学会	評議委員
	教授	長戸 和子	日本家族看護学会	理事
	教授	中野 綾美	日本看護系大学協議会	理事
			日本看護科学学会	代議員
			日本小児看護学会	理事
日本家族看護学会			理事	
日本看護倫理学会			評議員	

学部	職名	氏名	学会名	理事・幹事の別
看護学部	教授	藤田 佐和	日本緩和医療学会	代議員
			日本慢性看護学会	評議員
			日本看護倫理学会	評議員
			日本看護科学学会	代議員
	教授	森下 安子	一般社団法人日本災害看護学会	指名理事・評議員
	教授	森本 悦子	一般社団法人日本がん看護学会	理事
	教授	山田 覚	一般社団法人日本災害看護学会	理事・評議員
			日本看護科学学会	代議員
			日本医療・病院管理学会	評議員
			日本看護管理学会	評議員
	准教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会	評議員
	講師	有田 直子	日本小児看護学会	評議員
	助教	高樽 由美	一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会	評議員
			日本慢性看護学会	評議員
特任教授	中山 洋子	公益社団法人日本看護科学学会	理事	
		日本精神保健看護学会	理事	
特任教授	南 裕子	日本看護科学学会	監事	
		日本災害看護学会	副理事長	
		一般社団法人日本看護質評価改善機構	監事	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	KJ法学会	運営委員・編集委員
			日本社会福祉学会	中国四国地区ブロック運営委員 (監事)、第41回高知大会実行 委員長
			日本人間科学研究会	理事
	教授	田中 きよむ	社会政策学会	秋季大会企画委員
	准教授	鈴木 孝典	一般社団法人日本精神保健福祉学会	理事、機関誌査読委員
			公益社団法人日本精神保健福祉士協会	機関誌査読委員
	准教授	中寫 洋	日本介護福祉学会	評議員、機関誌査読委員
			日本福祉文化学会	評議員、機関誌編集委員長
			全日本大学開放推進機構	理事
			生涯学習・社会教育研究促進機構	機関誌編集委員会幹事
助教	雑賀 正彦	日本地域福祉学会	地方委員	
助教	福田 敏秀	日本認知症ケア学会	代議員	
		日本認知症予防学会	評議員	
健康栄養学部	教授	村上 尚	日本肥満学会	評議員
	教授	稲井 玲子	日本食育学会	理事長
			日本栄養改善学会	評議員
			日本機能性食品医用学会	評議員
			日本栄養・食糧学会	参与
	教授	渡邊 浩幸	日本栄養・食糧学会	代議員、中国四国支部長
			日本脂質栄養学会	評議員
	准教授	荒牧 礼子	日本未病システム学会	評議員
			日本栄養改善学会	運営委員
	准教授	鈴木 麻希子	日本栄養・食糧学会	参与
日本栄養・食糧学会			第72回大会 実行委員	
日本栄養改善学会四国支部			第5回学術総会 運営委員	

学 部	職 名	氏 名	学 会 名	理事・幹事の別
健康 学部 栄	講師	竹井 悠一郎	日本栄養改善学会	評議員
			日本栄養・食糧学会	参与
地 域 研 究 セ ン タ ー	教 授	一色 健司	日本分析化学会	常任幹事
			流域圏学会	理事
	教 授	石山 貴章	日本職業リハビリテーション学会	理事
健 康 タ ー ゲ ト セ ン	特任教授	久保田 聡美	日本禁煙学会	理事、資格制度委員会委員、 ナース委員会委員長
			日本臨床カルパス学会	評議員、資格認定委員会副委 員長、学術・出版委員
			日本看護管理学会	評議員

(2) 教員が受託した審議会・委員会の委員等

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	五百藏 高浩	高知県国際交流協会評議員	公益財団法人高知県国際交流協会 代表理事
			高知広域連携中枢都市圏ビジョン推進懇談会委員	高知市長
			平成30年度 高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業(議長)	高知県教育長
			平成30年度『外国語教育コア・エリア実践研究指定事業』(講師)	高知県安芸郡安田町教育長
			平成30年度『外国語教育コア・エリア実践研究指定事業』(講師)	高知県安芸郡馬路村教育長
	教授	井上 次夫	高知県第3回「高校生伝えるチカラ選手権」弁論部門審査委員会(委員長)	高知県教育長
	教授	岩倉 秀樹	高知弁護士会懲戒委員会委員	高知弁護士会会長
			高知県公文書開示審査会委員(会長)	高知県知事
			高知市行政情報公開・個人情報公開審査会委員(会長)	高知市長
			高知市議会情報公開・個人情報保護審査会委員	高知市議会議長
			高知市放置自動車廃物判定委員会委員	高知市長
			高知県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会(会長)	高知県後期高齢者医療広域連合長
			こうち人づくり広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	こうち人づくり広域連合長
	教授	大井 方子	高知地方労働審議会委員	高知労働局長
			高知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構高知支部高知職業能力開発促進センター 所長
			高知県職業能力開発審議会委員	高知県知事
			高知県立都市公園等指定管理者審査委員	高知県知事
			高知市廃棄物処理運営審議会委員	高知市長
	教授	大村 誠	学校防災アドバイザー	高知県教育長
			スーパーサイエンスハイスクール 岡山県立津山高等学校運営指導委員会委員	岡山県教育委員会教育長
	教授	小長谷 悠紀	高知県COC+ 観光人材育成事業検討会 委員	観光人材育成事業検討会座長
			高知県住宅宿泊事業法に基づく条例検討委員会 会長	高知県知事
			高知市文化振興事業団 理事	公財)高知市文化振興事業団
			三原村ヒメノボタンの里公園整備検討委員会 委員	三原村長
			カツオ文化日本遺産認定推進ワーキンググループ メンバー	高知カツオ県民会議事務局長
	教授	高西 成介	高知県出版文化賞選考委員	公益財団法人高知県文教協会 理事長
			大原富枝文学賞審査員	本山町立大原富枝文学館館長
教授	橋尾 直和	NPO豊永郷民俗資料保存会評議員	NPO豊永郷民俗資料保存会理事長	
		豊永郷民俗資料館建設委員会委員	NPO豊永郷民俗資料保存会理事長	
		流域圏学会評議委員	流域圏学会会長	
		高知県視聴覚ライブラリーメディア検討委員	高知県教育長	
		高知市文化財保護審議会委員	高知市教育長	
		南国市後川流域のエンコウ祭調査委員会副委員長	南国市教育長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
文化学部	教授	橋尾 直和	物部庄谷相拓の歴史と文化を考える会副会長	物部庄谷相拓の歴史と文化を考える会会長
			焼畑による山おこしの会評議員	焼畑による山おこしの会会長
			スローフード高知味の箱舟委員	スローフード高知会長
	教授	三浦 要一	高知県文化財保護審議会委員	高知県教育長
			高知県文化財専門委員	高知県教育長
			土佐遍路道・札所寺院保存検討委員会 委員長	高知県教育長
			高知市景観審議会 会長	高知市長
			高知市文化財保護審議会 副会長	高知市教育長
			史跡高松城跡建造物整備会議委員	高松市長
			独立行政法人 日本学術振興会審査委員候補者	日本学術振興会理事長
	教授	ヨース・ジョエル	高知地域留学生交流推進会議運営委員会 委員	高知大学長
			高知市出版学術賞審査委員会 委員	高知市長
	准教授	宇都宮 千穂	高知市自由民権記念館運営協議会委員	高知市長
			高知港長期構想検討委員会委員	高知県知事
			市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会委員	高知市長
			高知市住宅審議会委員	高知市長
	准教授	菊池 直人	高知県消費生活審議会委員	高知県知事
			高知県公文書開示審査会委員	高知県知事
			高知市消費生活審議会委員	高知市長
			土佐市個人情報保護運営審議会(会長)	土佐市長
			土佐市情報公開・個人情報保護審査会委員	土佐市長
	准教授	根岸 忠	介護労働安定センター雇用管理改善促進事業 啓発実践推進委員会委員長	介護労働安定センター高知支部長
			高知県個人情報保護審査会	高知県知事
			高知県旅券窓口業務委託プロポーザル審査会委員	高知県知事
准教授	吉川 孝	特別研究員等審査会専門委員	日本学術振興会理事長	
看護学部	教授	池添 志乃	高知県衛生研究所疫学倫理審査委員会委員	高知県衛生研究所長
			大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)専門委員	文部科学省高等教育局長
			南国市調査専門委員	南国市教育長
			平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			平成29年度高知県スクールヘルスリーダー連絡協議会委員	高知県教育委員会事務局 保健体育課長
	教授	池田 光徳	相模女子大学・相模女子大学短期大学部ヒトを対象とする研究倫理委員会外部委員	相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長
			高知県健康づくり推進協議会及び各部会委員	高知県健康政策部長
			土佐市子どもの健康づくり支援委員会委員	土佐市長
			高知県地方薬事審議会委員	高知県健康政策部長
			土佐市健康増進計画策定委員会委員	土佐市長
	教授	瓜生 浩子	日本家族看護学会第25回学術集会の企画委員	日本家族看護学会第25回学術集会会長

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	大川 宣容	日本がん看護学会編集委員会委員	一般社団法人日本がん看護学会理事長
	教授	竹崎 久美子	災害看護委員会・保健師助産師看護師実習指導者講習検討会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
	教授	長戸 和子	平成29年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究員	高知県教育長
			新人看護職員研修検討会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			専門看護師認定実行委員会(家族支援)委員	公益社団法人 日本看護協会会長
	教授	中野 綾美	専門看護師制度委員会委員	公益社団法人 日本看護協会会長
			高知医療センター地域医療支援病院運営委員会委員	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター病院長
			日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会代表理事
			高知県の看護を考える検討委員会委員	高知県健康政策部医療政策課長
			特別免許状授与に係る教育職員検定審査会委員	高知県教育長
	教授	藤田 佐和	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会がん看護専門分科会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員長
			独立行政法人大学改革・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長
			専門看護師認定実行委員会委員(がん看護)委員	公益社団法人 日本看護協会会長
			高知県の看護を考える検討委員会委員	高知県健康政策部長
			高知県国民健康保険運営協議会委員	高知県健康政策部長
			高知県がん教育推進協議会	高知県教育委員会保健体育課長
			高知医療センター地域医療支援病院運営委員会委員	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター病院長
			高知県・高知市病院企業団高知医療センター治験審査委員会委員	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター病院長
			高知県ナースセンター運営協議会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			高知がん診療連携協議会委員	高知大学医学部附属病院長
			日本緩和医療学会中国・四国運営委員会委員	特定非営利活動法人日本緩和医療学会理事長
	教授	森下 安子	日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定委員会委員	一般社団法人日本看護系大学協議会代表理事
			高知市在宅医療・介護連携推進委員会委員	高知市長
			介護認定審査会委員会委員	仁淀川広域市町村圏事務組合
			高知市地域密着型サービスの運営に関する委員会委員	高知市長
			高知市地域高齢者支援センター運営協議会委員	高知市長
			在宅ケア領域看護師研修検討会	公益社団法人高知県看護協会 会長 宮井 千恵
高知県訪問看護推進協議会委員			高知県健康政策部医療政策課長	
教授	森本 悦子	認定看護師教育課程教育委員会委員	静岡県立静岡がんセンター事業管理者がんセンター局長	
教授	時長 美希	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会委員	高知県国民健康保険団体連合会理事長	
		高知県人材育成ガイドライン評価検討会委員	高知県健康政策部健康長寿政策課長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
看護学部	教授	時長 美希	高知市建築審査会委員	高知市長
			高知市地域保健活動委員会委員	高知市長
	教授	山田 覚	高知市防災会議幹事会委員	高知市長
			認定看護管理者教育運営委員会委員	公益社団法人高知県看護協会
	大学院教授	神原 咲子	土佐市災害時要配慮者支援体制連絡協議会委員	土佐市長
			一般社団法人日本災害看護学会第20回年次大会企画委員会委員	一般社団法人日本災害看護学会第20回年次大会長
			南海トラフ地震対策啓発テレビCM制作放送委託業務プロポーザル審査委員会委員	高知県危機管理部南海トラフ地震対策課長
			高知コアセンター評議員会委員	高知大学海洋コア総合研究センター長
	准教授	内川 洋子	第48回(平成29年度)日本看護学会—看護管理—論文選考委員会	公益社団法人日本看護協会看護研修学校長
	講師	高谷 恭子	高知県小児救急電話相談事業運営協議会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
			日本小児看護学会倫理委員会委員	一般社団法人日本小児看護学会理事長
	助教	川本 美香	保健師職能委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
	助教	庄司 麻美	第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員会	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長
	助教	高樽 由美	日本専門看護師協議会委員	日本専門看護師協議会代表
			第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員会委員	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長
	助教	西内 舞里	看護研究論理審査委員会委員	公益社団法人高知県看護協会会長
特任教授	中山 洋子	医道審議会委員会委員	厚生労働省	
		公立大学法人 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター 専門委員会委員	公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター長	
特任教授	南 裕子	日本災害看護学会 国際交流委員会委員	一般社団法人日本災害看護学会理事長	
特任助教	門田 麻里	第48回(平成29年度)日本看護学会—慢性期看護—論文選考委員	公益社団法人日本看護協会看護研修学校校長	
社会福祉学部	教授	杉原 俊二	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県いじめ問題調査委員(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知県社会福祉協議会理事選考委員	高知県社会福祉協議会会長
	教授	田中 きよむ	運営適正化委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉審議会委員長	高知市長
			高知市社会福祉審議会民生委員審査専門分科会会長	高知市長
			高知市国民健康保険運営協議会委員	高知市長
			高知市福祉有償運送運営協議会委員	高知市長
			本山町地域福祉計画アドバイザー	本山町・本山町社会福祉協議会
			土佐清水市地域福祉計画アドバイザー	土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会
仁淀川町地域福祉活動計画アドバイザー	仁淀川町社会福祉協議会			
		佐川町地域福祉計画アドバイザー	佐川町・佐川町社会福祉協議会	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	教授	田中 きよむ	四万十町地域福祉活動計画アドバイザー	四万十町社会福祉協議会
			高知県老人クラブ連合会理事	高知県老人クラブ連合会
			高知県介護ケア研究会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			全国障害者問題研究会高知支部長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県社会保障推進協議会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県保育運動連絡会会長	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			「ホームレス支援と貧困問題を考えるこうちの会」代表	発令者なし(任意の会のため。代表は会員の互選)
			高知県地域年金事業運営調整会議委員長	高知東年金事務所長
			高知弁護士会綱紀委員会委員・高知弁護士会資格審査会予備委員	高知弁護士会会長
			高知市生活困窮者支援運営委員会委員長、セーフティネット連絡会委員	高知市社会福祉協議会会長
			高知市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員	高知市長
			ひかり協会高知県支部森永ヒ素ミルク中毒救済対策委員会委員長	ひかり協会
			第三者委員	社会福祉法人高知福祉会・社会福祉法人すずめ福祉会・社会福祉法人ファミーユ高知
	教授	長澤 紀美子	高知市行政改革推進委員会委員	高知市長
			佐川町公文書開示審査会	佐川町長
			高知県社会福祉協議会地域密着型サービス外部評価事業評価審査委員	高知県社会福祉協議会会長
			高知市指定管理者業務評価委員会	高知市長
	教授	丸山 裕子	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
	教授	宮上 多加子	高知県福祉活動支援基金運営委員会委員	高知県社会福祉協議会会長
			日常生活自立支援事業契約締結審査会委員長	高知県社会福祉協議会会長
			高知県医療提供体制推進事業等評価委員会委員	高知県知事
			高知市民生委員推薦会委員	高知市長
			高知県社会福祉審議会委員	高知県知事
			高知県社会福祉協議会理事	高知県社会福祉協議会会長
	准教授	鈴木 孝典	高知県精神医療審査会委員	高知県知事
			高知県自立支援協議会委員(副会長)	高知県地域福祉部長
			高知県自立支援協議会人材育成部会委員(部会長)	高知県障害保健福祉課長
			高知県障害者施策推進協議会委員	高知県知事
			高知県障害者差別解消支援地域協議会委員	高知県知事
			高知県障害者介護給付費等不服審査会委員	高知県知事
			高知市障害者計画等推進協議会委員(会長)	高知市長
			社会福祉法人土佐あけぼの会評議員及び第三者委員	社会福祉法人土佐あけぼの会理事長
			社会福祉法人ファミーユ高知評議員	社会福祉法人ファミーユ高知理事長
高知県福祉人材センター・高知県福祉研修センター運営委員会委員(副委員長)			高知県社会福祉協議会会長	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
社会福祉学部	准教授	西内 章	高知県行政不服審査会委員	高知県知事
			高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育長
			高知市高齢者虐待予防ネットワーク会議(会長)	高知市長
			高知県高齢者・障害者権利擁護センター運営協議会(副会長)	高知県社会福祉協議会会長
			高知市社会福祉協議会評議員	高知市社会福祉協議会会長
			高知市成年後見サポートセンター運営委員会委員	高知市社会福祉協議会会長
			津野町地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会委員	津野町長
			高知県共同募金会評議員・配分委員会委員	社会福祉法人高知県共同募金会
	准教授	西梅 幸治	高知県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー(高知県教育委員会)	高知県教育委員会
	講師	河内 康文	南国市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会委員	南国市長
			いの町社会福祉協議会法人成年後見制度運営会委員	いの町社会福祉協議会会長
			社会福祉法人 高春福祉会 評議員	社会福祉法人高春福祉会理事長
			社会福祉法人 長い坂の会 評議員	社会福祉法人長い坂の会理事長
	講師	遠山 真世	高知県社会福祉士会理事(国家試験対策委員会)	高知県社会福祉士会会長
	助教	雑賀正彦	和歌山県介護支援専門員 指導者	和歌山県介護支援専門員協会会長
			和歌山県社会福祉士会 監事	和歌山県社会福祉士会会長
			高知県地域福祉活動支援計画策定委員(副委員長)	高知県社会福祉協議会会長
	助教	稲垣 佳代	高知県精神医療審査会委員	高知県知事
	助教	田中 眞希	社会福祉法人ミレニアム 障害者支援施設 アドレス高知・第三者委員	社会福祉法人ミレニアム理事長
			高知県地域救済対策委員会委員	公益財団法人ひかり協会理事長
介護福祉士実習指導者講習会研修企画委員会委員			高知県介護福祉士会会長	
助教	玉利 麻紀	高知県精神保健福祉協会 研修部委員	高知県精神保健福祉協会会長	
健康栄養学部	教授	村上 尚	高知県衛生研究所研究協議会委員	高知県衛生研究所長
	教授	稲井 玲子	平成30年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題・委員	高知県教育委員会委員長
			高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	高知県地域福祉部障害支援課長
			高知県食育推進委員	高知県知事
	教授	渡邊 浩幸	土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当	
			高知県事業審査アドバイザー委員長	高知県知事
			高知県食の安全・安心推進審議会委員	高知県知事
			こうち産業振興基金等事業審査会委員	公益財団法人高知県産業振興センター長
			高知県産学連携会議委員	高知県知事
			高知県産学官民連携センターコーディネーター	高知県産学官民連携センター長
			高知県農林業基本対策審議会特別委員	高知県知事
	IoPプロジェクト研究推進部会委員	高知大学研究国際部研究推進課長		
			越知町まち・ひと・しごと創生推進会議(委員)	

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
健康栄養学部	准教授	荒牧 礼子	土佐市プロジェクトメンバー	
			第3次南国市食育推進会議委員	南国市長
			高知県行政栄養士人材育成検討会委員	高知県健康政策部健康長寿政策課長
	准教授	鈴木麻希子	高知県小・中・高・大家庭科教育連合会会長	高知県小・中・高・大家庭科教育連合会会長
	准教授	西岡 道子	第5回日本栄養改善学会四国支部学術総会実行委員	日本栄養改善学会四国支部
	講師	島田 郁子	土佐市社会福祉事業団理事	土佐市長
			土佐市立学校給食センター運営審議会委員	土佐市教育長
			南国市学校給食センター運営委員会委員	南国市教育長
			高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員	高知市長
			安芸市学校給食運営委員	安芸市教育長
			(公)日本栄養士会JDA-DATリーダー・スキルアップ研修運営委員	(公)日本栄養士会会長
			日本家政学会中国・四国支部機関幹事	(公)日本栄養士会長
	講師	竹井 悠一郎	高知県産学官連携会議運営委員	高知県商工労働部産業創造課長
			高知県栄養士会生涯教育委員会委員	(公)高知県栄養士会長
	講師	廣内 智子	JDA-DATスタッフ養成研修運営委員	
	助教	隅田有公子	高知県栄養士会はちきん編集委員	高知県栄養士会長
助教	沼田 聡	公益社団法人高知県栄養士会研究教育事業部代表理事		
助手	彼末 富貴	高知市春野郷土資料館運営審議会委員	高知市教育委員会	
地域教育研究センター	教授	一色 健司	高知県環境影響評価技術審査会	高知県知事
			高知みらい科学館協議会	高知県教育長・高知市教育長
			仁淀川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・高知県知事
			物部川流域学識者会議	国土交通省四国地方整備局長・高知県知事
			高知県廃棄物処理施設設置審査会	高知県知事
			高知市産業廃棄物処理施設設置審議会	高知市長
			高知県環境審議会	高知県知事
			新宇治川放水路地下水監視委員会	いの町長
			高知市学校支援地域本部事業推進委員会	高知市教育長
	教授	清原 泰治	高知県社会貢献活動支援推進会議会長	高知県知事
			高知県スポーツ振興県民会議生涯スポーツ推進部会委員	高知県知事
			高知市スポーツ推進審議会副委員長	高知市教育長
			高知県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会委員	高知県知事
			公立大学協会の学生交流に関するワーキンググループ主査	公立大学協会会長
			津野町まち・ひと・しごと創生有識者会議会長	津野町長
			佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議委員	佐川町長
			土佐市創生有識者会議委員	土佐市長
			高知放送番組審議会委員	高知放送社長
			高知県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員	高知県社会福祉協議会会長

学部	職名	氏名	審議会・委員会名等	発令者
地域教育研究センター	教授	石山 貴章	教師教育コンソーシアム高知運営協議会・事業部会委員	高知県立大学・学長
			障害福祉サービス事業所 あさひ共同作業所・理事	NPO法人あさひ会
	准教授	鈴木 康郎	教師教育コンソーシアム高知運営協議会・事業部会委員 // 共同研究事業部会委員	高知県立大学・学長
			高知大学・教員免許状更新講習担当講師	高知大学・学長
	准教授	野辺 陽子	こうち男女共同参画社会づくり財団・運営委員	こうち男女共同参画社会づくり財団
	健康長寿センター	特任教授	久保田 聡美	社会福祉法人筆山保育園理事(外部理事)
公益財団法人日本医療機能評価機構評価調査者				公益財団法人日本医療機能 評価機構代表理事 理事長
特任 准教授		森下 幸子	高知県訪問看護推進協議会委員	高知県知事
			訪問看護ステーション運営委員会委員	公益社団法人高知県看護協 会長
			在宅ケア領域看護師研修検討会委員	公益社団法人高知県看護協 会長
			中山間地域等訪問看護サービス確保事業運営会外部アドバイザー	高知県訪問看護連絡協議会 会長
			安芸市在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議アドバイザー	安芸市長

3 学外提供用刊行物作成状況(平成30年度)

作成元	担当部署	名 称
文化学部	文化学科	文化学部パンフレット『思索と実践』
		文化学部紀要『高知県立大学 文化論叢』第7号
		文化の力ー知のフィールドへ！ー Vol. 03
		大学的高知ガイドーこだわりの歩き方
		立志社中 from ZEROの刊行物 『香美市のくらしと民具〜もの・こと・ひと〜 in 物部町』
看護学部	看護学科	看護学部・看護学研究科活動報告書
		看護学部・看護学研究科年報
		平成30年度看護実習要項
		高知女子大学看護学会誌 第43巻2号・44巻1号
		看護学部オープンキャンパスポスター2018年版
		看護学部オープンキャンパスチラシ2018年版
		看護学部PR誌-看護学部受験生向けPR誌2018年版(赤冊子)
		看護学部ニュースレター-学生生活通信『fure-fure』 第15・16号
		高知県立大学看護学部同窓会会報 第17号
		社会福祉学部
2019年度社会福祉学部パンフレット		
高校生のための公開講座(リーフレット)		
社会福祉学部リカレント教育講座(チラシ)		
健康長寿センター社会福祉学部体験型セミナー(チラシ)		
実習のてびきー相談援助実習ー		
実習のてびきー精神・社会福祉コース編ー		
実習のてびきー介護福祉実習ー		
社会福祉実習報告書(相談援助実習・精神保健福祉援助実習)		
介護福祉実習報告書		
健康栄養学部	健康栄養学科	高知県立大学健康栄養学部報 第9号
		健康栄養学部パンフレット
大学院	看護学研究科	高知県立大学大学院看護学研究科 広報冊子
地域教育研究センター	地域連携課	高知県立大学地域教育研究センター報 第6号
		地域教育研究センターパンフレット
		域学共生事業報告書
		2018立志社中リーフレット
		平成29年度立志社中活動成果報告書
		就職@高知
総合情報センター	図書情報部	永国寺図書館利用案内
		池図書館利用案内

作成元	担当部署	名 称
健康長寿センター	企画連携課	平成30年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書
		高知県立大学健康長寿センターパンフレット
		高知県中山間地域等訪問看護師育成講座パンフレット
		訪問看護師スタートアップ研修 新卒用パンフレット
広報委員会	企画連携課	全学広報誌「Pin+」vol.13～vol.16(年4回発刊)
全学	入試課	大学案内2019
		OPEN CAMPUS(パンフレット、チラシ、ポスター)
		大学院案内2019
		平成31年度入学者選抜に関する要項
		平成31年度学生募集要項(推薦入試、社会人入試、編入学試験、夜間主コース、一般入試、私費外国人留学生入試)
		平成31年度学生募集要項(看護学研究科、人間生活学研究科)

12 財務

1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今期が第2期中期計画の2年目にあたる第8期目の決算となります。

公立大学法人の会計基準は、企業会計を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、県民をはじめとする利害関係者に、法人の財政状態や運営状況を明らかにするために、作成が義務付けられています。

第34条第1項では、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類等）を、設立団体の長に提出し、承認を得なければならないとされております。

平成30年度の財務諸表上の表記は下記となっております。

貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書は県立大学単独の表記、行政サービス実施コスト計算書は法人全体の数値を表示しております。

2 貸借対照表

貸借対照表は、平成31年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を示した書類です。

平成30年度の資産総額は、

固定資産が 64億8千5百万円（94.6%） 流動資産が3億6千7百万円（5.4%）
合計 68億5千3百万円（100.0%）となっております。

固定資産が資産の94.6%を占め、このうち県からの出資財産（土地、建物）が、51億5千3百万円で資産全体の75.2%を占めております。

負債の総額は、11億1千4百万円となっております。

固定負債が 7億9千5百万円

（うち資産見返負債¹ 7億8千9百万円 負債全体の70.8%）

流動負債が 3億1千9百万円

（うち寄附金債務 2百万円 同 0.2%）

負債総額のうち、資産の見返として計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取り崩して収益化する資産見返負債が7億8千9百万円と負債全体の70.8%を占め、使途特定寄附金収入のうち来期以降に使用する予定の寄附金債務が、2百万円で、0.2%となっております。

純資産の総額は57億3千8百万円で、内訳は

資本金（県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が4億7千6百万円、利益剰余金が4千7百万円となっております。

¹資産見返負債：運営費交付金・寄附金・無償譲与・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるために必要なものです。

貸借対照表における主な変更点は以下のとおりです。

(資産の部)

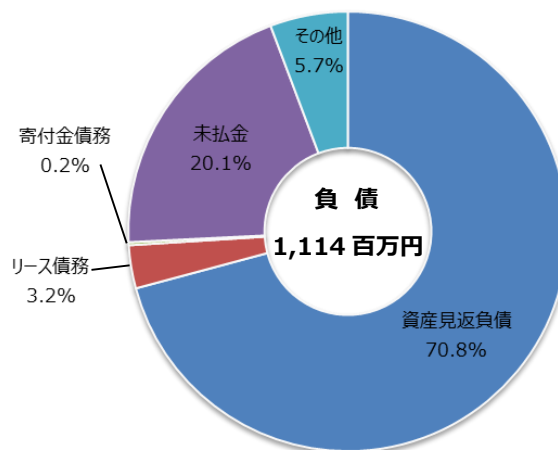
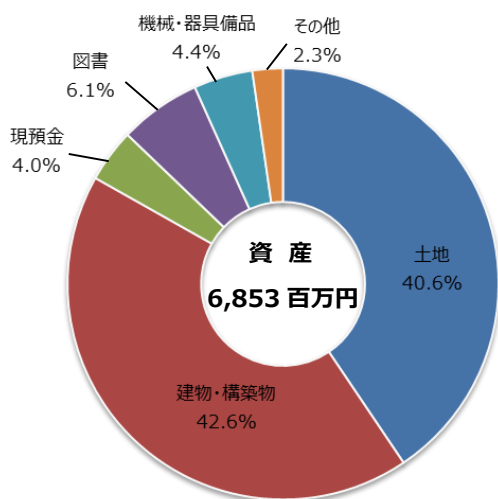
1	建物附属設備	池キャンパス防災システム更新	1千8百万円
		池キャンパス空調機器及び集中管理システム更新	1千9百万円
2	工具器具備品	蛍光X線分析装置	1千2百万円
		HPLC システム	1千1百万円
		スペクトラスター	1千1百万円
		ソックスレー抽出システム	6百万円
		分光測色機	2百万円
		池キャンパス大講義室AV機器	6百万円
		池キャンパス公文書管理用棚	4百万円

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定負債	資産見返負債	789
			建物	2,854			長期リース債務	5
			構築物	65			小計	795
			機械装置	30		流動負債	寄附金債務	2
			工具器具備品	272			前受金	2
			図書	419			未払金	223
			車両運搬具	7			預り金	61
			美術品・收藏品	24			短期リース債務	29
			建設仮勘定	1			小計	319
			小計	6,457			合計③	1,114
	無形固定資産	26	純資産の部	資本金	6,167			
	投資その他の資産	1		資本剰余金	△ 476			
	合計①	6,485		利益剰余金	47			
	流動資産	現金及び預金	273	合計④	5,738			
		その他の流動資産	94					
合計②		367						
資産合計①+②			6,853	負債純資産合計③+④		6,853		

※百万円未満切捨て



2

² グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

3 損益計算書

損益計算書は、当期に発生した目的別費用とそれに対応する収益構造を記載した計算書です。

経常費用の総額は、24億4千9百万円で、内訳は業務費が23億1百万円で、一般管理費が1億4千6百万円、支払利息等の財務費用が1百万円となっています。

業務費23億1百万円の内訳は、

教育研究経費	7億5千4百万円 (対経常費用 30.9%)
教育経費	4億6千5百万円
研究経費	1億5千8百万円
教育研究支援経費	1億3千1百万円
受託研究等経費	2千9百万円 (対経常費用 1.2%)
受託研究費	1千1百万円
共同研究費	1百万円
受託事業費	1千7百万円
人件費	15億1千6百万円 (対経常費用 61.9%)

※受託研究・事業費に参入した人件費を除く

人件費が経常費用に占める割合は、61.9%となっております。

経常収益の総額は、24億1千9百万円で、内訳は
運営費交付金収益 13億2千7百万円 (対経常収益 54.9%)
授業料等収益 8億1千2百万円 (同 33.6% 授業料、入学金、検定料収入を含む)

受託研究収益	1千1百万円 (同 0.5%)
共同研究収益	1百万円 (同 0.0%)
受託事業等収益	1千7百万円 (同 0.7%)
寄附金収益	3千2百万円 (同 1.3%)
補助金収益	6千1百万円 (同 2.5%)
資産見返負債戻入	9千8百万円 (同 4.1%)
雑益	5千6百万円 (同 2.3%)

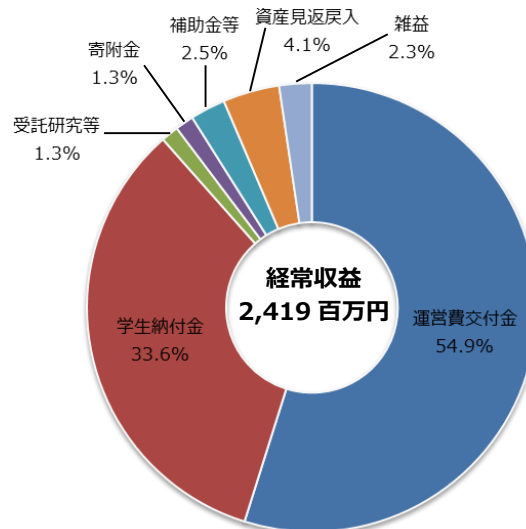
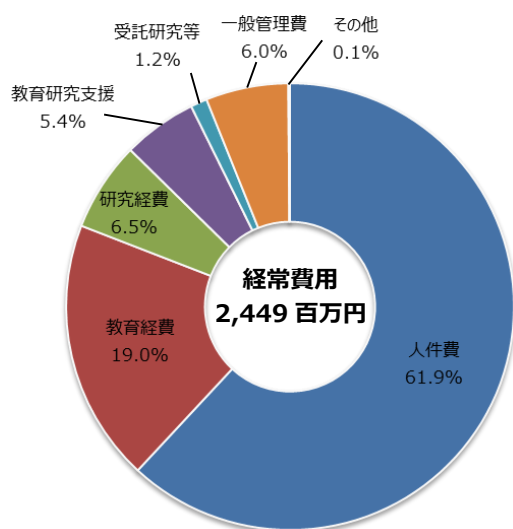
経常収益から経常費用を差し引いた経常損失は、2千9百万円となりました。
目的積立金2千9百万円を取り崩した当期総利益は0円となっています。

損益計算書の概要

(単位：百万円)

経常費用	業務費	教育経費	465	経常収益	運営費交付金収益	1,327
		研究経費	158		授業料収益	708
		教育研究支援経費	131		入学料収益	82
		受託研究費	11		検定料収益	21
		共同研究費	1		受託研究収益	11
		受託事業費	17		共同研究収益	1
		教員人件費	1,136		受託事業等収益	17
		職員人件費	379		寄附金収益	32
		合計	2,301		補助金等収益	61
		一般管理費	146		資産見返負債戻入	98
財務費用・雑損	1	雑益	56			
合計	2,449	合計	2,419			
当期総利益			0	目的積立金取崩額		29

※百万円未満切捨て



3

³ グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

4 その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

損益計算書は発生主義により作成されるため、資金の状況とは一致しないことから、資金の状況を把握するために、業務活動、投資活動、財務活動の区分から、当期の資金収支の状況を示した書類がキャッシュ・フロー計算書です。なお、当期末の資金残高は、2億7千3百万円です。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	90
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 31
IV 資金増減額	△ 4
V 資金期首残高	277
VI 資金期末残高	273

※百万円未満切捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。公立大学法人における利益処分方法は、公立大学法人が効率的・効果的に事業を実施し、自己収入の増加あるいは費用の節減等により生じた利益として、設立団体の長が承認し翌事業年度以降に大学で自由に用途を決定できる「目的積立金」と翌事業年度以降の損失の補填のみに用途が限定された「積立金」として処分する方法があります。

③ 行政サービス実施コスト計算書（法人全体）

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え法人運営上コストとなっている損益外減価償却費や機会費用等を計上することにより、県（県民）が負担している全コストを明らかにするための書類です。当年度の実質的成本は、5億7千9百万円です。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務費用	4,532
(1) 損益計算書上の費用	7,580
(2) 自己収入等	△3,047
II 損益外減価償却相当額	321
III 引当外退職給付増加見積額	55
IV 機会費用	770
V 行政サービス実施コスト	5,679

※百万円未満切捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

(単位:千円)

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H29		H30		H31～(予定)		総額(予定含む)		
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	中山 洋子	重度・慢性精神障害者のセルフケア能力の評価方法と看護介入モデルの開発	新規	H30～H33	0	0	3,600	1,080	7,000	2,100	10,600	3,180	
		研究代表者	教授	野嶋 佐由美	脆弱性を抱えた家族のレジリエンスを促進するケアガイドラインと教育プログラムの構築	新規	H30～H33	0	0	4,900	1,470	8,100	2,430	13,000	3,900	
		研究代表者	教授	神原 咲子	地域の全体最適を目指した減災ケアの可視化とツールの開発	新規	H30～H33	0	0	3,700	1,110	8,400	2,520	12,100	3,630	
		研究代表者	教授	南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	継続	H29～H31	4,000	1,200	3,100	930	3,900	1,170	11,000	3,300	
		研究代表者	教授	中野 綾美	命に向き合う子どもと親のエンド・オブ・ライフへの看護支援モデルの構築と活用	継続	H29～H32	4,600	1,380	2,200	660	6,200	1,860	13,000	3,900	
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	医療的ケアが必要な在宅療養中の子どもと家族の災害に備えた協働支援プログラムの開発	継続	H29～H32	2,000	600	1,700	510	3,600	1,080	7,300	2,190	
		研究代表者	教授	藤田 佐和	がん認知症を併せ持つ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発	継続	H28～H31	5,500	1,650	2,200	660	2,200	660	9,900	2,970	
基盤研究B 小計								16,100	4,830	21,400	6,420	39,400	11,820	76,900	23,070	
基盤研究C	文化	研究代表者	准教授	飯高 伸五	パラオ諸島の戦跡観光におけるサブジェクトとエージェントの民族誌的研究	新規	H30～H32	0	0	700	210	1,200	360	1,900	570	
		研究代表者	准教授	根岸 忠	台湾における居宅介護労働者の労働条件保護の決定プロセスとそのあり方	新規	H30～H32	0	0	400	120	800	240	1,200	360	
		研究代表者	准教授	宇都宮 千穂	移住促進政策と「移住の失敗」の実態調査	継続	H29～H31	500	150	500	150	500	150	1,500	450	
		研究代表者	准教授	吉川 孝	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H29～H31	900	270	700	210	700	210	2,300	690	
		研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語の事象修飾に見られる、形式と意味との対応関係とその規則性について	継続	H28～H30	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450	
		研究代表者	教授	三浦 要一	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H28～H30	1,300	390	600	180	0	0	1,900	570	
	看護	研究代表者	教授	池田 光徳	がん化学療法による手足症候群および爪囲爪炎の早期検出と新規外用剤による予防的介入	新規	H30～H32	0	0	900	270	2,500	750	3,400	1,020	
		研究代表者	助教	森本 紗磨美	消化器がん患者の周術期ヘルスリテラシー支援プログラムの開発	新規	H30～H32	0	0	1,000	300	1,600	480	2,600	780	
		研究代表者	助教	坂元 綾	糖尿病足病変予防のための看護師のアセスメント力を高める教育プログラムの開発	新規	H30～H32	0	0	1,300	390	1,400	420	2,700	810	
		研究代表者	助教	塩見 理香	自閉症スペクトラム障害者の対人関係におけるセルフコントロールを高めるプログラム	新規	H30～H32	0	0	1,100	330	2,000	600	3,100	930	
		研究代表者	教授	森下 安子	慢性心不全高齢者の再入院を予防するシームレスケアを創る退院支援ガイドラインの開発	新規	H30～H32	0	0	1,000	300	2,200	660	3,200	960	
		研究代表者	講師	井上 正隆	地方都市でのクリティカルケア看護熟達者の発展的相互学習システムの構築	継続	H29～H31	1,400	420	1,200	360	900	270	3,500	1,050	
		研究代表者	教授	瓜生 浩子	家族看護実践における倫理調整力強化のためのモデルと教育ツールの開発	継続	H29～H31	1,400	420	700	210	1,500	450	3,600	1,080	
		研究代表者	助教	田之頭 恵里	生体肝移植を受けた子どものレジリエンスを高める看護実践ガイドラインの開発	継続	H29～H31	1,000	300	700	210	600	180	2,300	690	
		研究代表者	准教授	川上 理子	独居高齢者のエンド・オブ・ライフ期の在宅療養を支える多職種協働プログラム開発	継続	H29～H31	1,400	420	900	270	1,000	300	3,300	990	
		研究代表者	准教授	森下 幸子	新卒訪問看護師と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築	継続	H29～H31	1,300	390	800	240	1,000	300	3,100	930	
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害のある子どもと家族の就学期の移行を支える看護ケアモデルの構築	継続	H29～H31	1,700	510	800	240	1,000	300	3,500	1,050	
		研究代表者	教授	時長 美希	脆弱性を有する生活困窮者へのマージナルケアモデルの構築	継続	H29～H31	1,200	360	1,100	330	1,100	330	3,400	1,020	
		研究代表者	准教授	森本 悦子	地域の一般病院に通院する後期高齢がん患者への複合的な外来看護支援モデルの構築	継続	H28～H30	1,900	570	800	240	0	0	2,700	810	
		研究代表者	教授	長戸 和子	糖尿病患者・家族の「家族マネジメント力」に即した看護介入の実践に関する研究	継続	H28～H30	2,200	660	1,300	390	0	0	3,500	1,050	
		研究代表者	講師	有田 直子	血液・腫瘍疾患を持つ青年が親と行うSDMを支える看護介入プログラムの効果	継続	H28～H30	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080	
		研究代表者	講師	高谷 恭子	発達障がいをもつ思春期の子どもと親が迎える軌跡を説明できるモデルの構築	継続	H28～H30	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080	
		研究代表者	教授	田井 雅子	統合失調症者の自我機能に注目するセルフマネジメント促進の看護ケアモデル	継続	H28～H30	2,100	630	800	240	0	0	2,900	870	
		研究代表者	助教	小原 弘子	在宅褥瘡ケアにおける訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450	
		研究代表者	助教	小澤 若菜	中小規模事業場のポピュレーションヘルスマネジメントモデルの構築	継続	H28～H30	2,300	690	1,000	300	0	0	3,300	990	
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	多胎児を育てる夫婦のMastery獲得を支える看護援助プログラムの構築	継続	H27～H30	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080	
		社会福祉	研究代表者	講師	遠山 真世	重度障害者の就労支援における工賃向上のための「高知モデル」の構築	新規	H30～H32	0	0	300	90	1,100	330	1,400	420
			研究代表者	教授	西内 章	ソーシャルワークにおけるICTを活用した多職種連携モデルの構築	新規	H30～H32	0	0	400	120	600	180	1,000	300
			研究代表者	助教	田中 眞希	「演じる行為」に着目した介護の実践価値生成と共有化－職場学習論に基づく分析－	新規	H30～H32	0	0	400	120	800	240	1,200	360
			研究代表者	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた虐待予防－「虐待リスク」を抱える保護者支援法(2)－	継続	H29～H31	800	240	600	180	300	90	1,700	510
			研究代表者	教授	宮上 多加子	中堅介護職員の循環型経験学習を促すメンタリングの様相	継続	H29～H31	1,100	330	1,200	360	600	180	2,900	870
			研究代表者	講師	三好 弥生	介護者による高齢者の看取り期食事ケアモデル構築に向けた実証的研究	継続	H28～H30	700	210	200	60	0	0	900	270
研究代表者	准教授		鈴木 孝典	内科的管理を要する疾患をもつ高齢精神障害者のセルフケア機能評価支援ツールの開発	継続	H28～H30	1,600	480	1,100	330	0	0	2,700	810		
研究代表者	講師		河内 康文	EPA介護福祉士の介護現場における経験からの学びに関する研究	継続	H28～H30	1,200	360	300	90	0	0	1,500	450		
研究代表者	教授		横井 輝夫	ことばと自己認識の喪失過程で認知症者の認識世界に何が起きているのか？	継続	H27～H30	600	180	500	150	0	0	1,100	330		

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H29		H30		H31～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
地域教育研究センター		研究代表者	講師	野辺 陽子	社会的養護の自治体間格差の実体と要因に関する社会学的研究－量的・質的比較分析	継続	H29～H31	1,300	390	1,200	360	700	210	3,200	960
		研究代表者	准教授	鈴木 康郎	アジア非英語圏における小学校英語の実施に関する実証的比較研究	継続	H29～H31	1,000	300	1,100	330	1,200	360	3,300	990
基盤研究C 小計								38,900	11,670	29,400	8,820	25,300	7,590	93,600	28,080
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	准教授	大川 宣容	家族の体験を基礎としたクリティカルケアにおける悲嘆ケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,600	480	800	240	0	0	2,400	720
挑戦的萌芽研究 小計								1,600	480	800	240	0	0	2,400	720
挑戦的研究(萌芽)	看護	研究代表者	教授	神原 咲子	住民参加型モニタリングによる生活環境評価法の開発	新規	H30～H32	0	0	1,900	570	2,900	870	4,800	1,440
挑戦的研究(萌芽) 小計								0	0	1,900	570	2,900	870	4,800	1,440
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助教	原田 圭子	積雪寒冷地における地域在住高齢者の閉じこもり要因と支援	継続	H29～H30	1,100	330	400	120	0	0	1,500	450
		研究代表者	助教	瀧 めぐみ	行動制限最小化における多職種間の倫理調整プロセスモデルの作成	継続	H29～H30	1,100	330	1,000	300	0	0	2,100	630
研究活動スタート支援 小計								2,200	660	1,400	420	0	0	3,600	1,080
若手研究B	文化	研究代表者	講師	オバーク アンドリュウ	An Alternative Philosophical Realist Conception of Self	継続	H29～H30	500	150	500	150	0	0	1,000	300
		研究代表者	准教授	清水 直樹	地方レベルの政治的景気循環：日本の都道府県レベルのデータ分析による実証研究	継続	H29～H30	600	180	500	150	0	0	1,100	330
	看護	研究代表者	助教	田中 雅美	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発	継続	H29～H32	1,300	390	500	150	1,400	420	3,200	960
		研究代表者	助教	西内 舞里	妊娠期ケアにおける臨床判断に関する現任教育プログラムの開発	継続	H29～H31	900	270	600	180	500	150	2,000	600
		研究代表者	助教	井上 さや子	神経性やせ症患者の身体感覚の回復に向けた、精神看護ケアガイドライン	継続	H29～H31	1,100	330	1,200	360	900	270	3,200	960
		研究代表者	助教	庄司 麻美	肺がん患者の全人的呼吸困難間の看護アセスメントツールの開発	継続	H28～H30	1,100	330	300	90	0	0	1,400	420
		研究代表者	講師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援するケアガイドラインの開発	継続	H28～H31	1,700	510	500	150	600	180	2,800	840
		研究代表者	助教	川本 美香	大腸がん検診精密検査受診行動の促進に向けたケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,300	390	500	150	0	0	1,800	540
		研究代表者	助教	岩井 弓香理	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族のMastery獲得を支援する看護介入	継続	H25～H30	2,600	780	0	0	0	0	2,600	780
	社会福祉	研究代表者	助教	稲垣 佳代	精神保健福祉士がもつ就労イメージの変容プロセスと支援への影響に関する研究	継続	H26～H30	1,020	306	180	54	0	0	1,200	360
健康栄養	研究代表者	助教	隅田 有公子	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	継続	H29～H30	1,300	390	1,800	540	0	0	3,100	930	
若手研究B 小計								13,420	4,026	6,580	1,974	3,400	1,020	23,400	7,020
若手研究	看護	研究代表者	助教	山口 智治	DMD患者の家族のSOCを育む家族支援ガイドラインの開発	新規	H30～H32	0	0	500	150	2,400	720	2,900	870
		研究代表者	准教授	渡邊 聡子	ICTを用いた妊婦の災害への備えを促進するための介入の効果検証	新規	H30～H33	0	0	200	60	3,100	930	3,300	990
	社会福祉	研究代表者	助教	加藤 由衣	省察的実践の理論に基づくソーシャルワーク実践方法と省察ツールの開発	新規	H30～H32	0	0	500	150	1,200	360	1,700	510
		研究代表者	講師	福間 隆康	障がいのある従業員の組織適応プロセスに関する研究	新規	H30～H33	0	0	500	150	1,000	300	1,500	450
若手研究 小計								0	0	1,700	510	7,700	2,310	9,400	2,820
合計								72,220	21,666	63,180	18,954	78,700	23,610	214,100	64,230

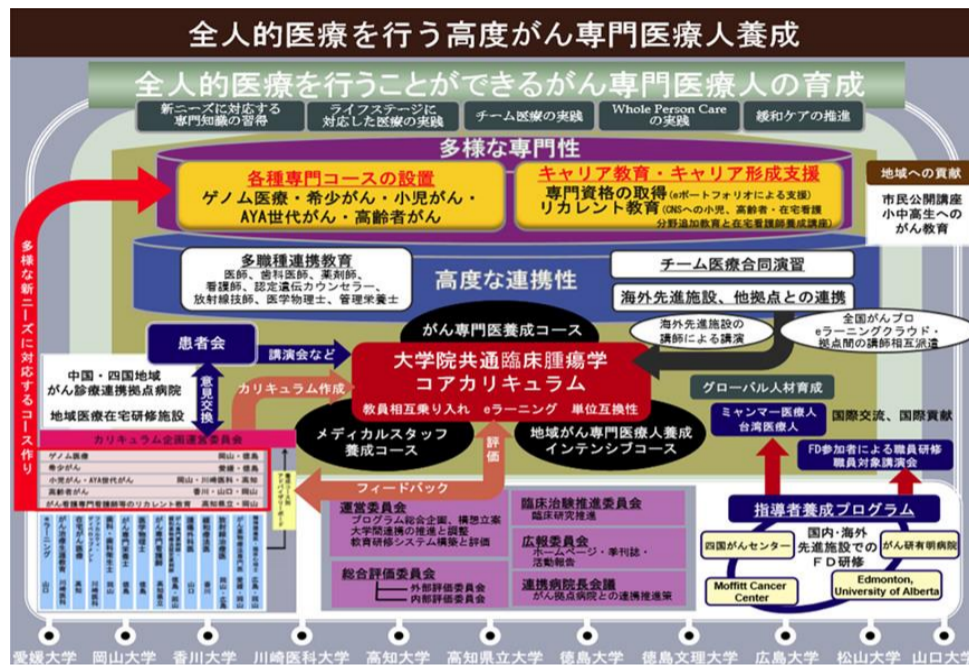
※ 平成30年度の実施状況・実績報告があった研究(繰越・期間延長課題を除く)について掲載し、職名は、実施状況・実績報告の職名を記載

(2) 【「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクト】

●事業目的

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトは、中国・四国地方の岡山大学、香川大学、徳島大学、徳島文理大学、高知県立大学、高知大学、愛媛大学、松山大学、山口大学、広島大学、川崎医科大学の11の大学院と、35のがんセンター・がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高度がん専門医療人養成の教育プログラムです。平成19年度に始まりました「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」から、平成24年度からの「中国・四国がんプロ養成基盤プログラム」を経て、平成29年度から第3期事業と発展しています。

平成29年度からの5年間行われる第3期事業では、第3期がん対策推進基本計画に盛り込まれるゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、新たな視点から優れたがん専門医療人を育成し輩出することを目指しています。



本学は、中国・四国広域がんプロコンソーシアムに参加し、がん高度実践看護師養成WGの幹事校として活動しています。最初の5年間は、岡山大学、徳島大学とともにがん看護専門看護師WGとして取り組み、コンソーシアム内のがん看護専門看護師養成の教育課程を整備し、中国・四国の看護職の進学を増やすとともに、チーム医療を推進していくがん看護専門看護師の存在意義や専門性、活動内容の理解促進に成果をあげてきました。平成24年度からは、広島大学と山口大学が加わった5大学のWGの幹事校として、がん高度実践看護師の養成をはじめ、インテンシブコースⅠ、インテンシブコースⅡを企画し、看護職の看護実践能力の向上に貢献してきました。

平成29年度からは、“小児がんの子どもへのケア”“高齢者がん患者の治療とケア”に焦点を当て、教育プログラムを実施しています。また、中国・四国の実情に沿ったライフステージの多様な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師、質の高い高齢がん患者のケアを創造していく訪問看護師を養成する教育コースを、5大学との連携、地域の保健医療福祉の関連機関との連携体制を強化し、多職種の方々のご支援を得て開講いたします。子どもから高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮して、Cancer Trajectoryをたどる人の新ニーズを捉えて対応することのできる高度実践看護師の育成や、すでに実践で活躍されている専門看護師や認定看護師の新ニーズに対応する力を高めるリカレント教育を新たに展開していきます。



●事業内容

担当教員		
学部	職名	氏名
看護学部	教授	藤田 佐和
	教授	池田 光徳

事業費	
年度	交付金額
平成30年度	6,607千円

●がん高度実践看護師教育課程におけるCNS養成と認定の実績

年度	入学者数	修了者数	CNS認定数
平成24年度	5	4	4
平成25年度	2	5	4
平成26年度	1	2	5
平成27年度	3	1	3
平成28年度	2	2	1
平成29年度	4	1	0
平成30年度	2	4	1

●インテンシブコースⅡ

平成24年度からスタートしたがん高度実践看護師WGでは、がん医療の実践現場において質の高いがん看護実践を推進していく中心的存在となる看護職を育成することを目的に、中国・四国のがん看護実践に携わる看護職の方を対象としたインテンシブコースⅡを企画しています。インテンシブコースⅡでは、5年間の全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし毎年テーマを変えて講演会を開催します。平成30年度は、「AYA世代を支えるがん看護―看護師ができること、伝えたいこと―」をテーマに講演会を開催し、68名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅠ

本学看護学研究科博士前期課程がん看護学およびその他の領域のCNSコースの学生を対象に、がん高度実践看護師の養成および、がん看護をサブスペシャリティーとする高度実践看護師の養成目指し、APNコースⅠを開講し、4名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅡ

専門看護師、修士課程修了生、がん看護、小児看護、老年看護に関連する認定看護師を対象に、小児から高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮し、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる、専門性の高い実践ができる看護師の養成を目指し、平成30年度は4科目合計60時間の講義・演習を開講し、18名が修了しました。

●がん高度実践看護師(APN)セミナー

本学がん看護学領域を修了し、高知県内で活躍するがん看護専門看護師から、高度な看護実践の実際と6つの役割機能について学び、自己のがん高度実践看護師(APN)像を形成していく機会を得ることを目的として平成30年度は特別講義を含め7回セミナーを実施しました。

●がん看護学領域特別講義

本学看護学研究科のがん看護学領域では、大学院生や修了生を対象とした特別講義を開催している。特別講義では、修了生が後輩である大学院生や修了生に対して、修了後の役割開発のプロセスや日頃のOCNSとしての実践活動について語る機会を平成30年度は12月に1回開催しました。

●チーム医療合同演習

11大学院のがんプロ大学院生が集まり、がん医療に関するテーマについて多職種でディスカッションを行うことで、チーム医療や多職種コミュニケーションの重要性についての学びを深めるチーム医療合同演習に参加しました。

●がん看護学合同セミナー I

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのがん看護専門看護師養成WGである5大学(高知県立大学・岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学)のがん高度実践看護師コースの大学院生を対象として、徳島大学が企画・運営を担当しているがん看護学合同セミナー I「がん患者におけるリンパ浮腫と症状マネジメントの実際」に参画しました。

●アストラルの会

高知県立大学大学院看護学研究科がん看護学領域修了生の会「アストラル」は、がん看護の質向上のための自己研鑽、情報交換、修了生のネットワークづくりの充実を図ることを目的として、①学習会の開催、②メンターシップ、③メーリングリスト等による情報共有、④学会参加、⑤研究、⑥ホームページ・アストラルのブログ作成の活動を行いました。

(3) 【博士課程教育リーディングプログラム:災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムの申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー(DNGL)養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院(プログラム責任大学)
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

●交付金額

平成30年度 43,979千円

年度	プログラム担当教員				事業内容
	役職	所属	職名	氏名	
H30	プログラム責任大学長	学長	学長	野嶋 佐由美	平成30年度は、学生受入れ5年目の具体的な事業活動として、以下の5つを実施した。 1) 教育課程連絡協議会を中心に、5大学院共同災害看護学専攻にて、学生への災害看護学の教育を実施した。 2) 5大学院が連携して遠隔授業のためのテレビ会議および Learning Management System (LMS) を維持し、各大学で遠隔教育を実施した。 3) 遠隔シミュレーション教育の実施と教育内容・教育方法を精練した。 4) 国際的なネットワークと海外の大学との連携を強化し、国際学会・会議への参加によるグローバルリーダー養成に向けた教育研究を展開した。 5) 5大学院の特徴を踏まえた教育コンテンツを開発し、学際的な教育研究の実施、および産官学や被災地との連携を推進した。
	プログラム責任者	看護学研究科	教授	南 裕子	
	プログラム担当者		教授	山田 覚	
			教授	中山 洋子	
			教授	中野 綾美	
			教授	藤田 佐和	
			教授	竹崎 久美子	
			教授	池田 光徳	
			教授	大川 宣容	
	教授		神原 咲子		
		人間生活学研究科	教授	大村 誠	
	教授		長澤 紀美子		

プログラム公式Webサイト

<https://www.u-kochi.ac.jp/site/dngl/>

(4) 奨学寄附金受入状況

平成26年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成27年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成28年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部	准教授	清水 直樹	¥150,000	日本行政学会	選挙制度と政治的景気循環:日本の選挙と経済政策を根拠として
2	地域教育研究センター	講師	野辺 陽子	¥1,000,000	上廣倫理財団	養子と里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究-法律関係という変数に着目して-
3	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥200,000	生協総合研究所	中間的就労の活用による生活困窮者雇用拡大のための方策 グリーンコープ共同体の実践と効果の検証
合計		3件		¥1,350,000		

平成29年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥640,000	ひと・健康・未来研究財団	精神障害者の就労継続に関する研究-自己効力感に着目して
2	健康栄養学部	教授	小林 淳	¥200,000	高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立
合計		3件		¥840,000		

平成30年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	看護学部	助教	小原 弘子	¥700,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	在宅療養に関わる医療・介護職への急変対応スキル向上に向けた取り組み
2	健康栄養学部	講師	竹井 悠一郎	¥1,000,000	公益財団法人 日本栄養・食糧学会	動脈瘤発症の予防と治療を目指した食品に関する基礎研究
3	看護学部	教授	神原 咲子	¥2,200,000	Yahoo!基金	誰も取り残さない減災ケアの地図化と社会化
4	看護学部	教授	山田 寛	¥2,000,000	Yahoo!基金	災害看護支援ネットワークの構築・維持と効率的な運用
合計		4件		¥5,900,000		

(5) 受託研究費受入状況

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	2,860,000	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	2,957,814	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年1月26日～平成27年3月31日
3	健康栄養学部	助教	田中 守	1,010,800	高知県	新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索の研究	平成26年9月24日～平成27年3月31日
合計		3件		6,828,614			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	330,000 (うち間接30,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	4,354,577	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年4月1日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	神原 咲子	3,630,000 (うち間接330,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	看護学部	特任講師	Ngatu Nlandu Roger	1,217,160 (うち間接117,863)	高知県	スジアオリ由来高分子多糖類を使用した機能性表示食品の開発	平成27年11月26日～平成28年3月31日
合計		4件		9,531,737			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	稲井 玲子	216,000	南国市	食育の実践から「ことばの力」を高める～主体的・共働的に学ぶ学習(アクティブラーニング)を通して～	平成28年6月15日～平成29年2月15日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,169,386	高知県商工労働部新産業推進課	高知県産学官連携産業創出研究推進事業(新規事業)「食用カンナの多分野活用の研究」	平成28年9月2日～平成29年3月31日
3	看護学部	准教授	神原 咲子	200,000	国立研究会開発法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	350,000	株式会社アミノエース	食品の賞味期限と脂質酸化	平成29年1月4日～平成29年3月3日
5	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成30年3月31日
合計		5件		12,499,386			

平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,053,723	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成29年4月1日～平成30年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	500,000	公益財団法人高知県牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用による食品・健康・観光産業の創出	平成29年4月1日～平成30年3月31日
4	文化学部	教授	大村 誠	144,000	情報・システム研究機構国立極地研究所	合成開口レーダ(SAR)データの偏波特性に着目した南極域の観測手法の高度化	平成29年4月1日～平成32年3月31日
5	社会福祉学部	講師	鳩間亜希子	1,600,000	NPO法人介護人材キャリア開発機構	在宅高齢者を支える介護人材のあり方等についての調査研究事業	平成29年7月1日～平成30年2月28日
6	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	3,000,000	株式会社協和	ブタ由来プラセンタ及びサイタイの生理活性評価	平成30年1月5日～平成30年3月30日
合計		6件		16,861,723			

平成30年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,949,012	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	605,715	株式会社アミノエース	イタドリ葉部含有ポリフェノールの機能性	平成31年1月22日～ 平成31年1月25日
3	地域教育研究センター 文化学部 文化学部	教授 准教授 准教授	清原 泰治 宇都宮千穂 清水 直樹	1,231,956	安芸市	「安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務」	平成30年5月1日～ 平成31年3月29日
合計		3件		7,786,683			

(6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H26	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,965,000	高知県	平成26年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成26年7月7日～平成27年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成26年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成26年5月16日～平成27年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日
合計		4件		6,372,800			

H27	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,112,000	高知県	平成27年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成27年11月18日～平成28年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成27年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成27年5月8日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日
合計		3件		6,519,800			

H28	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成28年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	1,906,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成28年5月17日～平成29年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	5,691,395	高知県中央西福祉保健所	退院支援体制推進事業	平成28年4月14日～平成29年3月31日
合計		3件		11,022,395			

H29	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成29年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成29年5月19日～平成30年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成29年6月6日～平成30年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	8,967,000	高知県	退院支援事業	平成29年4月25日～平成30年3月31日
合計		3件		15,326,000			

H30	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,719,000	高知県	平成30年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成30年6月4日～平成31年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成30年6月1日～平成31年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	13,950,000	高知県	退院支援事業	平成30年4月1日～平成31年3月31日
4	地域教育研究センター	教授	清原 泰治	1,231,956	安芸市	安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務	平成30年5月1日～平成31年3月29日
合計		3件		20,834,956			

(7) その他受入状況

平成26年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	研究題目	期間
	実績なし				
合計	0件	0			

平成27年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	研究題目・事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成27年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成27年5月12日～平成28年3月31日
2	宇都宮 千穂	200,000	高銀地域経済振興財団	高知県における移住促進政策と移住者の実態に関する研究	平成28年3月3日～平成29年3月2日
合計	2件	20,200,000			

平成28年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成28年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成28年4月1日～平成29年3月31日
合計	1件	20,000,000			

平成29年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成29年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成29年4月1日～平成30年3月31日
合計	1件	20,000,000			

平成30年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成30年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成30年4月1日～平成31年3月31日
合計	1件	20,000,000			

6 学長助成事業等の状況

【学長助成事業実績（平成30年度）】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
文化学部	台湾 文藻外語大学短期研修引率	200	
文化学部	「大学的高知ガイド-こだわりの歩き方」出版	250	
看護学部	インドネシア ガジャマダ大学短期研修引率	528	
看護学部	エルムズ大学訪問手土産	22	
看護学部	電子カルテ端末 8台	3,132	
看護学部	日本家族看護学会第25回学術集会運営費	500	
看護学部	レサシアン withQCPR半身(心肺蘇生マネキン)	235	
看護学部	ミキ 車いす BAL-2 介助型	75	
看護学部	車いす エミーゴⅡ エレベーター仕様	155	
看護学部	バイタルサインシュミレーター サカモトベビータッチ×2台	685	
看護学部	呼吸音聴診シミュレーション”ラングⅡ”	2,041	
社会福祉学部	Web学部案内用イメージ動画制作	150	
社会福祉学部	EPSON書画カメラ(光学12倍ズーム) ELPDC21×3台	210	
健康栄養学部	島津 紫外可視分光光度計 6台	3,475	
健康栄養学部	マレーシア サバ大学短期研修引率	258	
健康栄養学部	第2回食育活動表彰式出席旅費	164	
看護学研究科	フナコシ リアルタイムPCRシステム MyGo Mini	845	
看護学研究科	バイオフィリーザー GS-1376HC 1台	145	
看護学研究科	ミニエレクトロプロッター 10×10cm SPC TV100-EBK 1台	124	
看護学研究科	ハイブリダイゼーションオープン UVP HB-1000 100V 1台	352	
DNGL	宇和島市豪雨災害支援活動	122	
健康長寿センター	オーピーティー ハンディー3Dスキャナーモデル	1,847	
健康長寿センター	レーザースペックル血流画像化装置	8,532	

事業名	事業内容	助成費	備考
地域教育研究センター	安芸市豪雨災害支援活動	24	
国際交流センター	台湾 慶南大学短期研修	138	
国際交流センター	台湾 文藻外語大学への贈呈品	21	
図書情報部	図書除却検証委員会費用	1,004	
財務施設課	看護学部棟 C109看護実習室 改修工事	4,607	
財務施設課	公文書管理用書庫の整備	4,054	
財務施設課	寄贈図書運搬費	41	
教務課	大講義室AV機器調達業務	5,979	
教務課	ALC NetAcademy NEXT	5,474	
教務課	A311 ビデオプロジェクター入力設備整備	78	
総務課	勤怠管理システムカスタマイズ	2,762	
総務課	コクヨ 会議用テーブル、会議用チェア マノヴィラ	391	
総務課	国内短期研修	19	
合 計		48,639	

【戦略的研究推進プロジェクト事業実績（平成30年度）】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
平成 30 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト	高知県立大学の学術研究の充実及び高知県の課題解決を目指し、特に重点的に本学を特徴づけるテーマ1～3のいずれかにおいて、教育研究力を格段に高めようとする取り組みに対し、経費を補助することにより、教育・研究のイノベーションを促すことを目指す。	7,299	
合 計		7,299	

13 キャンパス

1 土地

(単位: m²)

	区 分	所 在 地	面 積
1-1	校舎敷地(図書館、体育館等)	高知市永国寺町5番15号	11,313.00
1-2	校舎敷地(地域連携棟、学生会館等)	高知市永国寺町6番28号	3,115.98
1-3	校舎敷地	高知市池2751-1	31,586.00
1-4	校舎敷地(教育研究棟等)	高知市永国寺町2番22号	7,406.00
1-5	運動場敷地	高知市池2532-2	9,620.00
1-6	多目的広場・大学駐車場	高知市池2469-1	23,963.00
1-7	学生寮教職員宿舍敷地	高知市東石立町17番2号	2,653.00
1-8	池教員宿舍敷地	高知市池2160-1	3,226.00
1-9	朝倉教員宿舍敷地	高知市朝倉本町1丁目210-3	281.00
1-10	鴨部教員宿舍敷地	高知市鴨部1258-1	568.51
1-11	その他(法面等)	高知市池2155-1 ほか	10,947.70
	計		104,680.19

209,360.38

2 建 物

(単位: m²)

	区 分	所 在 地	面 積
2-1	南校舎(地域連携棟)	高知市永国寺町6番28号	3,135.89
2-2	図書館	高知市永国寺町5番15号	1,401.48
2-3	自転車置場	〃	29.40
2-4	講堂兼体育館	〃	1,237.54
2-5	自転車置場	〃	134.00
2-6	学生会館	〃	1,434.85
2-7	校 舎	高知市池2751-1	12,565.89
2-8	体育館	〃	3,337.16
2-9	自転車置場	〃	262.50
2-10	グランド内トイレ等	高知市池2751-1	67.20
2-11	学生寮	高知市東石立町17番2号	1,173.02
2-12	教職員宿舍	〃	684.48
2-13	朝倉教員宿舍	高知市朝倉本町1丁目210-3	134.02
2-14	鴨部教員宿舍	高知市鴨部1258-1	278.60
2-15	池教員宿舍	高知市池2160-10	1,116.19
	計		26,992.22